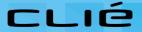
SONY

4-649-957-02 (1)

パーソナルエンタテインメントオーガナイザー

PEG-S500C
PEG-S300
PEG-S500C/D
PEG-S300/D

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はまちがった使い方をすると、火災や感電などにより人身事故につながることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

8〜13ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

故障したら使わない

すぐにネットコミュニケーション カスタマーリンク（ソニーPDA専用サポートセンター）に修理をご依頼ください。

万一異常が起きたら

- **煙が出たら**
- **異常な音、においがしたら**
- **内部に水、異物が入ったら**
- **製品を落としたり、キャビネットを破損したとき**

❶ **電源を切る**

❷ **ACアダプタや接続ケーブルを抜く**

❸ **ネットコミュニケーション カスタマーリンク（ソニーPDA専用サポートセンター）に修理を依頼する**

データはバックアップをとる

フラッシュメモリ内の記録内容は、パソコンとHotSyncをして、常にバックアップをとって保存してください。トラブルが生じて、記録内容の修復が不可能になった場合、当社は一切その責任を負いません。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

注意

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

水ぬれ禁止

行為を指示する記号

強制

プラグをコンセントから抜く

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- CLIE、VAIO、“Memory Stick”（“メモリースティック”）、MEMORY STICK™、“Magic Gate”（“マジックゲート”）、MAGICGATE、“Magic Gate Memory Stick”（“マジックゲートメモリースティック”）、MG、PictureGearはソニー株式会社の商標です。
- WALKMANはソニー株式会社の登録商標です。
- Palm OS、Graffiti、HotSync、MultiMailは、Palm Inc.またはその子会社の登録商標であり、Palm Desktop、HotSyncのロゴは、Palm, Inc.またはその子会社の商標です。
- Microsoft、WindowsおよびOutlookは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- MMXおよびPentiumはIntel Corporationの商標または登録商標です。
- Palmscapeは、株式会社イリンクスの商標です。
- ATOK、ATOK Pocketは、株式会社ジャストシステムの登録商標です。
- QuickTime and the QuickTime logo are trademarks used under license. QuickTime is registered in the U.S. and other Countries.
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標または商標です。なお、本文中ではTM、®マークは明記していません。

本製品のソフトウェアをお使いになる前に、必ず付属のソフトウェア使用許諾書をお読みください。

付属のATOK Pocketをお使いになる前に、必ず本取扱説明書巻末に記載されている「ATOK Pocket 使用許諾契約書」をお読みください。

ご注意

- 付属のソフトウェアは、この取扱説明書の画面と一部違うところがある場合があります。
- この取扱説明書は、お客様がWindowsの基本操作に習熟していることを前提にしています。パソコンの操作については、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

目次

文字を入力する

“メモリースティック”を使ってデータをやり取りする

住所や電話番号を管理する（アドレス）

日程や予定を管理する（予定表）

処理する仕事や用事を管理する（To Do）

メモを取る（メモ帳）

外出時の支出を管理する（支払メモ）

計算機として使う（電卓）

便利な機能

インターネットにつなぐ

アプリケーションをインストールする

本機とパソコンのデータを同期させる（HotSync）

設定を変更する（環境設定）

困ったときは

その他

下記の注意事項を守らないと火災・感電などにより死亡や大けがの原因となります。

指定のACアダプタ以外は使用しない

火災や感電の原因となります。

運転中は使用しない

- 自動車、オートバイなどの運転をしながら表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。
- また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に十分にご注意ください。

下記の注意事項を守らないと健康を害するおそれがあります。

ディスプレイを長時間継続して見ない

ディスプレイなどの画面を長時間継続して見続けると、目が疲れたり、視力が低下するおそれがあります。
ディスプレイを見続けて体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

長時間使いすぎない

長時間継続して使用すると、腕や手首が痛くなったりすることがあります。
使用中、体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

⚠注意　下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない

上記のような場所に設置すると、故障の原因となることがあります。取扱説明書に記されている使用条件以外の環境での使用は、故障の原因となることがあります。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると故障の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、ネットコミュニケーション カスタマーリンク（ソニーPDA専用サポートセンター）にご相談ください。そのままパソコンに接続すると、パソコンの故障の原因になることがあります。

内部をむやみに開けない

内部には電圧の高い部分があり、ケースやフロントカバーをむやみに開けたり改造したりすると、故障の原因となることがあります。内部の点検、修理はネットコミュニケーション カスタマーリンク（ソニーPDA専用サポートセンター）にご依頼ください。

ぬれた手でACアダプタをさわらない

ぬれた手でACアダプタを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。

接続の際は電源を切る

ACアダプタコードや接続コードを接続するときは、本機や接続する機器の電源を切り、ACアダプタコードをコンセントから抜いてください。故障の原因となることがあります。

⚠注意　下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

指定された接続コードを使う

取扱説明書に記されている接続コードを使わないと、
故障の原因となることがあります。

AC アダプタコードや接続ケーブルをAC アダプタに巻き付けない

断線や故障の原因となることがあります。

禁止

通電中の本体やAC アダプタに長時間ふれない

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけ
どの原因となることがあります。

本体やAC アダプタを布や布団などでおおった状態で使用しない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因とな
ることがあります。

安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置かないで
ください。また、横にしたり、ひっくり返して置い
たりしないでください。落ちたり、倒れたりしてけ
がの原因となることがあります。

本機の上に重いものを載せない

壊れたり、けがの原因となることがあります。

お手入れの際は、電源を切ってAC アダプタを抜く

電源を接続したままお手入れをすると、故障の原因となることがあります。

コネクタはきちんと接続する

- コネクタに金属片を入れないでください。ピンとピンがショート（短絡）して、火災や故障の原因となることがあります。
- コネクタはまっすぐに差し込んで接続してください。斜めに差し込むと、ピンとピンがショートして、火災や故障の原因となることがあります。

長時間使用しないときはAC アダプタを抜く

長時間使用しないときは、安全のためAC アダプタをコンセントから抜いてください。

車内など直射日光のあたる場所や熱器具の近くに設置・保管しない

内部の温度が上がり、故障の原因となることがあります。

液晶画面に衝撃を与えない

画面（表示部）はガラスでできています。本体をひねる、落とす、本体に肘をつく、重いものを載せるなどすると、割れてけがの原因となることがあります。

⚠注意 下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

硬い物質で液晶画面を操作したり、強打しない

液晶画面が割れて、故障やけがの原因となること
があります。

本体に強い衝撃を与えない

故障の原因となることがあります。

電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠危険

- 指定された充電方法以外で充電しない。
- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解しない。電子レンジやオーブンで加熱しない。
- 火のそばや炎天下などで充電したり、放置しない。
- 本体に衝撃を与えない。
  落とすなどして強いショックを与えたり、重いものを載せたり、圧力をかけないでください。故障の原因となります。
- 本体から漏れた液が目に入った場合は、きれいな水で洗ったあと、ただちに医師に相談してください。

この取扱説明書について

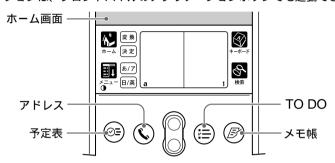
本書では、主に以下の説明が記載されています。

- パーソナルエンタテインメントオーガナイザー（以下「本機」または「ソニーPDA」と呼びます）内蔵アプリケーションの使いかた
- 本機からインターネットへのつなぎかた
- アプリケーションのインストール
- パソコンとの同期（HotSync（ホットシンク））
- 環境設定

本体の概要については、別冊の「はじめにお読みください」をご覧ください。

アプリケーションを管理する

アプリケーションを起動する

本体にインストールされたアプリケーションは、ホーム画面から起動できます。予定表、アドレス、To Do、およびメモ帳の4つのメインアプリケーションは、フロントパネルのアプリケーションボタンでも起動できます。

フロントパネルのアプリケーションボタンを押すと、そのアプリケーションが起動します。本体の電源ボタンを押す必要はありません。

ご注意

初期状態では「辞書」はインストールされていません。辞書を使うときは、“メモリースティック”またはローカルHotSyncで辞書をインストールしてください。詳しくは「アプリケーションをインストールする」（171）ページをご覧ください。

アプリケーションを切り替える

アプリケーションで作業中に別のアプリケーションに切り替えるには、アイコンをタップするか、または本体のフロントパネルにあるアプリケーションボタンを押します。作業中のアプリケーションでの編集内容は自動的に保存され、そのアプリケーションに戻ると同じ内容が表示されます。

ホーム画面の表示形式を変える

標準設定ではホーム画面にはアプリケーションがアイコンとして表示されます。アイコンの代わりに、一覧形式でアプリケーションを表示することもできます。また、ホーム画面を表示したときに、いつも同じカテゴリーが表示されるように設定することもできます。

ホーム画面の表示形式を変更するには

1 ホームアイコンをタップする。

2 メニューアイコンをタップする。

3 ［オプション］をタップし、［設定］をタップする。

4 ［表示方法］ドロップダウンリストをタップし、［名前］を選択する。

5 ［OK］をタップする。

ホーム画面を表示したときに、前回開いていたカテゴリーが表示されるようにするには

1 ホームアイコンをタップする。

2 メニューアイコンをタップする。

3 ［オプション］をタップし、［設定］をタップする。

4 ［前回のカテゴリーを表示］チェックボックスをタップしてオンにする。

5 ［OK］をタップする。

アプリケーションをカテゴリーにわける

カテゴリーは、ホーム画面に表示するアプリケーションの数を指定するための機能です。アプリケーションにカテゴリーを指定すると、カテゴリー別に表示することも、すべてのアプリケーションを一度に表示することもできます。

アプリケーションにカテゴリーを割り当てるには

1 ホーム アイコンをタップする。

2 メニュー アイコンをタップする。

3 ［アプリケーション］メニューの［カテゴリーの変更］をタップする。

4 各アプリケーションの横に表示されるドロップダウンリストをタップして、カテゴリーを選択する。

ご注意

新しいカテゴリーを作成するには、ホーム画面の右上のドロップダウンリストをタップし、［カテゴリーの編集］をタップして、［カテゴリーの編集］ダイアログボックスを開きます。
次に、［新規］ボタンをタップして、カテゴリー名を入力し、［OK］ボタンをタップします。一覧に新しいカテゴリーが追加されます。
［OK］ボタンをタップして、［カテゴリーの編集］ダイアログボックスを閉じます。

5 ［終了］をタップします。

アプリケーションをカテゴリー別に表示するには

1 ホーム アイコンをタップする。

2 次のいずれかの操作を行う。

- ホーム アイコンを繰り返しタップまたはジョグダイヤルを繰り返し押して、カテゴリーを順に表示する。
- 画面右上のドロップダウンリストをタップして、表示するカテゴリーを選択する。

「すべて」を選ぶと、すべてのアプリケーションがホーム画面に表示されます。ジョグダイヤルでアプリケーションを起動するときは、「すべて」にしておくと便利です。

文字を入力する

本機の日本語入力システムは標準の日本語入力システムに加え、ATOK Pocketが付属しています。それぞれ異なるスクリーンキーボード（入力パネル）が用意されていますが、ここではATOK Pocketについて説明します。標準の日本語入力システムの使いかたは「はじめにお読みください」をご覧ください。

ATOK Pocketを導入する

ATOK Pocketを利用するためには、ユーザー登録が必要になります。
以下の手順で登録を行い、ATOK Pocketを本機で使える状態にしましょう。

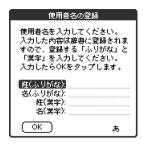
1 **（ホーム）をタップする。**

ホーム画面が表示されます。

2 **ジョグダイヤルを回して［ATOK設定］を選び、ジョグダイヤルを押す。**

「使用許諾契約の確認」画面が表示されます。

3 使用許諾契約を読んで、同意するときは［はい］をタップする。

「使用者名の登録」画面が表示されます。

文字の入力方法については「はじめにお読みください」をご覧ください。

4 姓と名を、ふりがなと漢字ですべて入力してから、［OK］をタップする。

「ATOK設定」画面が表示されます。

5 ［ATOKを使用する］をタップして、チェックをつける。

これでATOK Pocketが使えるようになりました。

ちょっと一言

- ホーム画面に戻るときは、（ホーム）をタップしてください。
- 標準の日本語入力システムに戻すときは、［ATOKを使用する］をタップして、チェックをはずしてください。

ATOK Pocketの設定を変更する

ATOK Pocketを使うときの操作環境を設定できます。

1 **ホーム をタップする。**

ホーム画面が表示されます。

2 **ジョグダイヤルを回して［ATOK設定］を選び、ジョグダイヤルを押す。**

3 **ジョグダイヤルを回して［ATOK設定］を選び、ジョグダイヤルを押す。**

ATOK Pocket設定画面が表示されます。

4 **画面右上にある「▼メイン」をタップして、設定を変更したい項目を選ぶ。**

それぞれの設定項目で設定できる内容については、以下の説明をご覧ください。

入力・変換

候補ウィンドウ

変換時に入力パネルの［変換］を何回かタップ、またはジョグダイヤルを何回か押すと、候補の一覧が表示されるのかを設定します。

後変換候補の追加

変換候補として表示される文字の種類を選びます。変換の候補として表示させたい文字の種類をタップして、チェックをつけます。

スペースキー空白入力

日本語入力モードが「入」の状態のときに、入力パネルのスペースキーで入力する空白を、全角スペースまたは半角スペースから選びます。

辞書・学習

辞書設定

変換に使用する辞書を複数設定できます。
標準辞書には、入力パネルの［変換］またはスペースキーをタップして変換する、通常の変換に使用する辞書を設定します。
辞書2、3として、あとから追加インストールした各種の辞書を割り当てることもできます。

一時学習

変換結果を学習するかしないかを設定します。「する」に設定すると、変換結果が登録されて、変換時の優先順位が上がります。

入力パネル

キーボード をタップしたときに標準で表示される入力パネルと、Graffiti入力エリアの［1］をタップして選べる入力パネルの種類を選びます。

使用する入力パネルを選ぶ

使いたい入力パネルをタップして、チェックをつけます。
削除したい入力パネルを選択してから［削除］をタップして、一覧から削除することもできます。削除した入力パネルをもう1度利用したい場合には、ATOK Pocketの再セットアップが必要となります。

標準の入力パネルを選ぶ

チェックボックスの左側をタップして をつけると、キーボード をタップしたときに選んだ種類の入力パネルが標準で表示されるようになります。

入力パネルで文字を入力する

ここではATOK Pocketの入力パネルを使った、文字の入力のしかたについて説明します。
本機に付属している、「メモ帳」アプリケーションを使って、文字入力を練習してみましょう。

日本語入力のまえに

ここでは、「メモ帳」アプリケーションを起動して、日本語を入力できるようにするまでの手順を説明します。

1 フロントパネルの ボタンを押す。

「メモ帳」アプリケーションが起動します。

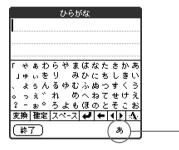
2 ［新規］をタップする。

新規メモが作成され、文字が入力できる状態になります。

3 Graffiti入力エリアの右側の キーボード をタップする。

ひらがなの入力パネルが表示されます。

漢字に変換できないときは

画面右下に「a」または⬆と表示されているときには、日本語入力モードが「切」になっているため、漢字に変換できません。Graffiti入力エリア左側の［日／英］をタップして、日本語入力モードを「入」にしてください。
画面右下の表示が「あ」に変わります。

「あ」と表示されていることを確認する。

入力パネルを閉じるときは[終了]をタップします。

文字入力を練習する

ここでは「世界にひろがったソニーPDA」という例文を、入力パネルを使ってメモ帳に入力する手順を説明します。

1 漢字を入力する

1 「世界に」の読みを入力する。

せ、か、い、に、の順に画面上のキーをタップします。

キーをタップするごとに、カーソル(画面上で点滅している「｜」)が文字の入力位置に動きます。

2 [変換] をタップする。

入力した読みに当てはまる漢字が表示されます。

間違った漢字が表示されたときは、もう1度 [変換] をタップします。

画面左端に漢字変換候補が表示されるので、目的の漢字をスタイラスでタップしてください。

ジョグダイヤルでも変換候補を選べます

ジョグダイヤルを回して、漢字変換候補を選ぶこともできます。

3 ［確定］をタップする。

変換が確定します。

以下の方法でも確定できます

- （Enterキー）をタップする
- Graffiti入力エリア左側の［決定］をタップする
- ジョグダイヤルを押す

文字を間違って入力したときは

（Back Spaceキー）をタップすると、直前の文字を消去できます。

2 ひらがなを入力する

1 「ひろがった」の読みを入力する。

ひ、ろ、か、゛（濁点）、っ（小文字）、た、の順に画面上のキーをタップします。

キーをタップするごとに、カーソルが文字の入力位置に動きます。

2 ［確定］または （Enterキー）をタップする。

変換する必要がないので、［変換］をタップする必要はありません。

3 カタカナを入力する

1 Graffiti入力エリアの［1］をタップして、表示されたメニューの［カタカナ］をタップする。

カタカナの入力パネルが表示されます。

2 ソ、ニ、ー、の順に画面上のキーをタップする。

キーをタップするごとに、カーソルが文字の入力位置に動きます。

3 ［確定］または ↵（Enterキー）をタップする。

変換する必要がないので、［変換］をタップする必要はありません。

ちょっと一言

ひらがな入力パネルで「そにー」と入力してからシルクスクリーンエリアの［あ／ア］をタップして、カタカナに変換することもできます。

4 英字を入力する

1 Graffiti**入力エリアの［**1**］をタップして、表示されたメニューの［英数字］をタップする。**

英数字の入力パネルが表示されます。

2 **（Caps**キー**）をタップしてから、**P**キーをタップする。**

大文字でPと入力されます。

3 D、A**の順に画面上のキーをタップする。**

日本語入力モードが「切」になっているため、変換したり確定したりする必要はありません。

5 入力を確定する

文字の入力がすべて終わったら、［終了］をタップする。

入力パネルで入力した文字が、「メモ帳」アプリケーション内に入力されます。

これで「世界にひろがったソニーPDA」と入力できました。

ひらがな・カタカナ・英数字入力パネル上にない文字や記号の入力のしかたや、漢字に変換する文節の位置の調節のしかたなどについて詳しくは、次ページの「覚えておくと便利な機能」をご覧ください。

覚えておくと便利な機能

文節の区切りを変更する

長い文章を入力してから変換したときに、変換の単位となる文節が正しく区切られずに、正しく変換できないことがあります。
このような場合には、文節の区切りを変更することで、正しく変換できるようになります。
「ここで履き物を買う」→「ここでは着物を買う」という文を例にして、文節の区切りの変更のしかたについて説明します。

1 **「ここではきものをかう」と入力する。**

2 **[変換] をタップする。**

文節が自動的に「ここで」と「はきものをかう」に区切られて、変換されます。

3 スタイラスで「ここでは」の上をなぞる。

文節の区切りが「ここで」から「ここでは」に変更されて、新しい区切りにあわせて、文字が変換されて表示されます。

4 ［確定］を3回タップする。

変換した文字列を一度に確定するには

複数の文節の変換結果が正しいときは、入力パネルの （メニュー）をタップして表示されたメニューから［1.全確定］をタップします。文字列以外の場所をタップしても、全確定されます。

記号や特殊な文字を入力する

記号や顔文字を入力したり、読みのわからない文字を一覧から探して入力したりするときに便利な入力パネルもあります。

ご注意

入力モードが英数字のときは入力直後に確定されます。入力モードが日本語のときは入力直後に確定するものと未確定のものがあります。

Graffiti入力エリアの［1］をタップして、表示されたメニューから利用したいパネルを選ぶ。

選んだ入力パネルが表示されます。

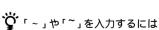
それぞれのパネルの内容については、次ページをご覧ください。

記号入力パネル

文字コード表入力パネル

時刻入力パネル

日付入力パネル

顔文字入力パネル

「〜」や「˜」を入力するには

- 全角の「〜」を入力するには、ひらがな入力パネルで「から」と入力してから、「〜」が選ばれるまで［変換］をタップします。
- インターネットのホームページのアドレスなどによく使われる半角の「˜」（チルダ）を入力するには、英数字キーボードを表示させてから、⇧（Shiftキー）をタップして、［~］をタップします。

手書き入力で文字を入力する（Graffiti）

ここでは、手書き入力（Graffiti〔グラフィティ〕）の基本と、Graffitiを使った文字の入力のしかたについて説明します。本機に付属している、「メモ帳」アプリケーションを使って、文字入力を練習してみましょう。

ご注意

スクリーンキーボードや入力パネルを使用中は、Graffitiによる入力はできません。

Graffitiとは

Graffitiとは、文字をすばやく正確に入力するための文字やコマンドの入力方法のことです。Graffitiは通常のアルファベットに似ているので、すばやく簡単に習得できます。

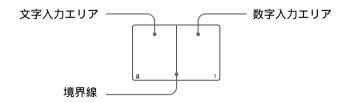
Graffiti文字の例（A、B、C、D、E）

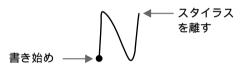
一筆書きで文字を入力します

ほとんどの文字は、一筆書きですばやく入力できます。Graffiti入力エリアからスタイラスを離してしまうと、その文字の書き終わりが認識され、すぐに次の文字が表示されます。

「K」など一筆書きでは書けないように思われる文字についても、Graffitiではストローク（筆順）の一部を書くことによって文字が認識されるので、一筆書きで入力できます。

文字を入力する場所と数字を入力する場所は異なります

Graffiti入力エリアは、文字を入力するエリアと数字を入力するエリアに分かれています。2つのエリアは、境界線を示す直線で区別されています。

文字の書き始めの点、書き順が決まっています

下図のように、それぞれのGraffiti文字は書き始めの点（太い点）が決まっています。DとO、Qなど形の似ている文字でも、Graffiti文字は書きはじめと終わりの位置が明確に異なります。
誤入力を防ぐためにも、Graffiti文字は必ず太い点の位置から書き始めてください。

ご注意

Graffiti文字の一覧に表示されている、太い点自体は書かないでください。太い点は、書き始めの位置をわかりやすく示すためのものです。

日本語入力のまえに

ここでは、「メモ帳」アプリケーションを起動して、日本語を入力できるようにするまでの手順を説明します。

1 フロントパネルの (メモ帳) ボタンを押す。

「メモ帳」アプリケーションが起動します。

2 ［新規］をタップする。

新規メモが作成され、文字が入力できる状態になります。

Graffiti文字一覧

アルファベット

A	N
B	O
C	P
D	Q
E	R
F	S
G	T
H	U
I	V
J	W
K	X
L	Y
M	Z

数字

1	6
2	7
3	8
4	9
5	0

キーボード記号

Spaceキー		ピリオド	2回タップする
Back Spaceキー		Shiftキー	
Enterキー		Capsキー	

記号

記号を入力するときは、Graffiti入力エリアをタップして、入力モードを記号モードに切り替えます。

終了 詳細 — 記号モード

（Back Space）を入力して記号モードから抜けられます。

.（ピリオド）		#	
,（カンマ）		%	
'（アポストロフィ）		^	
?（疑問符）		&	
!（感嘆符）		*	
-（ダッシュ）		;	
((左括弧)		:	
)（右括弧）		タブ記号	
/（スラッシュ）		`	
$（ドル記号）		~	
"		<	
@		>	

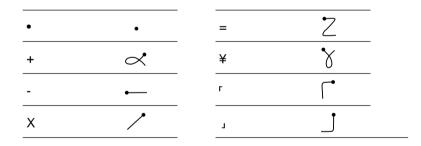
記号	ストローク
[	
]	
{	
}	
¥	
+	
=	
-	
I	

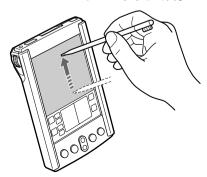
特殊文字

特殊文字を入力するときは、Graffiti入力エリアに特殊文字モード切り替え文字 を入力して、入力モードを特殊文字モードに切り替えます。

記号モード

(Back Space) を入力して記号モードから抜けられます。

記号	ストローク
•	
+	
-	
X	
=	
¥	
「	
」	

Graffiti文字の一覧を確認したいときは

画面を下から上へとスタイラスでなぞると、Graffiti文字の一覧が表示されます。

Graffitiで文字を入力してみる

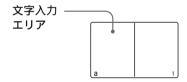
1 画面上の文字を入力したい位置をタップする。

Graffitiの入力エリアではなく、実際に文字を入力したい部分をタップします。タップした部分にカーソルが点滅しているかどうか、確認してください。

2 前ページまでの表で、入力したい文字の書きかたを確認する。

文字によっては、2通りの書きかたがあります。その場合は、書きやすい方を選んで入力してください。

大文字と小文字の入力には、同じGraffiti文字を使います。

3 Graffiti入力エリアの左側のエリアに、スタイラスを合わせる。

4 前ページの表に示されている形を、太い点から書き始める。

5 文字を書き終わったら、画面からスタイラスを離す。

Graffiti入力エリアに書いたGraffiti文字が認識され、画面のカーソル位置に入力した文字が表示されます。

画面からスタイラスを離してからは、すぐに次の文字を書き始められます。

ご注意

文字は、Graffiti入力エリア内に書く必要があります。Graffiti入力エリアの外で書くと、文字として認識されません。

Graffiti文字の入力についてのご注意

- 文字認識の精度をあげるために、入力エリアいっぱいになるようにGraffiti文字を書いてください。
- Graffiti文字は普通の早さで書いてください。書く速度が遅すぎると、Graffiti文字を誤って認識することがあります。
- Graffiti文字をななめに書かないでください。Graffiti文字の縦の線は、Graffiti入力エリアの左右にある縦の境界線と平行になる必要があります。

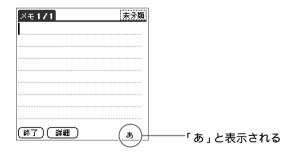
Graffiti文字で日本語入力を練習する

ここでは「世界にひろがったソニーPDA」という例文を、Graffitiを使ってメモ帳に入力する手順を説明します。

1 日本語入力を選ぶ

ただGraffiti文字を書いても、漢字やカタカナは入力できません。
本機の日本語入力モードを「入」にする必要があります。

シルクスクリーンエリアの［日／英］をタップして、日本語入力モードを「入」にする。

日本語入力モードが「入」のときは、画面右下に「あ」と表示されます。

2 漢字を入力する

Graffitiでは、ローマ字入力で日本語を入力します。
通常のローマ字と同様に、「あ」と入力するには「A」、「か」と入力するには「K」「A」と連続して書きます。

1 「世界に」の読みを入力する。

S（ ）、E（ ）、K（ ）、A（ ）、I（ ）、N（ ）、I（ ）の順にGraffiti文字を書きます。

2 ［変換］をタップする。

入力した読みに当てはまる漢字が表示されます。
間違った漢字が表示されたときは、もう1度［変換］をタップします。
画面左端に漢字変換候補が表示されるので、目的の漢字をスタイラスでタップしてください。

3 ［決定］をタップする。

変換が確定します。

文字を間違って入力したときは

（Back Space）で直前の文字を消去できます。

3 ひらがなを入力する

1 「ひろがった」の読みを入力する。

H（ ）、I（ ）、R（ ）、O（ ）、G（ ）、A（ ）、T（ ）、T（ ）、A（ ）の順にGraffiti文字を書きます。

「っ、ッ」などの小文字を入力するには

以下のようにGraffiti文字を続けて書きます。

- **「ぁ、ァ」などの小文字を入力するとき：**「x」「a」、または「l」「a」
- **「っ、ッ」などを入力するとき：**「x」「t」「u」または「l」「t」「u」
- **「ゅ、ュ」などを入力するとき：**「x」「y」「u」または「l」「y」「u」
- **「ウィ」と入力するとき：**「w」「i」

2 ［決定］をタップする。

変換する必要がないので、［変換］をタップする必要はありません。

4 カタカナを入力する

1 S（ ）、O（ ）、N（ ）、I（ ）、–(1回タップしてから ）の順にGraffiti文字を書く。

2 **［あ／ア］をタップする。**
入力した文字列がカタカナに変換されます。

3 **［決定］をタップする。**
変換が確定します。

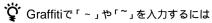
5 英字を入力する

1 **［日／英］をタップして、日本語入力モードを「切」にする。**
日本語入力モードが「切」のときは、画面右下に「a」と表示されます。

2 **CapsキーのGraffiti文字（ ）を書いてから、PのGraffiti文字（ ）を書く。**
大文字でPと入力されます。

3 **D（ ）、A（ ）の順にGraffiti文字を書く。**
日本語入力モードが「切」になっているため、変換したり確定したりする必要はありません。

これで「世界にひろがったソニーPDA」と入力できました。
特殊な文字や記号の入力のしかたについては37、38ページ、漢字に変換する文節の位置の調節のしかたなどについて詳しくは「覚えておくと便利な機能」（30ページ）をご覧ください。

Graffitiで「～」や「˜」を入力するには

- 全角の「～」を入力するには、ひらがなで「から」と入力してから、「～」が選ばれるまで［変換］をタップします。
- インターネットのホームページのアドレスなどによく使われる半角の「˜」（チルダ）を入力するには、［日／英］をタップして日本語入力モードを［切］にしてからさらに入力エリアをタップ（•）して記号入力モードにし、 のGraffiti文字を書きます。

ナビゲーション記号やショートカットを利用する

文字を入力するだけでなく、ナビゲーション記号やショートカットコマンドをGraffitiで入力して、アプリケーションのフィールドを移動したり、頻繁に使う記号をすばやく入力したりできます。

ナビゲーション記号を利用する

- カーソルを右に移動：
- カーソルを左に移動：
- 前のフィールドへ（「アドレスの編集」画面のみ）：
- 次のフィールドへ（「アドレスの編集」画面のみ）：
- アドレスデータを開く（アドレスのみ）：

ショートカットを利用する

Graffitiには3種類のショートカットが登録されています。
ショートカットを利用するには、まずショートカット記号 を書いてから、ショートカットとして登録した文字を入力します。
ショートカット記号を書くと、カーソル位置にショートカット入力モードを示す記号が表示されます。

ソニーPDAには、以下のGraffitiショートカットが登録されています。

- **日付スタンプ：**ds
- **時刻スタンプ：**ts
- **日付／時刻スタンプ：**dts
- **株式会社：**kk

たとえば、次のショートカットdtsをGraffiti文字で書くと、現在の日付けと時刻を入力できます。

ご注意

Graffitiショートカットは、アルファベット入力モードでのみ使用できます。

“ メモリースティック ”を使う

“ メモリースティック ”は、小さくて軽く、しかもフロッピーディスクより容量が大きい新世代の記録メディアです。“ メモリースティック ”対応のデジタルビデオカメラレコーダーなどの機器とデータをやりとりするのに便利なだけでなく、着脱可能な外部記録メディアの1つとしてデータを保存するときもお使いいただけます。

“ メモリースティック ”を使って、本機間やパソコンとのデータのやり取りを簡単に行えます。本機では“ メモリースティック ”のデータをやり取りするために、付属の専用アプリケーション「Memory Stick Gate (MS Gate) 」を使います。

“ マジックゲート メモリースティック ”についてのご注意

本機のメモリースティックスロットは、“ マジックゲート メモリースティック ”に記録した音楽ファイルなど、著作権保護されたファイルの取り扱いには対応していません。MS GateやWindowsのエクスプローラなどでそれらのファイルやディレクトリを操作した場合、ファイルが無効となり、使えなくなる場合があります。
著作権保護されているファイルの操作を行う場合は、メモリースティックウォークマンなどの“ マジックゲート メモリースティック ”に対応した機器と、「OpenMG Jukebox」などの著作権保護されたファイルに対応したソフトウェアをご使用ください。著作権保護されているファイルの操作を行う場合は、本機のメモリースティックスロットは使用しないでください。

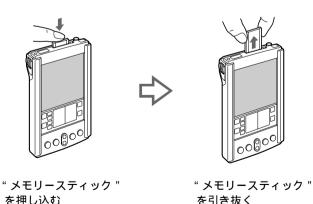
“ メモリースティック ”を入れる／取り出す

“ メモリースティック ”をメモリースティックスロットに入れます。

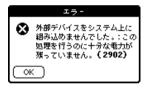
ご注意

“ メモリースティック ”の向きにご注意ください。無理に逆向きに入れようとするとスロットが破損する恐れがあります。

“ メモリースティック ”を取り出すには

“ メモリースティック ”へのデータの書き込みやデータの読み出しを行っていないことを確認してから“ メモリースティック ”を押し込みます。
“ メモリースティック ”が本機から少し出てくるので、“ メモリースティック ”を引き抜いてください。

“ メモリースティック ”使用上のご注意

“ メモリースティック ”をお使いになるときは、以下の点にご注意ください。

- “ メモリースティック ”の端子部に手や金属で触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のある場所
- 持ち運びや保管の際は、専用の収納ケースに入れてください。
- 大切なデータはバックアップをとっておくことをお薦めします。
- データの読み込み中や書き込み中に“ メモリースティック ”を抜かないでください。
- 下記の場合、記録したデータが消えたり壊れたりすることがあります。
  - 読み込み中や書き込み中、初期化中に“ メモリースティック ”を抜いた場合
  - 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- 本機のバッテリ残量が少ないときは、“ メモリースティック ”を入れると警告メッセージが表示されます。

  バッテリ残量が少ないときは“ メモリースティック ”でデータをやり取りすることはできません。本機にACアダプタを接続するか、充分に充電してから行ってください。

- 本機で使用する“ メモリースティック ”は本機のMS Gateから初期化してください。本機以外で初期化された“ メモリースティック ”は正しく動作しない場合があります。
- 本機以外で初期化した“ メモリースティック ”を入れると、「フォーマットしますか」という確認のダイアログが表示されます。
  フォーマットした場合、本機で使えるようになりますが、データはすべて消去されますのでご注意ください。

データを書き込み禁止にする

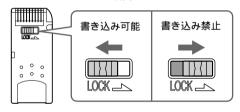
大切なデータを誤って消してしまうことのないように、“ メモリースティック ”には書き込み禁止のタブがついています。このタブを左右に動かして、“ メモリースティック ”を書き込み可能に、あるいは書き込み禁止にできます。

❏ 書き込み可能

データの書き込みが可能な状態です。データを“ メモリースティック ”に記録したいときは、書き込み可能な状態にしておきます。

❏ 書き込み禁止

タブを右にスライドさせると、書き込み禁止の状態になります。データの読み出しはできますが、書き込みはできません。データを書き込んだり、削除したくない“ メモリースティック ”を本機のメモリースティックスロットに入れてデータを読み込むときなどには、書き込み禁止にしておきます。

“ メモリースティック ”裏面

“ メモリースティック ”を初期化する（フォーマット）

市販の“ メモリースティック ”はすでに初期化（フォーマット）されており、すぐにお使いになれます。本機で“ メモリースティック ”を初期化したいときは、以下の手順で初期化を行ってください。

1 (ホーム) **をタップする。**

ホーム画面が表示されます。

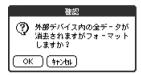
2 **ジョグダイヤルを回して［MS Gate］を選び、ジョグダイヤルを押す。**

MS Gateが起動します。

3 **メニュー をタップする。**

メニューが表示されます。

4 **［オプション］－［フォーマット］をタップする。**

確認のメッセージが表示されます。

5 **［OK］をタップする。**

"メモリースティック"の初期化をやめるときは

上記の手順5で［OK］のかわりに［キャンセル］をタップします。

初期化（フォーマット）とは

初期化（フォーマット）とは、お使いの本機で"メモリースティック"にデータを読み書きできるように"メモリースティック"の記録方式を決めることです。

ご注意

- すでにデータが書き込まれている"メモリースティック"を初期化すると、そのデータは消去されてしまいます。誤って大切なデータを消すことがないようにご注意ください。
- 本機で使う"メモリースティック"を初期化するときは、必ず本機で初期化してください。パソコンで初期化した"メモリースティック"を本機で使うと、データを正常に読み書きできない場合があります。
- 初期化中に"メモリースティック"を抜き差しするなどして失敗した場合、"メモリースティック"が認識されません。一度、"メモリースティック"を抜いて、もう一度入れてみてください。その上で再度初期化を行ってください。

Memory Stick Gateを起動する

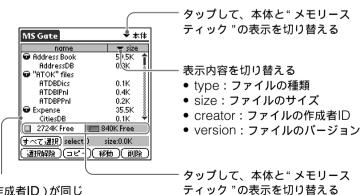
MS Gateアプリケーションを使って、“メモリースティック”の¥PALM¥PROGRAMS¥MSFILESディレクトリ内と本体のデータをコピー、移動、削除できます。

ご注意

アプリケーションの中には、直接“メモリースティック”内の他のディレクトリのデータを操作するものがあります。

1 （ホーム）**をタップする。**
ホーム画面が表示されます。

2 **ジョグダイヤルを回して［MS Gate］を選び、ジョグダイヤルを押す。**

MS Gateが起動し、本機内のデータの一覧が表示されます。

本機のデータを“ メモリースティック ”にコピーする

HotSyncでパソコンにデータを保存するだけでなく、MS Gateアプリケーションを使って本機内のデータを“ メモリースティック ”に保存できます。

ご注意

データのコピーは電力を消費するため、バッテリ残量が少ないときは“ メモリースティック ”が使えません。その場合はACアダプタをつないで操作してください。

1 **“ メモリースティック ”を本機に入れる。**

2 **(ホーム) をタップする。**

ホーム画面が表示されます。

3 **ジョグダイヤルを回して［MS Gate］を選び、ジョグダイヤルを押す。**

MS Gateが起動し、本機内のデータの一覧が表示されます。

4 **“ メモリースティック ”にコピーしたいデータをタップして選ぶ。**

ちょっと一言

複数のデータをタップして選ぶこともできます。

ご注意

（コピー不可）マークのついているデータはコピー（選択）できません。

5 **［コピー］をタップする。**

「ファイルのコピー」画面が表示されます。

6 **［OK］をタップする。**

手順4で選んだ本機内のデータが、“ メモリースティック ”の￥PALM￥PROGRAMS￥MSFILESディレクトリにコピーされます。

すべてのデータをまとめてコピーしたいときは

上記の手順4で［すべて選択］をタップします。

選んだデータの選択を解除したいときは

［選択解除］をタップします。

本機のデータを“ メモリースティック ”に移動したいときは

本機のメモリの空き容量が少なくなっている場合には、データをコピーするのではなく、“ メモリースティック ”に移動すると便利です。

上記の手順5で［移動］をタップする。

本機内のデータが“ メモリースティック ”内に移動し、保存されます。

ご注意

データのコピーまたは移動中に「充電池の電力低下」ダイアログが表示された場合は、データのコピー・移動に失敗し、無効なファイルが“ メモリースティック ”内に残っている可能性があります。
本機の充電後に、再度同じ操作を行ってください。上書きを確認するダイアログが表示された場合は、［はい］または［すべて上書き］をタップしてください。

“ メモリースティック ”のデータを本機にコピーする

“ メモリースティック ”に保存してあるデータを、MS Gateアプリケーションを使って本機にコピーできます。

1 **“ メモリースティック ”を本機に入れる。**

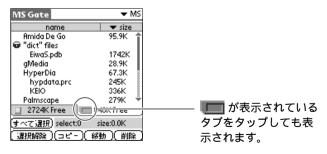
2 **（ホーム）をタップする。**

ホーム画面が表示されます。

3 **ジョグダイヤルを回して［MS Gate］を選び、ジョグダイヤルを押す。**

MS Gateが起動し、本機内のデータの一覧が表示されます。

4 **ジョグダイヤルを押す。**

画面右上のドロップダウンリストから「MS」を選ぶこともできます。

“ メモリースティック ”の￥PALM￥PROGRAMS￥MSFILESディレクトリ内のデータの一覧が表示されます。

5 本機にコピーしたいデータをタップして選ぶ。

コピーする前に、本体の空き容量を確認してください。

6 ［コピー］をタップする。

「ファイルのコピー」画面が表示されます。

7 ［OK］をタップする。

手順5で選んだ“メモリースティック”内のデータが、本機にコピーされます。

すべてのデータをまとめてコピーしたいときは

上記の手順5で［すべて選択］をタップします。

選んだデータの選択を解除したいときは

［選択解除］をタップします。

“メモリースティック”内のデータを本機に移動したいときは

“メモリースティック”のデータを本機にコピーするのではなく、データを移動させることもできます。

上記の手順6で［移動］をタップする。

“メモリースティック”内のデータは削除され、本機内にデータが保存されます。

パソコン上でデータを“メモリースティック”にコピーし、そのデータをMS Gateを使って本機にコピーしたい場合は、“メモリースティック”の￥PALM￥PROGRAMS￥MSFILESディレクトリの中にデータをコピーしてください。

“ メモリースティック ”のデータを削除する

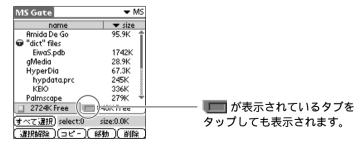
“ メモリースティック ”に保存してあるデータのうち、不要なものをMS Gateアプリケーションを使って削除できます。

1 **“ メモリースティック ”を本機に入れる。**

2 **（ホーム）をタップする。**
ホーム画面が表示されます。

3 **ジョグダイヤルを回して［MS Gate］を選び、ジョグダイヤルを押す。**
MS Gateが起動し、本機内のデータの一覧が表示されます。

4 **ジョグダイヤルを押す。**

画面右上のドロップダウンリストから「MS」を選ぶこともできます。

“ メモリースティック ”の￥PALM￥PROGRAMS￥MSFILESディレクトリ内のデータの一覧が表示されます。

5 **削除したいデータをタップして選ぶ。**

6 **［削除］をタップする。**

「ファイルの削除」画面が表示されます。

7 **［OK］をタップする。**

手順5で選んだ“ メモリースティック ”内のデータが削除されます。

すべてのデータをまとめて削除したいときは

上記の手順5で［すべて選択］をタップします。

選んだデータの選択を解除したいときは

［選択解除］をタップします。

「MS Gate」のメニューコマンド

MS Gateには、ソニーPDA本体と“メモリースティック”内のデータをやり取りするためのメニューコマンドが用意されています。ここでは、MS Gate固有のメニューコマンドを説明します。
ソニーPDAのアプリケーションに共通のメニューコマンドについては、「便利な機能」の「共通メニュー項目」をご覧ください。

「機能」メニュー

「機能」メニューの内容は、表示中の画面によって多少異なります。

すべて選択

現在選んでいるタブに表示されているデータを、すべて選択します。

選択解除

現在選択しているデータを、すべて選択解除にします。

コピー

現在選択しているデータを、本機または“メモリースティック”へコピーします。
「ファイルのコピー」画面が表示されるので、[OK] をタップします。

移動

現在選択しているデータを、本機または“メモリースティック”へ移動します。
「ファイルの移動」画面が表示されるので、[OK] をタップします。

削除

現在選択しているデータを、本機または“メモリースティック”から削除します。
「ファイルの削除」画面が表示されるので、[OK] をタップします。

「オプション」メニュー

フォーマット

本機に挿入した“ メモリースティック ”をフォーマット（初期化）します。詳しくは『“ メモリースティック ”を初期化する（フォーマット）』（48ページ）をご覧ください。

バージョン情報

MS Gateのバージョン情報を表示します。

「アドレス」でできること

アドレスでは、個人的な友人や仕事関係の知人などの名前、住所、電話番号などのアドレス情報を管理できます。

名前、住所、電話番号などの情報を管理する

自宅や勤務先の電話番号だけでなく、ファックス番号や携帯電話の番号、電子メールアドレスなどの情報もまとめて管理できます。「アドレス」に表示する電話番号は、それぞれのアドレス情報ごとに指定できます。

画像を貼り付ける

アドレス情報に追加して、画像を添付することもできます。

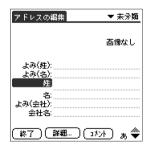
アドレス情報を効率よく利用する

アドレス情報に追加して、コメントを添付できます。また、アドレス情報をカテゴリーごとに分類して並べ替えたり、効率よく検索することもできます。

新しい情報を入力する

アドレスの情報はソニーPDAで直接作成するだけでなく、パソコン上のSony PDA Palm Desktopソフトウェアで作成した情報をソニーPDAに取り込むこともできます。
パソコン上の情報を取り込むには、「本機とパソコンのデータを同期させる（HotSync）」（178ページ）を参照してください。

1 **フロントパネルの ボタンを押す。**
画面にアドレスが表示されます。

2 **［新規］ボタンをタップする。**
「アドレスの編集」画面が表示されます。

3 **アドレスに追加したい人の姓を入力する。**
日本語でデータを入力する場合、「姓」、「名」、または「会社名」のフィールドにひらがなを変換して漢字を入力すると、自動的に「よみ」フィールドへ読みが追加されます。

ご注意

入力パネル（スクリーンキーボード）を使って文字を入力した場合は自動的に「よみ」フィールドへ読みが追加されない場合があります。直接文字を入力してください。

数字または電子メールアドレスを入力するフィールドを除いて、英数字で情報を入力するフィールドでは、各フィールドの最初の文字は自動的に大文字で表示されます。Capsキーを使って名前の頭文字を大文字にする必要はありません。

4 ［名］をタッチする。

「名」フィールドに移動します。

Graffitiを使って、「 」と入力して次のフィールドに移動することもできます。「 」と入力すると、前のフィールドに戻ります。

5 「名」フィールドに名前を入力する。

6 手順4と5を繰り返して、その他の情報を入力する。

7 他の情報を入力したいときは、▼をタップして次のページに移動する。

8 入力が終わったら、［終了］をタップする。

「アドレス」画面に戻ります。

アドレス情報の画像を貼り付けることもできます

詳しくは「アドレス情報に画像を貼り付ける」（63ページ）をご覧ください。

FAX番号や電子メールアドレスを入力したいときは

電話番号欄で入力できます。

1 **上記の手順6で電話番号を入力するときに、電話番号の横の▼をタップする。**

電話番号欄で使用できる、情報の種類の一覧が表示されます。

用意されている情報の種類として、会社、自宅、Fax 、その他、E-mail、代表、ポケベル、携帯があります。

2 **入力したい情報の種類をタップする。**

電話番号欄の表示が、選んだ種類の表示に変わります。

3 **情報を入力する。**

4 **他の種類の情報も入力したいときは、手順1〜3を繰り返す。**

アドレス情報に画像を貼り付ける

アドレス情報に画像を貼り付けられます。人物の写真やレストランの風景などの画像をアドレス情報に貼り込んでおくと、あとから思い出すときに便利です。
画像を貼り込むには、あらかじめ、付属のPictureGear Pocketアプリケーションを本機にインストールしておく必要があります。インストールの方法については「アプリケーションをインストールする」(171ページ)をご覧ください。

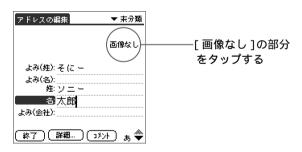
1 **フロントパネルの ボタンを押す。**
画面にアドレスが表示され、現在登録されている情報が一覧で表示されます。

2 **画像を貼り付けたい情報をタップする。**
「アドレス表示」画面が表示されます。

3 **[編集] をタップする。**
「アドレスの編集」画面が表示されます。

4 **画面右上の [画像なし] の部分をタップする。**

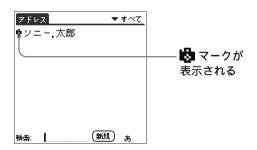
「画像の選択」画面が表示されます。

住所や電話番号を管理する(アドレス)

5 貼り込みたい画像をタップする。

選んだ画像がアドレス情報に貼り込まれます。

6 [終了] をタップする。

「アドレス」画面に戻ります。

画像を貼り付けたアドレス情報には、情報の左側に マークが表示されます。

ご注意

画像を貼り付けたアドレス情報のカテゴリーをパソコンのSony PDA Palm Desktopソフトウェア上で変更すると、次回HotSyncを行った後で画像とアドレス情報の関連付けがなくなります。画像を貼り付けたアドレス情報を変更するときは、本機で行ってください。

アドレス情報を見る

1 **フロントパネルの (電話アイコン) ボタンを押す。**
画面にアドレスが表示され、現在登録されているアドレス情報が一覧で表示されます。

2 **ジョグダイヤルを回して、見たいアドレス情報を選ぶ。**
見たい情報が表示されていないときは、ジョグダイヤルを回して情報の一覧表示全体を上下に移動します。

3 **ジョグダイヤルを押す。**
選択したアドレス情報が表示されます。

4 **アドレス情報の一覧に戻りたいときは、ジョグダイヤルを押す。**
アドレス情報の一覧表示に戻ります。

スクロールボタンでアドレス一覧表示や「アドレス表示」画面を上下にスクロールさせることもできます

- 情報が１ページ分以上あるときは本機のスクロールボタンを押して、アドレス一覧表示や「アドレス表示」画面をスクロール表示することもできます。一覧表示画面でスクロールボタンを押し続けると、3ページずつ移動して表示することもできます。
- スクロールバーをスタイラスでドラッグして、スクロールさせることもできます。

アドレス情報に貼り付けられた画像を見たいときは

「アドレス表示」画面で、画像をタップします。
アドレス情報に貼り付けられた画像が、画面全体に表示されます。
画像をタップすると「アドレス表示」画面に戻ります。

アドレス情報内で次のページを見たいときは

「アドレス表示」画面で、ジョグダイヤルを回します。
データ内の前または次のページが表示されます。

カテゴリー選択リストで、表示するカテゴリーを選ぶこともできます
画面右上の▼をタップして、表示したいカテゴリーを選びます。

アドレス情報をカテゴリーごとに切り替えて見たいときは

アドレス情報が一覧表示されていて、どのアドレス情報も選ばれていないときに、ジョグダイヤルを押す。
ジョグダイヤルを押すごとに、表示されるアドレス情報のカテゴリーが切り替わります。

一覧を並べ替えて表示したいときは

アドレスを起動したときに、情報を「姓と名」ではなく、「会社と姓」の順に並べ替えて表示するように設定を変更できます。
なお、表示方法を変更しても、アドレスの表示が変わるだけで情報の内容は変更されません。

1 フロントパネルの ボタンを押す。
画面にアドレスが表示され、現在登録されている情報が一覧で表示されます。

2 メニュー をタップする。
メニューが表示されます。

3 [オプション] - [設定] をタップする。
「アドレスの設定」画面が表示されます。

4 [並べ替え] 欄で目的の表示形式をタップする。
アドレスを起動したときに、情報の表示される順序として、好みの形式を選びます。

5 [OK] をタップする。
アドレスが設定した順序で一覧表示されます。

ご注意

- 並べ替えの基準となる情報欄には、読みが入力されている必要があります。
- 並べ替えで［会社、姓］を選んだときは、会社名が入力されていない情報は、姓の読みを基準に並べ変えられます。

アドレス情報を検索して表示する

アドレスのデータは、すばやく検索できます。

1 **フロントパネルの ボタンを押す。**
画面にアドレスが表示され、現在登録されている情報が一覧で表示されます。

2 **検索したい情報の、最初の1文字を入力する。**
[検索]フィールドに文字が表示され、[よみ(姓)]フィールドがその文字で始まる最初の情報が表示されます。一覧を会社名で表示している場合は、[よみ(会社名)]の最初の文字が検索されます。
もう1文字入力すると、その2文字で始まる最初の情報が表示されます。
例：「お」と入力すると「小川」に移動し、「おの」と入力すると「小野」に移動する。

3 **確認したい情報をタップするか、ジョグダイヤルを押す。**
内容が表示されます。

住所や電話番号を管理する（アドレス）

アドレス情報を編集する

作成したアドレス情報は、いつでも内容を変更または追加できます。

アドレス情報を修正する

1 **フロントパネルの ボタンを押す。**

画面にアドレスが表示され、現在登録されている情報が一覧で表示されます。

2 **修正したい情報をタップする。**

「アドレス表示」画面が表示されます。

3 **［編集］をタップする。**

「アドレスの編集」画面が表示されます。

4 **「住所」または「市町村」などのフィールドをタップする。**

タップした情報が修正できる状態になります。

5 **情報を修正する。**

6 **修正が終わったら、［終了］をタップする。**

「アドレス」画面に戻ります。

アドレス情報を複製する

作成した情報を複製できます。同じ会社に所属する複数の人の情報を入力したいときなどに、便利です。

1 **フロントパネルの ボタンを押す。**

画面にアドレスが表示され、現在登録されている情報が一覧で表示されます。

2 **複製したい情報をタップする。**

「アドレス表示」画面が表示されます。

3 **［複製］をタップする。**

手順2で選んだ情報が複製されます。

複製されたデータには、「姓」フィールドの文字列の末尾に「コピー」という文字が追加されます。

4 **複製が終わったら、［終了］をタップする。**

「アドレス」画面に戻ります。

アドレス情報を削除する

入力した情報を削除することもできます。

1 **フロントパネルの ボタンを押す。**

画面にアドレスが表示され、現在登録されている情報が一覧で表示されます。

2 **削除したい情報をタップする。**

「アドレス表示」画面が表示されます。

3 **[編集] をタップする。**

「アドレスの編集」画面が表示されます。

4 **[詳細] をタップする。**

「アドレスの詳細」画面が表示されます。

5 **[削除] をタップする。**

「アドレスの削除」画面が表示されます。

6 **[OK] をタップする。**

手順2で選んだ情報が削除されます。

「パソコンにバックアップ」にチェックを付けていると、次回HotSyncしたときに本体から削除したデータが、Sony PDA Palm DeskTopに保存されます。

アドレス情報のカテゴリーを指定する

登録した情報にカテゴリーを指定できます。
カテゴリー別に情報を表示したり、情報をまとめることができるので便利です。

1 **フロントパネルの (電話) ボタンを押す。**
画面にアドレスが表示され、現在登録されている情報が一覧で表示されます。

2 **カテゴリーを指定したい情報をタップする。**
「アドレス表示」画面が表示されます。

3 **[編集] をタップする。**
「アドレスの編集」画面が表示されます。

4 **画面右上の▼をタップする。**
情報のカテゴリー一覧が表示されます。

5 **好みのカテゴリーをタップする。**
手順2で選んだ情報のカテゴリーが、選んだカテゴリーに指定されます。

アドレス情報の設定を変更する

アドレスの情報を表示したときに表示される情報の種類や、非表示にしたい情報の種類などといった、それぞれのアドレス情報の設定を変更できます。

1 **フロントパネルの　ボタンを押す。**

画面にアドレスが表示され、現在登録されている情報が一覧で表示されます。

2 **アドレス情報の設定を変更したい情報をタップする。**

「アドレス表示」画面が表示されます。

3 **[編集] をタップする。**

「アドレスの編集」画面が表示されます。

4 **[詳細] をタップする。**

「アドレスの詳細」画面が表示されます。

5 **好みに合わせて設定を変更する。**

- **アドレス参照**：現在のアドレス情報について、アドレスで表示する情報を選びます。▼をタップして、会社、自宅、Fax、その他、E-Mail、のいずれかを選びます。
- **カテゴリー：**データにカテゴリーを設定します。▼をタップして、ビジネス、パーソナル、クィックリスト、未分類、のいずれかを選びます。[カテゴリーの編集]を選んで、カテゴリーの種類を追加することもできます。
- **プライベート：**データ保護機能を「入」にした場合に、アドレスの初期状態では情報を表示されないようにします。保護したいときは、□をタップしてチェックをつけます。
  データの保護のしかたについて詳しくは、「データを保護する」（147ページ）をご覧ください。

6 **[OK] をタップする。**

手順2で選んだアドレス情報の設定が変更されます。

「アドレス」のメニューコマンド

アドレスには、一般的なデータの整理や編集のためのメニューコマンドが用意されています。ここでは、アドレス固有のメニューコマンドを説明します。

本機のアプリケーションに共通のメニューコマンドについては、「便利な機能」の「共通メニュー項目」をご覧ください。

「アドレス」メニュー

「アドレス」メニューの内容は、表示中の画面によって多少異なります。

アドレスの削除

現在のアドレス情報を削除します。

「アドレスの削除」画面が表示されるので、削除を実行するときは［OK］、削除をやめるときは［キャンセル］をタップします。

ご注意

ソニーPDAの標準設定では、アドレスから情報を削除しても、パソコンとHotSyncを行うことで削除したデータが復活してしまいます。完全に削除したいときは、「アドレスの削除」画面に表示される［パソコンにバックアップ］のチェックボックスをタップして、チェックをはずしてください。

コメントの添付

現在のアドレス情報にコメントをつけます。

コメントを作成するための画面が表示されます。

コメントの削除

現在のアドレス情報につけられているコメントを削除します。

「コメントの削除」画面が表示されるので、削除を実行するときは［はい］、削除をやめるときは［いいえ］をタップします。

アドレスの赤外線通信

現在のアドレス情報を、他のPalm OS搭載機器に赤外線通信ポート経由で送信します。

カテゴリーの赤外線通信

現在表示しているカテゴリー内のすべてのアドレス情報を、他のPalm OS搭載機器に赤外線通信ポート経由で送信します。

名刺に設定

現在のアドレス情報を名刺に設定します。名刺を他の本機に赤外線で送信したいときは、［名刺の赤外線通信］を使います。

名刺の赤外線通信

名刺に設定されたアドレス情報を赤外線通信ポート経由で、他のPalm OS搭載機器に送信します。
アドレスボタンを2秒以上押し続けて、名刺を赤外線で送信することもできます。
他の本機のユーザーと簡単に名刺を交換でき、便利です。

「オプション」メニュー

フォント

「アドレス」のフォント（書体）を変更できます。
「フォント選択」画面が表示されるので、好みのフォントに変更します。

設定

「アドレスの設定」画面が表示されます。

終了時のカテゴリーの保存

メモ帳やTo Doリストなどといった、別のアプリケーションからアドレスに戻ったときの画面表示を指定します。
タップしてチェックをつけると、前回表示していたカテゴリーのアドレス情報が表示されます。チェックをはずすと、すべてのアドレス情報が表示されます。

並べ替え

アドレスで情報を「姓、名」と「会社、姓」のどちらの方法で表示するかを指定します。

カスタムフィールド名の変更

アドレス情報の4つのカスタムフィールドの名前を変更できます。
カスタムフィールド名を変更すると、アドレス情報が自動的に変更されます。

データ保護

アドレスのデータを保護できます。
「データ保護の変更」画面が表示されるのでドロップダウンリストからデータ保護の種類を選びます。
本機のデータの保護のしくみについて詳しくは、「データを保護する」（147ページ）をご覧ください。

バージョン情報

アドレスのバージョン情報が表示されます。

「予定表」でできること

予定表では、会議や出張、美容院の予約や友人の誕生日などといった、さまざまな予定を効率よく管理できます。

時刻と日付を指定して、予定を管理する

時刻と日付を登録するだけでなく、1週間の予定をグラフ（ガントチャート）で表示できるので、重複している予定を簡単に見つけられます。
また、予定のカレンダーを1ヶ月単位で表示することもできます。午前、または午後の予定が入っている日を簡単に見つけることができ、便利です。
予定にコメントを添付して、詳細を記録しておくこともできます。

予定時刻に合わせてアラームを設定する

予定の前にアラームが鳴るように設定できます。
時刻の決まっていない特定の日の予定でも、アラームを設定できます。

繰り返しのイベントを管理する

定例の会合や誕生日、記念日などといった、繰り返し行われるイベントをお手軽に管理できます。

予定を作成する

「予定表」では、1日のあらゆる活動を「予定」として管理できます。予定表を起動すると、最初に今日の一般的な就業時間帯の画面が表示されます。
予定を作成すると、時刻の横に内容が表示され、予定の時間が自動的に1時間に設定されます。
また、予定表には、誕生日、祝日、記念日など、日付だけが決まっていて開始時刻と終了時刻がない予定を作成することもできます。時間指定なしの予定は、予定表画面の一覧の一番上に◆つきで表示されます。

現在の日付に予定を作成する

1 フロントパネルの ボタンを押す。

予定表が起動します。

2 予定表画面で、予定の時刻の行をタップする。

3 **予定の内容を入力する。**

全角で最大127文字まで入力できます。

4 **予定の時間が1時間ちょうどではない場合は、予定の時刻をタップする。**

「時刻の設定」画面が表示されます。

予定が1時間ちょうどの場合は、手順7に進んでください。

5 **右側の時刻一覧で、予定の開始時間をタップする。**

6 **［終了時刻］をタップしてから、時刻一覧から終了時刻をタップする。**

7 **［OK］をタップする。**

8　画面の端の空白領域をタップして、予定の選択を解除する。

時刻の横に予定の時間を示す線が表示されます。

ちょっと一言

予定が選択されていない状態で、Graffiti数字入力エリアに直接時刻を入力しても、「時刻の設定」画面が表示されます。

別の日の予定を作成する

1 **フロントパネルの ボタンを押す。**

予定表が起動します。

2 **以下のいずれかの方法で、予定の日付を指定する。**

Ⓐ 予定表画面の一番上の曜日をタップする。

別の週に移動するには、曜日の左右に表示されているスクロール矢印をタップします。

ジョグダイヤルを回して、日付を選ぶこともできます。

Ⓑ［カレンダー］をタップする。

「カレンダー」画面が表示されるので、年と月、日付を指定します。

3 **「現在の日付に予定を作成する」（77ページ）の操作を行う。**

フロントパネルのスクロールボタンを押して、別の日付に移動することもできます

前の日に移動するにはスクロールボタンの上部を押し、次の日に移動するにはスクロールボタンの下部を押します。同様に、「カレンダー」画面でスクロールボタンを押すと、前後の月に移動できます。

時間指定なしの予定を作成する

1 **フロントパネルの ボタンを押す。**

予定表が起動します。

2 **以下のいずれかの方法で、予定の日付を指定する。**

Ⓐ 予定表画面の一番上の曜日をタップする。

別の週に移動するには、曜日の左右に表示されているスクロール矢印をタップします。

Ⓑ［カレンダー］をタップする。

「カレンダー」画面が表示されるので、年と月、日付を指定します。

3 **［新規］ボタンをタップする。**

「時刻の設定」画面が表示されます。

4 **［OK］をタップする。**

開始時刻と終了時刻が設定されていない、新規予定が作成されます。

5 **予定の内容を入力する。**

時間指定なしの予定は、予定表画面の一番上に表示されます。

6 **画面の端の空白領域をタップして、予定の選択を解除する。**

ちょっと一言

選択中の予定がないことを確認してから、Graffiti入力エリアに直接予定の内容を入力して、時間指定なしの予定を作成する方法もあります。

時刻を設定してある予定を、時間指定なしの予定に変更する

1 **予定の時刻をタップする。**

「時刻の設定」画面が表示されます。

2 **［指定なし］をタップする。**

定期的な予定を作成する

1つの予定を周期的な予定に指定すると、周期的な予定や一定期間連続する複数の予定を作成できます。定期的な予定を作成すると、その予定の右端に ⧉ が表示されます。

周期的な予定の例：

- 誕生日：年単位の周期的な予定
- 毎週同じ曜日の同じ時刻にあるギター教室：週単位の周期的な予定
- 出張や長期休暇：一定の期間連続する予定

1　フロントパネルの ボタンを押す。

予定表が起動します。

2　予定表画面で、予定の内容部分をタップする。

3　［詳細］をタップする。

「予定の詳細」画面が表示されます。

4　［定期的な予定］をタップする。

「定期的な予定の設定」画面が表示されます。

5 **予定の周期に合わせて、［週］、［月］、または［年］をタップする。**

一定の期間連続する予定を設定したい場合は、［日］をタップします。

6 **［間隔］フィールドに定期的な予定の周期を入力する。**

例：［月］を選んでいるときに「2」と入力した場合は、隔月の定期的な予定になります。

7 **［終了日］ドロップダウンリストをタップしてから、［終了日の指定］をタップする。**

「終了日」画面が表示されます。

8 **予定の終了日をタップする。**

「定期的な予定の設定」画面に戻ります。

9 **［OK］をタップする。**

「予定の詳細」画面に戻ります。

10 **［OK］をタップする。**

予定表の画面に戻ります。

予定の右端に が表示されていることを確認してください。

定期的な予定または一定の期間連続する予定についてのご注意

- 定期的な予定の1つの日付を変更して、変更を一連の定期的な予定のすべてに適用すると、新しい日付が定期的な予定の開始日になります。また、変更した予定にあわせて、終了日が自動的に調整されます。
- 時刻、アラーム、プライベートなど、定期的な予定の詳細設定を変更して、変更を一連の予定のすべてに適用した場合は、設定を変更した日付を開始日とする定期的な予定が新規作成されます。その日付より前の予定は、変更されません。
- 定期的な予定の時刻などの設定を変更すると、その予定の 表示が消えます。

予定表を見る

作成した予定を確認します。

1 フロントパネルの ボタンを押す。

予定表が起動し、今日の予定が表示されます。

2 明日／前日の予定を見たいときは、ジョグダイヤルを回す。

未来／過去の予定を1日ずつ表示できます。

カレンダー表示を切り替える

予定表では、1日ごとのカレンダーを表示するだけでなく、週または月ごとのカレンダーを表示することもできます。

どの予定も選んでいない状態で、ジョグダイヤルを押す。

ジョグダイヤルを押すごとに、1日ごとの表示→1週間ごとの表示→1ヶ月ごとの表示→今日の予定→1日ごとの表示．．．の順に切り替わります。

予定表画面のアイコンをタップして切り替えることもできます

以下のアイコンをクリックして、カレンダー表示を切り換えます。

- ：1日ごとの表示
- ：1週間ごとの表示
- ：1ヶ月ごとの表示
- ：今日の予定

週表示を使う

週表示には、1週間の予定がグラフ（ガントチャート）で表示されます。この画面では、予定や空き時間を一目で確認できます。また、画像による表示のため、予定の重複をすばやく見つけることができます。

1 **フロントパネルの ボタンを押す。**

予定表が起動します。

2 **ジョグダイヤルを押す。**

週表示画面が表示されます。

週表示には時間指定なしの予定や、表示中の時間帯の前後の予定も表示できます。

3 **ジョグダイヤルを回して、予定を確認したい日を選ぶ。**

ジョグダイヤルを回すと、次の日を選べます。

4 **ジョグダイヤルを押す。**

予定の内容が表示されます。

週表示画面使用についてのアドバイス

- 変更する予定をタップしてから目的の時刻または日付にドラッグして、予定を変更できます。
- 空き時間をタップすると、その日付の画面に切り替わり、タップした時刻に新規予定を作成できます。また、週表示のグラフ上の曜日または日付をタップすると、時刻を選択せずに、その日付に移動できます。
- 週表示には、「設定」画面で開始時刻、終了時刻として設定した時間帯だけが表示されます。この時間帯の前後に予定がある場合は、グラフの上または下に横線が表示され、画面右下にスクロール矢印が表示されます。

週表示で重複予定を確認するには

予定が重複している場合は、週表示では同じ時間に複数の棒グラフ（ガントチャート）が表示されます。日表示では、鍵カッコ型の縦線が重なり合って表示されます。

月表示を使う

月表示画面では、予定が入っている日をすぐに確認できます。予定、定期的な予定、および時間指定なしの予定が点や線で表示されます。

1 フロントパネルの ボタンを押す。

予定表が起動します。

2 ジョグダイヤルを2回押す。

月表示画面が表示されます。

3 ジョグダイヤルを回して、予定を確認したい日を選ぶ。

ジョグダイヤルを回すと、次の日を選べます。

4 ジョグダイヤルを押す。

予定の内容が表示されます。

月表示画面使用についてのアドバイス

- 月表示で日付をタップすると、その日付の日表示画面に切り替わります。画面上部のスクロール矢印をタップすると、前の月または次の月に移動できます。
- ［カレンダー］をタップすると、「カレンダー」画面が表示されるので、別の月を選べます。
- 月表示画面では、フロントパネルのスクロールボタンを押して、別の月に移動できます。前の月を表示するには、スクロールボタンの上部を押し、次の月を表示するには、スクロールボタンの下部を押します。
- 月表示で予定を示す点や線の表示を変更することもできます。「「予定表」のメニューコマンド」の「表示」オプション（95ページ）をご覧ください。

日付／時刻表示を切り替える

予定表を使いながら、現在の時刻を確認できます。

予定表タイトルバーの日付を長めにタップする。

現在の時刻が表示されます。

スタイラスを離すと、メニューが表示されます。スタイラスを離したときにメニューが表示されないようにするには、時刻が表示されたあとにスタイラスをドラッグして、日付表示からずらしてください。

登録した予定を編集する

登録した予定は、簡単に変更できます。

予定の時刻を変更する

1 **フロントパネルの ボタンを押す。**
予定表が起動します。

2 **変更したい予定をタップする。**

3 **［詳細］をタップする。**
「予定の詳細」画面が表示されます。

4 **［時刻］をタップする。**
「時刻の設定」画面が表示されます。

5 **右側の時刻一覧で、予定の開始時間をタップする。**

6 **［終了時刻］をタップしてから、時刻一覧から終了時刻をタップする。**

7 **［OK］をタップする。**
「予定の詳細」画面が表示されます。

8 **［OK］をタップする。**

予定の日付を変更する

1 **フロントパネルの ⓪ ボタンを押す。**

予定表が起動します。

2 **日付を変更したい予定をタップする。**

3 **[詳細] をタップする。**

「予定の詳細」画面が表示されます。

4 **[日付] をタップする。**

「開始日」画面が表示されるので、年と月、日付を指定します。

5 [OK] **をタップする。**

予定アラーム音が鳴るように設定する

予定には、分、時、または日単位でアラーム音を設定できます。
標準の状態では、アラーム音は予定時刻の5分前に鳴るように設定されていますが、分、時、または日単位で変更することもできます。
アラームを設定した予定の右端には、⏰ アイコンが表示されます。

1 **フロントパネルの ◎ ボタンを押す。**
予定表が起動します。

2 **アラームを設定したい予定をタップする。**

3 **［詳細］をタップする。**
「予定の詳細」画面が表示されます。

4 **［アラーム］チェックボックスをタップして、チェックをつける。**
アラーム音が鳴るように設定されます。

5 **アラームの時間単位の▼をタップして、［分前］、［時間前］、［日前］のいずれかを選ぶ。**

6 **「5」と表示されている部分をタップしてから、0から99までの数値を入力する。**

7 **［OK］をタップする。**

時間指定をしていない予定のアラームを設定する

時間指定をしていない予定には、アラーム音のかわりにアラーム表示を設定できます。この場合、予定の当日の午前0時より前の指定時刻に、画面に［アラーム］メッセージが表示されます。

例：2月4日の時間指定なしの予定にアラームを設定した場合
アラームを5分前に設定した場合は、2月3日 午後11時55分に［アラーム］メッセージが表示されます。
このメッセージは、本機の電源を入れて［OK］をタップするまで、画面に表示されたままになります。

予定をプライベートデータに設定する

予定は、プライベートデータとして設定できます。データ保護でパスワードを設定すると、プライベートデータを表示するためにはパスワードを入力する必要があります。

1 **フロントパネルの ボタンを押す。**
予定表が起動します。

2 **プライベートデータとして設定したい予定をタップする。**

3 **［詳細］をタップする。**
「予定の詳細」画面が表示されます。

4 **［プライベート］チェックボックスをタップして、チェックをつける。**

5 **［OK］をタップする。**

登録した予定を削除する

登録した予定を削除できます。

ご注意

定期的な予定の内容を削除すると、定期的な予定として関連して登録されている予定が、まとめて削除されます。[予定の削除] コメントで予定を削除する場合は、1つの予定だけを例外として削除するか、関連して登録されている予定すべてを削除するかを指定できます。

1 **フロントパネルの ボタンを押す。**
予定表が起動します。

2 **削除したい予定の内容部分をタップする。**

3 **[詳細] をタップする。**
「予定の詳細」画面が表示されます。

4 **[削除] をタップする。**
「予定の削除」画面が表示されます。

5 **削除を実行するときは、[OK] をタップする。**
削除をやめるときは、[キャンセル] をタップします。
「パソコンにバックアップ」にチェックを付けていると、次回HotSyncしたときに本機から削除したデータが、Sony PDA Palm DeskTopに保存されます。

「予定表」のメニューコマンド

予定表には、一般的なデータの整理や編集のためのコマンドが用意されています。ここでは、予定表固有のメニューコマンドを説明します。
本機のアプリケーションに共通のメニューコマンドについては、「便利な機能」の「共通メニュー項目」をご覧ください。

「予定表」メニュー

新規作成

新規の予定を作成します。
開始時刻と終了時刻を選択するための「時刻の設定」画面が表示されます。

予定の削除

現在選択している予定を削除します。
「予定の削除」画面が表示されるので、予定を削除するときは [OK]、削除をやめるときは [キャンセル] をタップします。

ご注意

本機の標準設定では、予定表から予定を削除しても、パソコンとHotSyncを行うことで削除した予定が復活してしまいます。完全に削除したいときは、「予定の削除」画面に表示される [パソコンにバックアップ] のチェックボックスをタップして、チェックをはずしてください。

コメントの添付

現在の予定にコメントをつけます。
コメントを作成するための画面が表示されます。

コメントの削除

現在の予定につけられているコメントを削除します。
「コメントの削除」画面が表示されるので、削除を実行するときは [はい]、削除をやめるときは [いいえ] をタップします。

古い予定の破棄

本体の現在の日付を基準に期間を指定し、指定期間以前の予定を破棄できます。このコマンドを実行することで、ソニーPDAのメモリを節約できます。
「破棄」画面が表示されるので、削除を実行するときは［はい］、削除をやめるときは［いいえ］をタップします。

ご注意

- 破棄を実行すると、指定日以前に終了する定期的な予定も削除されます。
- ソニーPDAの標準設定では、古い予定を破棄しても、パソコンとHotSyncを行うことで破棄した古い予定が復活してしまいます。完全に破棄したいときは、「破棄」画面に表示される［パソコンにバックアップ］のチェックボックスをタップして、チェックをはずしてください。

予定の赤外線通信

現在の予定を、他のソニーPDAに赤外線通信ポート経由で送信します。

「オプション」メニュー

フォント

「予定表」のフォント（書体）を変更できます。
「フォントの選択」画面が表示されるので、好みのフォントに変更します。

設定

予定表に表示する時間帯と、それぞれの予定のアラーム音を設定します。

開始／終了時刻

予定表画面に表示する時間帯の開始時刻と終了時刻を設定します。設定した時間帯が画面に収まりきれない場合は、スクロール矢印を使って画面を上下にスクロールします。

アラーム設定

タップしてチェックをつけると、新規作成する予定に自動的にアラームを設定します。時間指定なしの予定のアラームは、予定の日付の午前0時より前の分、時、日単位で設定されます。

アラーム音

アラーム音の種類を指定します。

回数

初回のアラーム音に気付かなかった場合に備えて、アラーム音を複数回鳴らしたいときに指定します。1回、2回、3回、5回、または10回から指定できます。

間隔

アラームの間隔を設定します。1分、5分、10分、30分から指定できます。

表示

予定表の外観と表示する予定の種類を変更します。

[日表示]

- **タイムバーの表示：**タップしてチェックをつけると、日表示画面にタイムバーを表示します。タイムバーは、予定の時間と予定の重複を示します。
- **予定をつめて表示：**タップしてチェックをつけると、各予定の開始時刻と終了時刻は表示されますが、スクロールを最低限にするために、画面下部の予定のない時間帯が省略されます。チェックをはずすと、すべての時間帯が表示されます。

[月表示]

予定表の月表示画面の表示方法を設定します。以下のオプションは、月表示だけに適用されます。

- **時間指定のある予定を表示：**タップしてチェックをつけると、「予定表」を月表示にしているときに、時間指定のある予定を表示します。
- **時間指定のない予定を表示：**タップしてチェックをつけると、「予定表」を月表示にしているときに、時間指定のない予定を表示します。
- **毎日行う予定を表示：**タップしてチェックをつけると、「予定表」を月表示にしているときに、毎日行う予定を表示します。

アドレス参照

アドレス参照機能を起動します。アドレスにデータが登録されているときのみ、アドレス情報が表示されます。

詳しくは、「電話番号を検索する（アドレス参照）」（140ページ）をご覧ください。

データ保護

予定表のデータを保護できます。

「データ保護の変更」画面が表示されるのでドロップダウンリストからデータ保護の種類を選びます。

本機のデータの保護のしくみについて詳しくは、「データを保護する」（147ページ）をご覧ください。

バージョン情報

予定表のバージョン情報を表示します。

「To Do」でできること

To Doは、しなければならない仕事や、忘れると困る用事を一覧で表示するためのアプリケーションです。仕事や用事に優先度をつけて、表示することもできます。

仕事や用事を管理する

便利な仕事リストを簡単に作成できます。期日や優先度も指定できるだけでなく、ビジネスやパーソナルなどといったカテゴリーで分類したり、コメントを添付したりできるので便利です。

仕事や用事を登録する

これから処理しなければならない仕事や用事を、「To Do」として登録します。

1 フロントパネルの ボタンを押す。

「To Do」の一覧画面が表示されます。

2 ［新規］をタップする。

To Doの一覧に、新規のTo Doが追加されます。

3 To Do**の内容を入力する。**

複数行の文字列も入力できます。

4 画面の空白領域をタップする。

To Doの選択が解除され、入力したTo DoがTo Doに登録されます。

To Doが選択されていない状態で、Graffiti入力エリアに直接内容を書いて、新規To Doを作成する方法もあります。

仕事や用事を確認する

登録した「To Do」を確認します。

1 **フロントパネルの ☰ ボタンを押す。**

「To Do」の一覧画面が表示されます。

2 **ジョグダイヤルを回して、確認したいTo Doを選ぶ。**

3 **To Doにコメントがあるときは、ジョグダイヤルを押す。**

選んだTo Doのコメントが表示されます。

To Doが1画面に表示しきれないときは、ジョグダイヤルを回して内容を確認できます。

4 **To Doの一覧に戻りたいときは、ジョグダイヤルを押す。**

「To Do」の一覧表示に戻ります。

仕事や用事をカテゴリーごとに切り替えて見たいときは

To Doが一覧表示されていて、どのTo Doも選ばれていないときに、ジョグダイヤルを押す。

To Doが複数のカテゴリーに分類されているときは、ジョグダイヤルを押すごとに、表示されるTo Doのカテゴリーが切り替わります。

カテゴリー選択リストで、表示するカテゴリーを選ぶこともできます

画面右上の▼をタップして、表示したいカテゴリーを選びます。

仕事や用事の優先度を設定する

登録したTo Doにそれぞれの優先度を設定して、優先度の順にTo Doを並び替えて表示することでもできます。優先度は数字で表され、数字が小さいほど優先度の高いTo Doであることを示します（「1」がもっとも優先度が高くなります）。
標準設定では、To Doの優先度と予定期日を基準としてTo Doの一覧が表示されます。

1 フロントパネルの ボタンを押す。

「To Do」の一覧画面が表示されます。

2 優先度を変更したいTo Doの左側に表示されている数字をタップして、設定したい優先度をタップする。

優先度は1～5までの5段階から選べます。「1」が優先度がもっとも高く、「5」はもっとも低くなります。

ちょっと一言

To Doの優先度は、「To Doの詳細」画面でも変更できます。
詳しくは「仕事や用事の詳細設定を変更する」（103ページ）をご覧ください。

完了した仕事や用事を区別する

処理済みの仕事や用事にチェックをつけて、仕事や用件が終了した目印を付けることもできます。

1　フロントパネルの ボタンを押す。

「To Do」の一覧画面が表示されます。

2　完了したTo Doの左側のチェックボックスをタップする。

チェックが表示されます。

ちょっと一言

To Doの完了日を記録したり、完了したTo Doの表示／非表示の設定を切り替えたりすることもできます。

詳しくは106ページの「仕事や用事の表示設定を変更する」をご覧ください。

仕事や用事の詳細設定を変更する

カテゴリー情報や期日指定を追加したりなどというように、仕事や用事の情報ごとに詳細な設定を変更できます。

カテゴリーを選ぶ

To Doのカテゴリーを指定して、カテゴリー別に分類できます

1 **フロントパネルの ボタンを押す。**

「To Do」の一覧画面が表示されます。

2 **カテゴリーを設定したいTo Doの、内容部分をタップする。**

3 **［詳細］をタップする。**

「To Doリストの詳細」画面が表示されます。

4 **［カテゴリー］の▼をタップして、好みのカテゴリーをタップする。**

手順2で選んだTo Doのカテゴリーに、選んだカテゴリーが指定されます。

5 **［OK］をタップする。**

処理する仕事や用事を管理する（To Do）

期日を指定する

To Doに期日を設定すると、期日を基準にTo Doを並び替えて表示できます。

1 フロントパネルの ボタンを押す。

「To Do」の一覧画面が表示されます。

2 期日を設定したいTo Doの、内容部分をタップする。

3 [詳細]をタップする。

「To Doリストの詳細」画面が表示されます。

4 [期日]の▼をタップして、好みの期日をタップする。

以下のいずれかを選択できます。

- **今日：**今日を期日に設定します。
- **明日：**明日を期日に設定します。
- **一週間後：**一週間後を期日に設定します。
- **なし：**To Doの期日を設定しません。
- **日付を選択：**好みの期日を選べます。「日付を選択」画面が表示されるので、好みの期日を選んでください。

5 [OK]をタップする。

[表示]をタップして表示される「To Doリストの表示」画面で、[期日を表示]チェックボックスにチェックをつけているときは

To Doの一覧画面で期日表示をタップして、期日を一覧画面から直接変更することもできます。

仕事や用事を削除する

登録した仕事や用事を削除できます。

1 **フロントパネルの ボタンを押す。**
「To Do」の一覧画面が表示されます。

2 **削除したいTo Doの、内容部分をタップする。**

3 **［詳細］をタップする。**
「To Doの詳細」画面が表示されます。

4 **［削除］をタップする。**
「To Doの削除」画面が表示されます。

5 **削除するときは、［OK］をタップする。**
手順2で選んだTo Doが削除されます。
削除をやめるときは、［OK］の代わりに［キャンセル］をタップします。
「パソコンにバックアップ」にチェックを付けていると、次回HotSyncしたときに本機から削除したデータが、Sony PDA Palm DeskTopに保存されます。

仕事や用事の表示設定を変更する

To Doの一覧表示で表示される、表示項目を変更できます。

1 **フロントパネルの ボタンを押す。**
「To Do」の一覧画面が表示されます。

2 **[表示] をタップする。**
「To Doリストの表示」画面が表示されます。

3 **好みに合わせて表示項目を変更する。**
以下の表示項目を設定できます。

- **並べ替え：**To Doの一覧画面の表示順を、以下の方法から選びます。
  - 優先度、期日
  - 期日、優先度
  - カテゴリー、優先度
  - カテゴリー、期日
- **完了した項目を表示：**完了したTo Doを表示するかどうかを選びます。チェックをつけると、完了したTo Doも表示します。チェックをはずすと、完了したTo Doは一覧画面に表示されなくなります。
- **遅延項目を表示：**チェックをつけると、設定した期日当日のTo Doや期日を過ぎたTo Do、期日が設定されていないTo Doだけが表示されます。
- **完了日を記録：**チェックをつけると、完了したTo Doの期日が完了日（To Doに完了チェックをつけた日）に置き換えられます。あとから完了日を確認したいときに便利です。

- **期日を表示：**チェックをつけると、一覧画面にTo Doの期日を表示します。期日を過ぎたTo Doには、期日の右に「！」が表示されます。
- **優先度を表示：**チェックをつけると、一覧画面に優先度を表示します。
- **カテゴリーを表示：**チェックをつけると、一覧画面のTo Doの右端に、カテゴリーを表示します。

4 [OK] **をタップする。**

「To Do」のメニューコマンド

To Doには、一般的なデータの種類や編集用のコマンドが用意されています。ここでは、To Do固有のメニューコマンドだけを説明します。
本機のアプリケーションに共通のメニューコマンドについては、「便利な機能」の「共通メニュー項目」をご覧ください。

「To Do」メニュー

項目の削除

現在選択されているTo Doを削除できます。
「To Doの削除」画面が表示されるので、削除を実行するときは［OK］、削除を止めるときは［キャンセル］をタップします。

ご注意

本機の標準設定では、「To Do」からTo Doを削除しても、パソコンとHotSyncを行うことで削除したTo Doが復活してしまいます。完全に削除したいときは、「To Doの削除」画面に表示される［パソコンにバックアップ］のチェックボックスをタップして、チェックをはずしてください。

コメントの添付

現在選択されているTo Doにコメントを追加できます。
コメントを入力する画面が表示されるので、コメントを入力してください。

コメントの削除

現在選択されているTo Doに追加したコメントを削除できます。
「コメントの削除」画面が表示されるので、削除を実行するときは［はい］、削除をやめるときは［いいえ］をタップします。

完了した項目の破棄

完了したTo Doの記録を、To Doの一覧から削除できます。完了したTo Doの記録はすべてTo Doリストに記録されています。To Doの記録が多くなり、メモリを節約したいときなどはこのコマンドを実行してください。
「完了した項目の破棄」画面が表示されるので、破棄を実行するときは[OK]、破棄をやめるときは［キャンセル］をタップします。

ご注意

本機の標準設定では、完了したTo Doを破棄しても、パソコンとHotSyncを行うことで破棄したTo Doが復活してしまいます。完全に破棄したいときは、「完了した項目の破棄」画面に表示される［パソコンにバックアップ］のチェックボックスをタップして、チェックをはずしてください。

項目の赤外線通信

現在選択しているTo Doを、他の本機に赤外線通信ポート経由で送信します。

カテゴリーの赤外線通信

現在表示しているカテゴリー内のすべてのTo Doを、他の本機に赤外線通信ポート経由で送信します。

「オプション」メニュー

フォント

To Doリストのフォント（書体）を変更できます。
「フォント選択」画面が表示されるので、好みのフォントに変更します。

アドレス参照

アドレス参照機能を起動します。アドレスにデータが登録されているときのみ、アドレス情報が表示されます。
詳しくは、「電話番号を検索する（アドレス参照）」（140ページ）をご覧ください。

データ保護

To Doのデータを保護できます。
「データ保護の変更」画面が表示されるのでドロップダウンリストからデータ保護の種類を選びます。
本機のデータの保護のしくみについて詳しくは、「データを保護する」（147ページ）をご覧ください。

バージョン情報

To Doのバージョン情報が表示されます。

「メモ帳」でできること

メモ帳を使って簡単なメモをとったり、パソコンで作成したテキスト（.txt）形式やCSV形式（Comma Separated Value format）の文書ファイルを本機で表示したりできます。

手軽に情報をメモする

メモをとったり、さまざまな情報を書きとめることができます。書きとめたメモは、あとで他のアプリケーションにコピーできます。メモをビジネス、パーソナルなどのカテゴリーに分類して表示できます。

パソコンで作成したファイルを読む

パソコンで作成したテキスト（.txt）形式やCSV形式の文書ファイルを、HotSyncで本機に取り込んで表示できます。インターネットの記事をダウンロードしてテキスト形式で保存しておき、通勤中に読んだりするときに便利です。

メモを書き取る

1つのメモには、最大で4000バイト（半角1文字は1バイト、全角1文字は2バイト）までの文字列を入力できます。記録できるメモの数は、メモリの空き容量によって異なります。

1 **フロントパネルの　ボタンを押す。**

メモ帳が起動します。

2 **［新規］をタップする。**

新規メモが作成されます。

3 メモを入力する。

改行したいときは、 (Enterキー)を使います(スクリーンキーボードを使用する場合)。Graffiti文字で入力しているときは、「 」と書きます。

4 入力が終わったら、[終了] をタップする。

「メモ帳」の一覧画面でGraffiti入力エリアに直接メモの内容を書いても、新規メモを作成できます。この場合、最初の文字を書くと、新規メモが作成されます。

書き取ったメモを見る

「メモ帳」の一覧画面では書き取ったメモの1行目の内容が表示されるので、見たいメモをすぐに探し出して表示できます。

1 **フロントパネルの ボタンを押す。**
メモ帳が起動して、「メモ帳」の一覧画面が表示されます。

2 **ジョグダイヤルを回して、見たいメモを選ぶ。**
見たいメモが表示されていないときは、ジョグダイヤルを回してメモの一覧表示全体を上下に移動します。

3 **ジョグダイヤルを押す。**
入力したメモが表示されます。
メモが1画面に表示しきれないときは、ジョグダイヤルを回して内容を確認できます。

4 **「メモ帳」の一覧画面に戻りたいときは、ジョグダイヤルを押す。**
「メモ帳」の一覧画面に戻ります。

メモをカテゴリーごとに切り替えて見たいときは

メモが一覧表示されていて、どのメモも選ばれていないときに、ジョグダイヤルを押す。
メモが複数のカテゴリーに分類されているときはジョグダイヤルを押すごとに、表示されるメモのカテゴリーが切り替わります。

カテゴリー選択リストで、表示するカテゴリーを選ぶこともできます
メモ帳の一覧画面の画面右上の▼をタップして、表示したいカテゴリーを選びます。

メモを並べ替える

書き取ったメモの表示順を変更できます。

五十音順に並び替える

「メモ帳」画面のメモを五十音順に並び替えて表示します。本機のお買い上げ時の設定は、この設定になっています。

1 **フロントパネルの ボタンを押す。**
メモ帳が起動して、メモの一覧が表示されます。

2 **メニュー をタップする。**
メニューが表示されます。

3 **[オプション] - [設定] をタップする。**
「メモ帳の設定」画面が表示されます。

4 **[並べ替え] ドロップダウンリストをタップして、[五十音順] をタップする。**

5 [OK] **をタップする。**
メモが記号→アルファベット→ひらがな・カタカナ／漢字（五十音順）に並び替えて表示されます。

メモを取る（メモ帳）

好みの順番に並び替える

「メモ帳」の一覧画面のメモを手動で並べ替えるには、まずメモの表示順を「手動」に変更してから、並び替えたいメモを移動します。

メモの表示順を「手動」に設定する

1 **フロントパネルの (メモ帳) ボタンを押す。**
メモ帳が起動して、メモの一覧が表示されます。

2 **(メニュー) をタップする。**
メニューが表示されます。

3 **[オプション] - [設定] をタップする。**
「メモ帳の設定」画面が表示されます。

4 **[並べ替え] ドロップダウンリストをタップして、[手動] をタップする。**

5 **[OK] をタップする。**
メモが手動で並び替えて表示できるように設定されます。

メモを並び替える

「メモ帳」の一覧画面でメモをタップし、そのままドラッグして別の場所に移動する。
スタイラスを画面から離した場所にメモが移動します。メモを並べ替えると、メモ番号は新しい順序にしたがって変わります。

ご注意

メモの表示順の設定は、Sony PDA Palm Desktopソフトウェアでは反映されません。本機とSony PDA Palm Desktopソフトウェアでメモの表示順の設定が異なる場合があります。

メモを編集する

メモのカテゴリーを指定する

登録した情報にカテゴリーを指定できます。
カテゴリー別に情報を表示したり、情報をまとめることができるので便利です。

1 **フロントパネルの ボタンを押す。**
メモ帳が起動して、メモの一覧が表示されます。

2 **カテゴリーを指定したいメモをタップする。**
タップしたメモの内容が表示されます。

3 **画面右上の［未分類］などをタップする。**
メモのカテゴリー一覧が表示されます。

4 **好みのカテゴリーをタップする。**
手順2で選んだ情報のカテゴリーが、選んだカテゴリーに指定されます。

カテゴリーを追加する

好みに合わせて、新しいカテゴリーを追加することもできます。

1 **上記の手順4で、［カテゴリーの編集］をタップする。**
「カテゴリーの編集」画面が表示されます。

2 **［新規］をタップする。**
カテゴリー名の入力画面が表示されます。

3 **好みのカテゴリー名を入力してから、［OK］をタップする。**
入力したカテゴリーが「カテゴリーの編集」画面に追加されます。

4 **［OK］をタップする。**
これで追加したカテゴリーを指定できるようになりました。

不要になったカテゴリーを削除するには
「カテゴリーの編集」画面で、削除したいカテゴリーをタップして選んでから、［削除］をタップします。

メモをプライベートメモに設定する

メモは、プライベートデータとして設定できます。データ保護でパスワードを設定すると、プライベートデータを表示するためにはパスワードを入力する必要があります。

1 **フロントパネルの ボタンを押す。**

メモ帳が起動して、メモの一覧が表示されます。

2 **プライベートデータとして設定したいメモをタップする。**

タップしたメモの内容が表示されます。

3 **［詳細］をタップする。**

「メモ帳の詳細」画面が表示されます。

4 **［プライベート］チェックボックスをタップして、チェックを付ける。**

5 **［OK］をタップする。**

メモを削除する

不要になったメモを削除できます。

1 **フロントパネルの ボタンを押す。**

メモ帳が起動して、メモの一覧が表示されます。

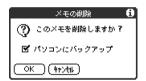
2 **削除したいメモをタップする。**

タップしたメモの内容が表示されます。

3 **[詳細] をタップする。**

「メモ帳の詳細」画面が表示されます。

4 **[削除] をタップする。**

「メモの削除」画面が表示されます。

5 **[OK] をタップする。**

手順1で選んだメモが削除されます。

メモの削除をやめるときは、[OK] の代わりに [キャンセル] をタップします。

「パソコンにバックアップ」チェックボックスにチェックを付けていると、次回HotSyncしたときに本機から削除したデータが、Sony PDA Palm DeskTopに保存されます。

「メモ帳」のメニューコマンド

メモ帳には、一般的なデータの種類や編集用のコマンドが用意されています。ここでは、メモ帳固有のメニューコマンドだけを説明します。
本機のアプリケーションに共通のメニューコマンドについては、「便利な機能」の「共通メニュー項目」をご覧ください。

「メモ帳」メニュー

新規作成（メモ画面）

新規メモを作成します。

メモの削除（メモ画面）

現在表示されているメモを削除できます。
「メモの削除」画面が表示されるので、削除を実行するときは［OK］、削除を止めるときは［キャンセル］をタップします。

ご注意

本機の標準設定では、「メモ帳」からメモを削除しても、パソコンとHotSyncを行うことで削除したメモが復活してしまいます。完全に削除したいときは、「メモの削除」画面に表示される［パソコンにバックアップ］のチェックボックスをタップして、チェックをはずしてください。

メモの赤外線通信（メモ画面）

現在のメモを、他のPalm OS搭載機に赤外線通信ポート経由で送信します。

カテゴリーの赤外線通信（メモ一覧）

現在表示されているカテゴリー内のすべてのメモを、他のPalm OS搭載機に赤外線通信ポート経由で送信します。

[オプション] メニュー

フォント（共通）

「メモ帳」のフォント（書体）を変更できます。
「フォントの選択」画面が表示されるので、好みのフォントに変更します。

アドレス参照（メモ画面）

アドレス参照機能を起動します。アドレスにデータが登録されているときのみ、アドレス情報が表示されます。
詳しくは、「電話番号を検索する（アドレス参照）」（140ページ）をご覧ください。

設定（メモ一覧）

メモの並べ替え方法を指定します。
「メモ帳の設定」画面が表示されるので、「五十音順」と「手動」のいずれかを選びます。

データ保護（メモ一覧）

メモ帳のデータを保護できます。
「データ保護の変更」画面が表示されるのでドロップダウンリストからデータ保護の種類を選びます。
本機のデータの保護のしくみについて詳しくは、「データを保護する」（147ページ）をご覧ください。

バージョン情報（共通）

「メモ帳」のバージョン情報を表示します。

「支払メモ」でできること

支払メモでは、出張時の経費を記録したり、小遣い帳として支出を管理したりできます。

支出内容を気軽にメモする

日付、支出の種類、支出金額、支出方法、および支出の詳細情報を、経費や個人的な出費など、カテゴリーに分類して管理できます。入力した支出記録は、日付または支出の種類を基準に並べ替えて表示できます。

支出内容の詳細な情報を管理する。

支出記録ごとに支出先（会社）や同行者を記録したり、特定の日またはカテゴリーの走行距離を記録することもできます。

出金を記録する

支払メモでは、日付、支出の種類、支払金額などを記録できます。また、支払メモに入力した記録をカテゴリー別に並べ替えたり、追加情報を入力したりすることもできます。

1 **（ホーム）をタップする。**

ホーム画面が表示されます。

2 **ジョグダイヤルを回して［支払メモ］を選び、ジョグダイヤルを押す。**

［支払メモ］アイコンをタップして、支払メモを起動することもできます。

支払メモの一覧画面が表示されます。

3 ［新規］をタップする。

4 支出金額を入力する。

5 ［支出種類］をタップして、ドロップダウンリストから支出の種類を選ぶ。

手順4で入力した記録は、［支出種類］を選んだ時点で保存されます。［支出種類］を指定していない記録は保存されません。

ちょっと一言

データが選択されていない状態でGraffiti入力エリアの右側の数字入力エリアに直接金額を書いて、新規データを作成する方法もあります。最初の数字を書くと、新規データが表示されます。

出金記録を並び替えて表示する

出金記録の表示を、好みに合わせて変更できます。

1 **（ホーム）をタップする。**

ホーム画面が表示されます。

2 **ジョグダイヤルを回して［支払メモ］を選び、ジョグダイヤルを押す。**

支払メモの一覧画面が表示されます。

3 **支払メモの一覧画面で、［表示］をタップする。**

「表示オプション」画面が表示されます。

4 **好みに合わせて、表示順の方式を選ぶ。**

- **並べ替え：**▼をタップして、ドロップダウンリストから表示順の基準を［日付］または［種類］から選びます。
- **距離単位：**▼をタップして、ドロップダウンリストから移動距離の基準を［キロメートル］または［マイル］から選びます。
- **通貨を表示：**タップしてチェックをつけると、出金記録の一覧画面で通貨記号を表示します。チェックをはずすと、通貨記号を表示しません。

5 ［OK］**ボタンをタップする。**

出金記録の日付を変更する

出金記録には、記録を入力した日の日付が自動的に表示されます。過去の支出を別の日に思い出して記録したときなどに、出金記録に表示される日付を、支出の当日に変更できます。

1 ホーム をタップする。

ホーム画面が表示されます。

2 ジョグダイヤルを回して［支払メモ］を選び、ジョグダイヤルを押す。

支払メモの一覧画面が表示されます。

3 変更する出金記録をタップする。

日付表示が反転表示されます。

4 選んだ出金記録の日付表示部分をタップする。

「日付」画面が表示されます。

5 変更したい日付をタップする。

出金記録に詳細情報を付け加える

出金記録には、さまざまな詳細情報を付け加えることができます。付け加えた情報は、「支払メモの詳細」画面に表示されます。

1 **ホーム をタップする。**

ホーム画面が表示されます。

2 **ジョグダイヤルを回して［支払メモ］を選び、ジョグダイヤルを押す。**

支払メモの一覧画面が表示されます。

3 **詳細情報を付け加えたい出金記録をタップする。**

4 **［詳細］をタップする。**

「支払メモの詳細」画面が表示されます。

5 **詳細情報を指定する。**

- **カテゴリー：**出金記録のカテゴリーを指定します。
  ［すべて］を選択している場合は［未分類］に設定されています。
  支払メモには、出張先別にデータを分類する例として、［ニューヨーク］と［パリ］という2つのカテゴリーが用意されています。
  既に登録されているカテゴリー名を変更したり、新規にカテゴリーを作成したいときは、ドロップダウンリストから［カテゴリーの編集］を選びます。
- **種類：**ドロップダウンリストから、出金の種類を選びます。
- **支払方法：**ドロップダウンリストから、支払方法を選びます。

- **通貨：**支払に使った通貨を選びます。最大で4書類の通貨を表示できます。表示される通貨を変更することもできます。詳しくは「通貨の種類を変更する」をご覧ください。
- **支払先と場所：**支払先（通常は会社）の名前と、支払先の所在地の都市名を入力します。例えば、ビジネスランチの支払先として「ローズカフェ」、場所に「東京」と入力できます。
- **同行者：**メモ帳のメモ画面のような、「同行者」画面を表示します。この画面では、支払を行ったときの同行者名や支出の目的などを入力できます。[アドレス参照]をタップすると、アドレスに登録されているアドレス情報が表示されます。

6 [OK] **をタップする。**

支払メモの出金記録を印刷する

支払メモで作成した出金記録をHotSync時にSony PDA Palm Desktopソフトウェアに転送して、パソコンに接続したプリンタで出力できます。印刷時の設定を工夫することで、出力した出金記録を経費精算レポートとして使用することもできます。

1 HotSync（178**ページ）して、本機の支払いメモの出金記録をパソコンに転送する。**

2 Sony PDA Palm Desktop**ソフトウェアの支払メモの一覧画面で、[ファイル] メニューから [印刷] を選ぶ。**

「印刷」ダイアログボックスが表示されます。

3 「印刷範囲」の設定を、好みに合わせて変更する。

- **表示中のカテゴリー：**表示中のカテゴリー内の出金記録をすべて印刷します。すべてのカテゴリーのデータを表示するには、支払メモの一覧エリア（左側のウィンドウ）の右上にある、カテゴリーを選ぶリストから [すべて] を選びます。
- **選択中のデータ：**選択した出金記録だけを印刷します。

4 「印刷オプション」の設定を、好みに合わせて変更する。

- **支払メモの概要のみ印刷する：**毎日の支払金額のみを、支出の種類ごとに表形式で印刷します。経費精算レポートとして使用したいときに選びます。
- **支払メモのデータのみ印刷する：**支出の種類ごとに出金記録をすべて印刷したいときに選びます。
- **両方を印刷する：**概要と出金記録を両方印刷します。
- **通貨を換算する：**クリックしてチェックをつけると、表中に表示される合計金額を単一の通貨単位に換算して表示できます。複数の通貨単位が混在しているときに便利です。
  なお、このオプションは[支払メモの概要のみ印刷する]、[両方を印刷する] を選んでいる場合にのみ有効となります。
- **コメントを出力：**クリックしてチェックをつけると、データに添付されているコメントも印刷します。

5 [OK] をクリックする。

印刷が始まります。

ご注意

- 「走行距離」のデータの単位は、km（キロメートル）またはmi（マイル）となります。
- 「通貨を換算する」にチェックをつけると、走行距離のデータの値は、出張精算時などに支給される距離ごとの手当ての金額に換算されて出力されます。

通貨の種類を変更する

出金記録で使用する通貨の種類や通貨記号を変更できます。

あらかじめ登録されている通貨の中から選ぶ

1 **ホーム をタップする。**
ホーム画面が表示されます。

2 **ジョグダイヤルを回して［支払メモ］を選び、ジョグダイヤルを押す。**
支払メモの一覧画面が表示されます。

3 **通貨の種類を変更したい出金記録をタップする。**

4 **［詳細］をタップする。**
「支払メモの詳細」画面が表示されます。

5 **通貨のドロップダウンリストをタップして、表示されたリストから［通貨リストの設定］をタップする。**
「通貨リストの設定」画面が表示されます。

通貨リストの設定
通貨リストに表示する通貨を選択します。
通貨 1: 日本
通貨 2: アメリカ
通貨 3: EU（ユーロ）
通貨 4: イギリス
通貨 5: ドイツ
OK キャンセル

6 **ドロップダウンリストをタップして、表示する通貨の国名を選ぶ。**

7 **［OK］をタップする。**

出金記録から直接通貨を変更することもできます
通貨記号をタップして、ドロップダウンリストから通貨の種類を選んでください。

登録されていない通貨を作成する

通貨のドロップダウンリストに目的の通貨の国名がない場合は、国名と通貨記号を自由に作成できます。

1 ホーム **をタップする。**

ホーム画面が表示されます。

2 **ジョグダイヤルを回して［支払メモ］を選び、ジョグダイヤルを押す。**

支払メモの一覧画面が表示されます。

3 メニュー **をタップする。**

4 **［オプション］-［通貨の追加］をタップする。**

「通貨の追加」画面が表示されます。

5 **4つの国名ボックスのいずれかをタップする。**

「通貨の登録」画面が表示されます。

6 **作成したい通貨の国名と通貨記号を入力してから、［OK］をタップする。**

作成した通貨記号を標準通貨として使うには

「設定」画面であらかじめ目的の通貨記号を選んでおく必要があります。

作成した通貨記号を特定の出金記録だけで使いたいときは

その出金記録の「支払メモの詳細」画面で通貨記号を選んでください。

「支払メモ」のメニューコマンド

支払メモには、一般的なデータの種類や編集用のコマンドが用意されています。ここでは、支払メモ固有のメニューコマンドだけを説明します。
本機のアプリケーションに共通のメニューコマンドについては、「便利な機能」の「共通メニュー項目」をご覧ください。

[支払メモ] メニュー

項目の削除

出金記録を削除します。
「支払メモの削除」画面が表示されるので、削除を実行するときは [OK]、削除を止めるときは [キャンセル] をタップします。

ご注意

ソニーPDAの標準設定では、「支払メモ」から出金記録を削除しても、パソコンとHotSyncを行うことで削除した記録が復活してしまいます。完全に削除したいときは、「支払メモの削除」画面に表示される [パソコンにバックアップ] のチェックボックスをタップして、チェックをはずしてください。

カテゴリーの破棄

出金記録のカテゴリーの中から、現在使用していないカテゴリーを削除します。
不要なカテゴリーを削除することで、メモリ容量を節約できます。
このコマンドを選択すると、選んだカテゴリー内の全データの削除を確認する画面が表示されます。

［オプション］メニュー

設定

標準通貨記号を設定します。
「設定」画面が表示されるので、標準で使用する通貨を選びます。

通貨の追加

「支払メモ」で使いたい通貨が登録されていないときに、使いたい通貨を作成して登録できます。
詳しくは「通貨の種類を変更する」をご覧ください。

バージョン情報

「支払メモ」のバージョン情報を表示します。

「電卓」で計算する

電卓では、基本的な計算ができます。また、数値を電卓メモリに保存したり、メモリから呼び出したりできます。

1 （ホーム）**をタップする。**

ホーム画面が表示されます。

2 **ジョグダイヤルを回して［電卓］を選び、ジョグダイヤルを押す。**

電卓画面が表示されます。

3 **計算する。**

電卓機能を使うには、スタイラスまたは指先で、画面に表示されている数字や計算記号のアイコンをタップします。

計算補助ボタンの機能

「電卓」には、計算に役立つ数種類のボタンが用意されています。

CE

最後に入力した数値だけをクリアします。
計算中に数値の入力ミスをしたときに使います。数値を再入力できるので、計算を最初からやり直す必要がありません。

C

現在の計算をクリアして、新しい計算を始めます。

+/−

表示中の数値を正（プラス）または負（マイナス）に切り替えます。負の値を入力するには、先に数値を入力してから、このボタンをタップします。

M+

表示中の数値をメモリに追加します。このボタンを使って入力した数値は、メモリ内の数値の合計に加算されます。メモリには、計算値または数値ボタンをタップして入力した数値のどちらでも追加できます。
このボタンをタップすると、呼び出すまで数値がメモリ内に置かれるだけで、現在の計算または一連の計算には反映されません。

MR

メモリ内に保存されている数値を呼び出して、現在の計算に挿入します。

MC

メモリに保存されているすべての数値をクリアします。

「電卓」のメニューコマンド

コピー、貼り付け

これらのコマンドを使って、電卓の数値をコピーし、別のアプリケーションに貼り付けることができます。同様に、支払いメモなどの別のアプリケーションでコピーした数値を、電卓に貼り付けることもできます。

計算式の確認

最近行った計算の内容を確認できます。計算内容をあとから確認したいときなどに便利です。

1 **(メニュー) をタップする。**
メニューが表示されます。

2 **［オプション］-［計算式の確認］をタップする。**
「計算式の確認」画面が表示されます。

3 **計算内容を確認したら、［OK］をタップする。**

バージョン情報

電卓のバージョン情報情報を表示します。

データを検索する

本機にはデータを検索する方法として、検索したい文字列を指定する方法と、電話番号のデータを直接検索する方法の、2つの検索方法が用意されています。
これらの方法はお使いのアプリケーションに関わらず、利用できます。

各アプリケーションにも検索機能が用意されています

- **予定表、**To Do**、メモ帳：**アドレス参照機能を利用して、電話番号を検索できます。検索した電話番号を、他のアプリケーションのデータに直接貼り付けることもできます。
- **アドレス：**画面の一番下の［検索］行に、検索したい名前の最初の1文字を入力すると、アドレス一覧画面が自動的にスクロールし、指定した1文字からはじまる名前にカーソルが移動します。
- **支払メモ：**同行者を入力するときにアドレス参照機能を利用することで、会社名が入力されているすべてのアドレス情報を表示できます。目的の会社名をタップすると、選んだ会社名が「同行者」フィールドに入力されます。

データに含まれる文字列で検索する（「検索」コマンド）

検索する単語の全体、または先頭のいくつかの文字を指定して、本機に記録されているすべてのデータを検索できます。なお、検索結果はアプリケーション別に表示されます。
「入力した覚えはあるけれども、どのアプリケーションに入力したのかを思い出せない」といったときに便利です。

1 検索 **アイコンをタップする。**
「検索」画面が表示されます。

2 **検索したい文字列を入力する。**

日本語、アルファベット、記号、数字、全角および半角の文字が、検索対象として使用できます。

3 **[OK] をタップする。**

検索が始まり、入力した文字列を含む単語すべての検索結果一覧が表示されます。各データに追加した添付コメントも、検索対象になります。

4 **検索結果から目的のデータを探して、タップする。**

データを登録しているアプリケーションが自動的に起動して、データの内容が表示されます。

検索を途中で中止したいときは

検索中に［中止］をタップしてから、［閉じる］をタップします。
検索を再開したいときは、［続行］をタップします。

ご注意

本機の検索機能では、英文の大文字と小文字は区別されません。たとえば、「sony」という単語を指定すると、「Sony」も検索されます。

ちょっと一言

本機のアプリケーションで文字列を選んでから 検索 アイコンをタップすると、「検索」画面に選んだ文字列が自動的に表示されます。

電話番号を検索する（アドレス参照）

アドレス参照機能を利用して、本機のデータ中の電話番号を検索して表示できます。検索した電話番号は、本機のアプリケーションに直接貼り付けできます。
「メモ帳のデータに電話番号を付け加えたいときに、アドレスで管理している電話番号をアドレス参照機能を使って検索する」といった使いかたをすると便利です。

1 電話番号を挿入したいデータを表示する。

電話番号は、予定表、To Do、またはメモ帳のデータに挿入できます。

2 メニュー をタップする。

アプリケーションのメニューが表示されます。

3 ［オプション］-［アドレス参照］をタップする。

「アドレス参照」画面が表示されます。

4 挿入したい電話番号をタップする。

検索するアドレスの姓の最初の何文字かを入力します。入力した文字で姓が始まる最初のアドレスが表示されます。

電話番号をよりすばやく見つけたいときは

画面下部の「検索」行に検索したい名前を入力することで、指定した文字で始まる名前をすばやく表示できます。

5 検索する名前の入力を続け、そのアドレスが表示されたらタップする。

6 ［追加］をタップする。

「アドレス参照」画面が閉じて、手順1で表示させたデータに、名前と電話番号が追加されます。

Graffitiでアドレス参照機能を活用する

日本語入力モードがオフになっている間は、Graffitiでコマンド記号とアドレス参照のコマンド文字「 」を入力して、アドレス参照機能を利用することもできます。
入力のしかたを工夫することで、「アドレス参照」画面を表示することなく、すばやくアドレス参照機能を利用できます。

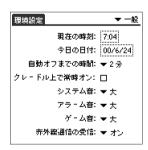
選択中の文字列でアドレス参照機能を利用する

選択したい文字列をドラッグして反転表示してから、Graffitiで「 」と入力します。
アドレス参照機能が起動して、選択していた文字列が、検索された名前と電話番号に置き換えられます。
選択した文字列に該当するデータが複数記録されている場合には、「アドレス参照」画面が表示されます。

所有者の情報を入力する

本機の所有者の名前や会社名、電話番号などの情報を入力できます。
パスワードを設定しておいてから本機の電源を切ってロックすると、次に電源を入れたときは、所有者の情報が表示されるようになります。

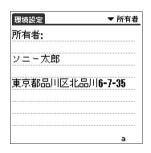
1 **（ホーム）をタップする。**
ホーム画面が表示されます。

2 **ジョグダイヤルを回して［環境設定］を選び、ジョグダイヤルを押す。**

環境設定画面が表示されます。

3 **右上の▼をタップして、表示されたドロップダウンリストの［所有者］をタップする。**

所有者の環境設定の画面が表示されます。

4 **所有者情報を入力する。**

入力した文字列が画面に収まり切らない場合は、画面右上にスクロールバーが表示されます。

すでにデータ保護でパスワードを設定している場合は

この場合は所有者の情報はすでに保護（ロック）されているため、所有者情報を入力／編集できません。ロックを解除して所有者の情報を入力／編集するには、以下の手順で操作します。

1 （ホーム）**をタップする。**

ホーム画面が表示されます。

2 **ジョグダイヤルを回して［環境設定］を選び、ジョグダイヤルを押す。**

3 **右上の▼をタップして、表示されたドロップダウンリストの［所有者］をタップする。**

所有者の環境設定の画面が表示されます。

4 **［ロック解除］をタップする。**

「メッセージのロック解除」画面が表示されます。

5 **データ保護で設定したパスワードを入力してから、［OK］をタップする。**

本機をパスワードでロックする

本機のデータを保護することとは別に、本機自体をロックして、パスワードを入力しなければ本機が使用できないように設定することもできます。

ご注意

本機をロックした場合は、本体を再起動するためには、正しいパスワードを入力する必要があります。パスワードを忘れてしまった場合は、再び本体を使用するには、ハードリセットを行う必要がありますが、ハードリセットを行うと本機の全データが削除されてしまいます。(HotSyncすることで、パソコンにバックアップ済みのデータは復元できます。)あらかじめご注意ください。
本機のリセットのしかたについては、「本機をリセットする」(236ページ)をご覧ください。

1 **本機とパソコンをHotSyncして、データのバックアップをパソコン上に作成する。**
HotSync機能について詳しくは、「本機とパソコンのデータを同期させる(HotSync)」(178ページ)をご覧ください。

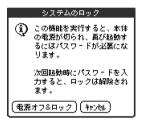
2 **「パスワードを設定する」(147ページ)の手順にしたがって、パスワードを設定する。**

3 **(ホーム)をタップする。**
ホーム画面が表示されます。

4 **ジョグダイヤルを回して[データ保護]を選び、ジョグダイヤルを押す。**

データ保護画面が表示されます。

5 ［電源オフ＆ロック］をタップする。

「システムのロック」画面が表示されます。

6 ［電源オフ＆ロック］をタップする。

本機がロックされた状態で、電源が切れます。

以後、本機の電源を入れたあとにパスワードを入力しないと、本機が使えない状態になります。

データを保護する

本機にパスワードを設定して、入力したデータを他の人に見られないように保護できます。また、プライベートデータとして登録したデータは、パスワードを入力する／しないに関わらず、通常の状態では表示しないように設定することでもできます。

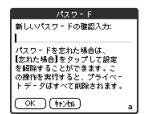
パスワードを設定する

パスワードを設定して、プライベートデータを保護したり、本機をロックしたりすることができます。

1 ホーム **をタップする。**
ホーム画面が表示されます。

2 **ジョグダイヤルを回して［データ保護］を選び、ジョグダイヤルを押す。**
データ保護画面が表示されます。

3 **［未設定］をタップする。**
「パスワード」画面が表示されます。

4 **パスワードを入力してから、**［OK］**をタップする。**
確認画面が表示されます。

5 手順4で入力したパスワードをもう一度入力してから、[OK] をタップする。

手順3の [未設定] が [-設定済み-] に変わり、本機のパスワードが設定されます。

パスワードを変更／削除する

設定したパスワードを変更したり削除したりすることもできます。

1 ホーム をタップする。

ホーム画面が表示されます。

2 ジョグダイヤルを回して [データ保護] を選び、ジョグダイヤルを押す。

データ保護画面が表示されます。

3 [設定済み] をタップする。

「パスワード」画面が表示されます。

4 現在のパスワードを入力してから、[OK] をタップする。

新しいパスワードを入力する画面が表示されます。

5 パスワードを変更したいときは、新しいパスワードを入力してから [OK] をタップする。

パスワードを削除したいときは、[削除] をタップします。

パスワードを忘れてしまったときは

パスワードを忘れてしまった場合は、パスワードを強制的に削除できます。ただし、パスワードを強制的に削除すると、すべてのプライベートデータが削除されてしまいます（HotSyncすることで、パソコンにバックアップ済みのデータは復元できます）。

1 **上記の手順3で、［忘れた場合］をタップする。**

「パスワードの削除」画面が表示されます。

2 **［はい］ボタンをタップする。**

パスワードとすべてのプライベートデータが削除されます。

プライベートデータを表示しないように設定する

プライベートデータを表示しないように設定できます。
すでにパスワードを設定している場合は、プライベートデータを表示するためにはパスワードを入力する必要があります。なお、プライベートデータは通常表示しないように設定されているだけで、データは保存されています。
プライベートデータを非表示にするには、以下の手順に従います。

1 **（ホーム）をタップする。**
ホーム画面が表示されます。

2 **ジョグダイヤルを回して［データ保護］を選び、ジョグダイヤルを押す。**
データ保護画面が表示されます。

3 **［現在の設定］の▼をタップして、表示されたドロップダウンリストの［データを非表示］をタップする。**
「データの非表示」画面が表示されます。

4 **［OK］をタップする。**
アドレスやメモ帳などのアプリケーションでプライベートデータとして設定したデータが、表示されない状態になります。

プライベートデータを確認する

データ保護で表示しないように設定したプライベートデータの内容を確認するには、次のように操作します。

1 **ホーム をタップする。**

ホーム画面が表示されます。

2 **ジョグダイヤルを回して［データ保護］を選び、ジョグダイヤルを押す。**

データ保護画面が表示されます。

3 **［現在の設定］の▼をタップして、表示されたドロップダウンリストの［データを表示］をタップする。**

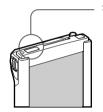
パスワードが設定されていない場合は、各アプリケーションでプライベートデータがふたたび表示されるようになります。

パスワードが設定されているときは「プライベートデータの表示」画面が表示されます。

4 **「プライベートデータの表示」画面が表示されたら、パスワードを入力してから、［OK］をタップする。**

Palm OS 搭載機器間で赤外線通信する

赤外線通信機能でできること

本機には、他の赤外線通信機能を装備したPalm OS搭載機器と、赤外線を使ってデータを送受信するための赤外線通信ポートが装備されています。本体上部の小さな黒い艶のあるプラスティック部分が、赤外線通信ポートです。

Palm OS搭載機器間では、以下のデータを赤外線通信できます。

- アドレスや予定表、To Do、メモ帳のデータ
- アドレス、To Do、またはメモ帳に現在表示されているカテゴリーのすべてのデータ
- 名刺として指定したアドレスのデータ
- メモリに追加インストールしたアドオンアプリケーション

ご注意

アプリケーションの中には、コピーを禁止されているものがあります。これらのアプリケーションの横には、コピー禁止を示すアイコン が表示されています。

データを赤外線通信で送信する

本機に保存されている以下のデータを、赤外線通信ポートを装備した他のPalm OS搭載機器に赤外線送信できます。

- **名刺：**名刺として指定したアドレスのデータ。友人にワンタッチで名刺データを送信できるので、便利です。
- **アドレスや予定表、**To Do**、メモ帳のデータ：**本機で現在選択しているデータ。共通の知人の住所などの情報を赤外線送信したいときに便利です。
- **アドレス、**To Do**、またはメモ帳の現在表示されているカテゴリーのすべてのデータ：**本機で現在選択しているカテゴリーに分類されているすべてのデータ。取引先やサークルのメンバーなどのリストをまとめて赤外線送信したいときなどに便利です。
- **メモリに追加インストールしたアドオンアプリケーション**

1 送信したいデータ、カテゴリー、または名刺を選ぶ。

2 [メニュー] をタップする。

3 以下のいずれかをタップして選ぶ。

- アプリケーションの各データの赤外線通信
- 名刺の赤外線通信
- カテゴリーの赤外線通信

4 「赤外線通信」画面が表示されるので、赤外線通信ポートを送信先のPalm OS搭載機器にまっすぐ向ける。

データを正しく送受信するには、Palm OS搭載機器間の距離を10cmから20cmにして、2台のあいだの障害物を取り除きます。赤外線通信可能な距離は、Palm OS搭載機器の機種によって異なる場合があります。

5 「赤外線通信」画面に送信が完了したメッセージが表示されたら、他の作業に移る。

アプリケーションを赤外線通信で送信するには

1 **ホーム をタップする。**
ホーム画面が表示されます。

2 **メニュー をタップする。**

3 **[アプリケーション] - [赤外線通信] をタップする**

4 **目的のアプリケーション名をタップする。**
アプリケーションの中には、コピーを禁止されているものがあります。これらのアプリケーションの横には、コピー禁止を示すアイコン が表示されています。

データを赤外線通信で受信する

1 **本機の電源を入れる。**

2 **赤外線通信ポートを送信元の機器の赤外線通信ポートにまっすぐ向ける。**
「赤外線通信」画面が表示され、赤外線通信が始まります。

3 **受信データを保存するカテゴリーを選ぶ。**
新しいカテゴリーを作成して受信データを保存したり、未分類のまま保存しておくこともできます。

4 **[はい] をタップする。**
データが保存されます。

ご注意

[環境設定] - [一般] で、[赤外線通信の受信] が「オフ」になっていると受信ができません。受信するときは「オン」にしておいてください。(226ページ)

赤外線通信についてのご注意

- 受信したデータやアプリケーションのカテゴリーは、「未分類」になります。
- 名刺の赤外線通信は、フロントパネルの ボタンを約2秒押しつづけることによっても実行できます。
- Graffitiメニューコマンドで「 （または ）」と入力するか、または（赤外線通信）アイコンをタップして、現在のデータを赤外線通信することもできます。

共通メニュー項目

本機のアプリケーションに共通のメニュー項目を説明します。
アプリケーションに固有のメニュー項目については、各アプリケーションのメニュー項目の説明をご覧ください。

「編集」メニュー

元に戻す

メニューコマンドで行った直前の変更内容を、元に戻します。
例えば、次に説明する［切り取り］コマンドで文字列を削除してから［元に戻す］コマンドをタップすると、削除が取り消されて、削除した文字列が再び表示されます。

切り取り

スタイラスでドラッグして選択した文字列を削除し、一時的に本機のメモリに保存します。
切り取った文字列は、アプリケーション内の別の場所や、別のアプリケーションに貼り付けることができます。

コピー

スタイラスでドラッグして選択した文字列をコピーし、一時的にメモリに保存します。
コピーした文字列は、アプリケーション内の別の場所や、別のアプリケーションに貼り付けることができます。

貼り付け

切り取り、またはコピーした文字列を、スタイラスで選択したカーソル位置に挿入します。
切り取り、またはコピーした文字列がない場合は、このコマンドは使用できません。

すべて選択

現在のデータ内または画面上のすべての文字列を選択します。
選択した文字列を切り取ったりコピーしたりして、別の場所に貼り付けることもできます。

キーボード

スクリーンキーボードを表示します。

Graffitiヘルプ

Graffiti文字の一覧を表示します。Graffiti文字の書きかたを忘れたときには、このコマンドでいつでも確認できます。

単語登録

読みと語句をセットにして、辞書に登録します。登録した語句は、日本語入力モードが「入」のときに、辞書から呼び出して使用できます。
本機標準搭載のアプリケーションでは、テキストを入力するときにこのコマンドを使用することができますが、サードパーティーのアプリケーションの中には、このコマンドが使用できないものもあります。

辞書を引く

現在選んでいる語句を、辞書で検索します。検索される辞書は、語句によって自動的に変わります。
本機標準搭載のアプリケーションでは、テキストを入力するときにこのコマンドを使用することができますが、サードパーティーのアプリケーションの中には、このコマンドが使用できないものもあります。

ご注意

標準状態では辞書はインストールされていません。“ メモリースティック ”またはパソコンとHotSyncして辞書をインストールしてください。
インストールについて詳しくは「アプリケーションをインストールする」（171ページ）をご覧ください。

表示フォントを変更する

画面の文字を読みやすくするために、支払メモを除くアプリケーションで表示フォントを変更することができます。表示フォントは各アプリケーションごとに設定できるため、好みに応じて気軽に変更できます。

フォントスタイルを変更するには、以下の手順で操作します。

1 **表示フォントを変更したいアプリケーションを起動する。**

2 メニュー **をタップする。**

メニューが表示されます。

3 **［オプション］－［フォント］をタップする。**

「フォント選択」画面が表示されます。

4 **好みのスタイルをタップする。**

5 ［OK］**をタップする。**

アプリケーション内の文字列が新しいフォントで表示されます。

ソニー PDAでインターネットに接続する

本機を携帯電話やPHS電話機に接続して、手軽にインターネットに接続できます。インターネットに接続すると、付属のPalmscapeアプリケーションでWebページを閲覧したり、MultiMailアプリケーションで電子メールをやり取りしたりできます。

本機でインターネットに接続するには、以下の手順で準備を行います。

1 **PalmscapeとMultiMailをソニーPDAにインストールする。（160ページ）**

2 **携帯電話／PHSをソニーPDAにつなぐ。（161ページ）**

3 **プロバイダと契約する。（163ページ）***

4 **ネットワークの設定をする。（166ページ）**

5 **インターネットに接続する。（170ページ）**

* 既にプロバイダと契約している場合は不要です。

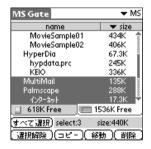
Palmscape、MultiMailをインストールする

本機に付属する、Palmscapeアプリケーション（Webページ閲覧ソフトウェア）とMultiMailアプリケーション（電子メールソフトウェア）を“メモリースティック”からインストールします。（PEG-S500C、PEG-S300のみ）

1 **本機に付属の“メモリースティック”を、本機のメモリースティックスロットに入れる。**

2 MS Gate**アプリケーションを起動する。**（50**ページ**）

3 **ジョグダイヤルを押す。**
メモリースティックの内容が表示されます。

4 ［Palmscape］**とその下の［インターネット］、**［MultiMail］"PSwz" files**の下の**［Wizard］**をタップする。**

5 **［コピー］をタップする。**
PalmscapeアプリケーションとMultiMailアプリケーションが本機にインストールされます。

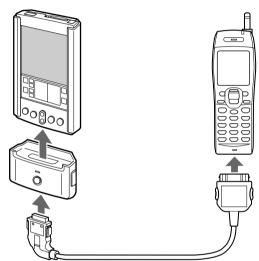
HotSyncでパソコンからインストールする

“メモリースティック”が付属していない機種や“メモリースティック”の内容を書き替えた場合は、パソコンから HotSync**でインストールできます。詳しくは「パソコンから本機にインストールする」**（173**ページ**）**をご覧ください。**

携帯電話／PHSをつなぐ

付属（PEG-S500C、PEG-S300のみ）のモバイルコミュニケーションアダプターを本機に装着してから、携帯電話やPHSをつなぎます。

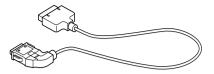
1 **本機と携帯電話／PHSの電源を切る。**

2 **付属のモバイルコミュニケーションアダプターを、本機に装着する。**

3 **付属のモバイルコミュニケーションアダプターに、接続ケーブルを接続する。**

使用する接続ケーブルは携帯電話の種類によって異なります。あらかじめお使いの携帯電話の種類を確認して、正しい接続ケーブルで接続してください。

接続ケーブルは、以下の3種類が付属しています。

- PDC用ケーブル：デジタル携帯電話（PDC方式）をつなぐときに使います。

- PHS用1ケーブル：NTTドコモ／アステルなどのPHSをつなぐときに使います。

- ＰＨＳ用２ケーブル：ＤＤＩポケットのＨ"（エッジ）端末またはα-DATA32・αDATA対応電話機をつなぐときに使います。

4 接続ケーブルを携帯電話／PHSに接続する。

本機で使える携帯電話／PHS電話機は？

ソニーPDAは市販されている主な種類の携帯電話に対応しています。
対応している携帯電話の最新情報について詳しくは、ソニーPDAのホームページ（http://www.sony.co.jp/CLIE/）をご覧ください。ただし、CDMA方式の携帯電話には対応していません。

以上の接続が終わったら、
　プロバイダと契約する（163ページ）
　ネットワークの設定をする（166ページ）
に進みます。

はずすときは

モバイルコミュニケーションアダプターのDATAランプが点滅していないことを確認して、両脇のレバーを押して引っぱります。

プロバイダと契約する

本機でインターネットに接続するためには、インターネット接続サービスを提供する会社（インターネットサービスプロバイダ）と契約する必要があります。
本機には数社のオンラインサインアップ用ソフトウェアが付属しているため、携帯電話／PHS電話機を通して本機でプロバイダとの契約を行うこともできます（オンラインサインアップ）。
各プロバイダとの契約は、付属の各プロバイダの資料をよくお読みの上、行ってください。Windowsパソコンをお持ちの場合は、付属のCD-ROMを使ってパソコンから契約することもできます。

すでにプロバイダと契約している場合は

「ネットワークの設定をする」（166ページ）以降の説明にしたがって、接続の準備を行ってください。

1 **「携帯電話／PHSをつなぐ」（161ページ）の手順に従って、本機にモバイルコミュニケーションアダプターと携帯電話／PHSを接続する。**

2 **ホーム をタップする。**

ホーム画面が表示されます。

画面右上のカテゴリー表示が［すべて］または［システム］になるまで をタップします。

3 **ジョグダイヤルを回して［インターネット］を選び、ジョグダイヤルを押す。**

「インターネット」画面が表示されます。

4 ［ISP登録］をタップする。

「ISP登録」画面が表示されます。

5 ［モデムを設定］をタップする。

接続設定の一覧が表示されます。

6 ［SONYモバイルアダプタ］をタップしてから［終了］をタップする。

モバイルコミュニケーションアダプター以外のモデムをご使用の場合は、モデムの取扱説明書をご覧の上設定を行ってから［終了］をタップします。手順4の画面に戻ります。

7 ［次へ］をタップする。

オンラインサインアップ用ソフトウェアが用意されているプロバイダの一覧が表示されます。

8 契約したいプロバイダのアイコンをタップする。

9 ［接続開始］または［OK］をタップする。

10 「無料サービス登録」画面が表示されたら、必ず［キャンセル］をタップする。

11 次に表示される「無料サービス登録」画面では［OK］をタップする。

12 「ダウンロード」画面が表示されたら［今すぐ］をタップする。

自動的に携帯電話／PHS経由でプロバイダへ接続し、オンラインサインアップが始まります。

ご注意

お使いの場所や地域によってはうまく接続しない場合があります。その場合はパソコンからオンラインサインアップを行ってください。

13 画面の指示に従って、契約の操作をする。

14 登録が終了したら、画面右下の アイコンをタップして、接続を切断する。

これでプロバイダとの契約作業は終了しました。
プロバイダからのインターネット接続に必要な項目をメモなどに控えて、次ページの「ネットワークの設定」でインターネット接続に必要な設定を行ってください。

ネットワークの設定をする

すでにインターネットサービスプロバイダ（プロバイダ）と契約している場合は、［インターネット］アイコンからネットワーク接続の設定を行います。

［インターネット］から設定せずに、すべて手動で設定したいときは「ネットワーク接続設定を編集する」（200ページ）をご覧ください。

インターネットサービスプロバイダとまだ契約していないときは

「プロバイダと契約する」（163ページ）をご覧ください。

1 **「携帯電話／PHS電話機をつなぐ」（161ページ）の手順に従って、本機にモバイルコミュニケーションアダプターと携帯電話／PHSを接続する。**

2 ホーム **をタップする。**

ホーム画面が表示されます。

3 **ジョグダイヤルを回して［MultiMail］を選び、ジョグダイヤルを押す。**

MultiMailが起動します。ネットワーク設定の前に、一度MultiMailを起動しておくことが必要です。

4 ホーム **をタップする。**

5 **ジョグダイヤルを回して［インターネット］を選び、ジョグダイヤルを押す。**

「インターネット」画面が表示されます。

インターネット
Internet Wizardへようこそ
プロバイダに加入していないかたはISP登録をタップしてプロバイダに加入してください。
すでにプロバイダに加入しているかた、またはネットワークの設定をやり直したいかたはネット設定をタップしてネットワークの設定を始めてください
ISP登録　ネット設定
選択

6 ［ネット設定］をタップする。

「インターネット設定」画面が表示されます。

ご注意

インターネット設定でMultiMailの設定を行うと、既にMultiMailで設定された項目が上書きされますのでご注意ください。

7 表示されたご注意を最後まで読んでから、［次へ］をタップする。

モデムの選択画面が表示されます。

8 「プロバイダと契約する」（163ページ）などでモデムの設定を行っている場合は9へ進む。

一度も行っていない場合は、［モデムを設定］をタップし、「プロバイダと契約する」の手順5、6に従ってモデムの設定を行ってください。

9 ［次へ］をタップする。

インターネット接続の設定画面が表示されます。

10 インターネットの接続に必要な設定項目を、すべて入力する。

ユーザー名やパスワードなどの内容については、契約しているプロバイダから契約時に支給された資料をご覧ください。

記入例（So-netの場合）

- インターネットプロバイダー名　：So-net
- ユーザー名　：taro@aa2
- パスワード　：（パスワードを入力）
- 接続先電話番号　：03-XXXX-XXXX
  （電話番号はお使いのPHSやプロバイダによってオプション記号が必要な場合があります。）
- プライマリDNS　：202.238.95.24
- セカンダリDNS　：202.238.95.26

ご注意

- ピリオドを必ず入力してください。
- 電話番号の -（ハイフン）は入力してもしなくても構いません。ただし、入力するときは必ず半角記号をお使いください。

11 入力が終わったら、[次へ] をタップする。

画像を読み込むタイミングの選択画面が表示されます。

常にロード：

常に画像付きのページを表示します。画像表示用プロキシサーバーに接続している必要があるため、オンラインでの使用が前提となります。

ユーザ指定：

ホームページの画像を省略して表示します。オンライン時に「ページ」メニューの [画像をロード] を選択すると、画像付きのページを表示します。

インターネット設定
ブラウザで画像を読み込むタイミングを指定してください。
常にロード　ユーザ指定
※［常にロード］はオンラインで使用することが前提となります。
※［ユーザ指定］に設定した場合は、メニューから「ページ→画像をロード」を指定したときに画像を読み込みます。
次へ
選択

12 画像を読み込むタイミングをタップして選んでから、［次へ］をタップする。

電子メールの設定画面が表示されます。

記入例（So-netの場合）

- 送信者名　　　　：Taro Suzuki
- メールアドレス　：taro@aa2.so-net.ne.jp
- SMTPサーバー　：mail.aa2.so-net.ne.jp
- POPサーバー　　：pop.aa2.so-net.ne.jp
- POPユーザー名　：taro
- POPパスワード　：（パスワードを入力）

13 電子メールの利用に必要な設定項目を、すべて入力する。

メールアドレスやサーバー名などの内容については、契約しているプロバイダから契約時に支給された資料をご覧ください。

14 入力が終わったら、［設定］をタップする。

インターネット接続のための準備は、これですべて終了です。

一度設定した内容を変更したいときは、「ネットワーク接続設定を編集する」（200）ページをご覧ください。

インターネットに接続する

PalmscapeアプリケーションやMultiMailアプリケーションを使って、インターネットに接続します。

Palmscape、MultiMailはそれぞれホーム画面からジョグダイヤルで選択するか、またはアイコンをタップして起動できます。
PalmscapeやMultiMailの使いかたについて詳しくは、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

インストールできるアドオンアプリケーション

お買い上げ時の本機には、予定表やアドレス、To Do、メモ帳、支払メモ、電卓、メールといったアプリケーションが登録されています。
これらのアプリケーションに加えて、ゲームやその他のソフトウェアなど、Palm OS上で動作するアプリケーションを追加することもできます（アドオンアプリケーション）。本機で利用できる最新のアプリケーション情報については、ソニーPDAの公式ホームページ（http://www.sony.co.jp/CLIE/）をご覧ください。

ご注意

本機に追加インストールしたアドオンアプリケーションは、すべてメモリ上に保存されています。そのため、本機をハードリセット（237ページ）すると、追加したアドオンアプリケーションはすべて削除されてしまいますので、本機に再インストールしてください。
なお、ハードリセットの前にHotSyncを行っていると、追加インストールしたアドオンアプリケーションはパソコンにバックアップされています。この場合は、ハードリセット後にHotSyncすることで、リセット前の環境に戻すことができます。

“ メモリースティック ”から本機にインストールする

“ メモリースティック ”が付属している場合は、以下のアドオンアプリケーションとデータが収録されています。

- アプリケーション名：ファイル名
- Palmscape：「Palmscape」とその下のファイル群
- MultiMail：「MultiMail」
- PictureGear Pocket（サンプル静止画像）：「PictureGear Pocket」とその下のファイル群
- 英和／和英辞典S（small）：「EiwaS. pdb」／「WaeiS. pdb」
- あみだでGo（ゲーム）：「Amida De Go」（白黒版）、「Amida De Go Color」（カラー版）
- gMedia（サンプル動画像）：「gMedia」とその下のファイル群
- ハイパーダイヤ（体験版）：「HyperDia」とその下のファイル群

MS Gateを使って、これらのアプリケーションやデータを本機にインストールします。

ご注意

「インターネット」で設定を行う前には、必ず「Palmscape」とその下のファイル群「インターネット」「Wizard」、および「MultiMail」をインストールしておいてください。

1 **本機に付属の“ メモリースティック ”を、本機のメモリースティックスロットに入れる。**

2 **本機でMS Gateアプリケーションを起動する。****（50ページ）**

3 **ジョグダイヤルを押す。**
メモリースティックの内容が表示されます。

4 **インストールしたいアプリケーションをタップする。**

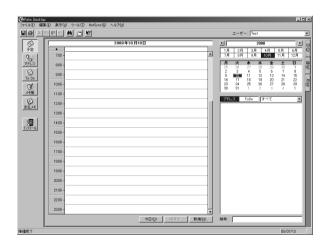
5 **［コピー］をタップする。**
選択したアプリケーションが本機にインストールされます。

ちょっと一言

“ メモリースティック ”に収録されているアプリケーションやデータは、付属のインストールCD-ROMにも収録されています。Sony PDA Pallm Desktopソフトウェアをインストールすると、パソコンとHotSyncしてインストールすることができます。詳しくは「パソコンから本機にインストールする」をご覧ください。

パソコンから本機にインストールする

1 **パソコンの「SonyPDA」フォルダ内の「Add-on」フォルダに、インストールしたいアプリケーションをコピーする。**
（例：C:¥Sony PDA¥Add-on）
別のフォルダにコピーする場合は、手順5でフォルダを指定する必要があります。

2 **Windowsデスクトップ上の［Sony PDA Palm Desktop］アイコンをダブルクリックするか、Windowsの［スタート］をクリックしてから［プログラム］-［SonyPDA］-［Sony PDA Palm Desktop］をクリックする。**
Sony PDA Palm Desktopソフトウェアが起動します。

3 **［インストール］をクリックする。**
「インストールツール」ダイアログボックスが表示されます。

4 **「ユーザー」の一覧から、使用するユーザー名を選ぶ。**

5 **[追加]をクリックする。**

「ファイルを開く」ダイアログボックスが表示されます。Add-onフォルダ内にSonyのバンドルアプリがフォルダ毎に入っています。

6 **本機にインストールしたいアプリケーションをフォルダの中から指定してから、[開く]をクリックする。**

「インストールツール」ダイアログボックスに、指定したアプリケーションが一覧表示されます。

一覧にインストールする必要のないアプリケーションが表示されている場合は、不要のアプリケーションを選んでから[削除]をクリックします。選択したアプリケーションは一覧から削除されますが、パソコン上からは削除されません。

7 **[終了]をクリックする。**

8 **ローカルHotSyncを実行する。**

手順6で選んだアプリケーションが本機にインストールされます。

ローカルHotSyncについて詳しくは、「HotSyncする」(179ページ)をご覧ください。

Windowsの[スタート]メニューから、直接「インストールツール」ダイアログボックスを表示することもできます

[スタート]をクリックしてから、[プログラム]-[SonyPDA]-[インストールツール]をクリックすると、「インストールツール」ダイアログボックスが表示されます。

また、.prc形式のファイルをダブルクリックしても、「インストールツール」ダイアログボックスが表示されます。

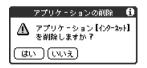
インストールしたアドオンアプリケーションを削除する

本機のメモリが不足したり、追加インストールしたアプリケーションが不要になった場合は、アプリケーションを削除することができます。
削除できるのは、自分でインストールした追加アプリケーション、パッチファイル、機能拡張だけです。アドレスやメモ帳などといった、本機が標準装備しているアプリケーションを削除することはできません。

1 本機の ホーム アイコンをタップする。
ホーム画面が表示されます。

2 メニュー アイコンをタップする。
メニューが表示されます。

3 ［アプリケーション］-［削除］をタップする。
「削除」画面が表示されます。

4 削除したいアプリケーションをタップしてから、［削除］をタップする。
削除の確認画面が表示されます。

5 ［はい］をタップする。
手順4で選んだアプリケーションが削除されます。
削除をやめるときは、［はい］の代わりに［いいえ］をタップします。

6 ［終了］をタップする。
ホーム画面に戻ります。

付属ソフトウェアをパソコンにインストールする

付属のインストールCD-ROMに収録されている、パソコン用のソフトウェアをインストールします。

PictureGear Liteをインストールする

PictureGear Liteを使って、パソコン上で動画や静止画をソニーPDA用に変換できます。変換した動画や静止画をソニーPDA上で楽しむには、PictureGear PocketやgMediaなどのアプリケーションを使います。

1 パソコンのCD-ROMドライブに、インストールCD-ROMをセットする。

しばらくするとCD-ROMが認識され、インストーラの起動画面が表示されます。インストーラが起動しない場合は、CD-ROMドライブのアイコンをクリックして、Setup.exeをダブルクリックします。

2 ［PictureGear Liteのインストール］をクリックする。

「PictureGear Lite 4.2のインストール」が表示されます。

3 ［PictureGear Lite 4.2のインストール］をクリックする。

4 ［はい］をクリックする。

PictureGear Liteソフトウェアのインストールが始まります。
以後、画面の指示に従って操作してください。

PictureGear Liteを起動する

［スタート］メニューから［プログラム］－［PictureGear 4.2Lite］－［PictureGear 4.2Lite］をクリックする。

PictureGear Liteの使いかたについて詳しくは、オンラインヘルプ「PictureGearの使いかた」をご覧ください。

Palmscape Cruiserをインストールする

Palmscape Cruiserを使って、パソコンでお気に入りのホームページを自動巡回させて、ホームページのデータをパソコンに取り込むことができます。Palmscape Cruiserで取り込んだホームページのデータをHotSyncで本機に取り込むと、本機のPalmscape上でパソコンで取り込んだホームページを閲覧できます。
深夜のうちにお気に入りのホームページのデータを取得しておき、通勤電車の中でゆっくり見たいようなときに便利です。

1 パソコンのCD-ROMドライブに、インストールCD-ROMをセットする。
しばらくするとCD-ROMが認識され、インストーラの起動画面が表示されます。

2 ［その他のソフトウェアのインストール］をクリックする。

3 ［Palmscape Cruiserのインストール］をクリックする。
インストール元の確認画面が表示されます。
Palmscape Cruiserソフトウェアのインストールが始まります。
以後、画面の指示に従って操作してください。

Palmscape Cruiserを起動する

［スタート］メニューから［プログラム］－［Palmscape］－［Palmscape Cruiser］をクリックする。

Palmscape Cruiserの使いかたについて詳しくは、オンラインヘルプをご覧ください。

MultiMail Conduitをインストールする

1 インストーラの起動画面で［その他のソフトウェアのインストール］をクリックする。

2 ［MultiMail Conduitのインストール］をクリックする。
画面の指示に従って操作してください。

MultiMail Conduitの使いかたについて詳しくは、MultiMail Conduitの取扱説明書をご覧ください。

HotSyncでできること

本機のアプリケーションとパソコン上のSony PDA Palm Desktopソフトウェア間でデータを同期させることを、HotSyncと呼びます。
HotSync機能を実行するには、本体とパソコンをクレードル経由で接続するか、モデム経由で接続する必要があります。

本機のデータとパソコン上のデータを同期する

本機の予定表、アドレス、To Do、メモ帳、および支払メモのデータと、パソコン上のデータを相互に同期できます。複数のソニーPDAのデータを同時に独立して管理することもできます。

バックアップデータをパソコンに保存する

HotSyncすることで、パソコン側に本機のデータのバックアップコピーを自動的に作成できます。
こまめにHotSyncしておくことで、本機のデータを誤って削除してしまったり、本機をリセットしなければならなくなったときでも、パソコン上に保存されたバックアップデータから本機の最新データを復元できます。

Windowsのアプリケーションで作成したデータを本機で使う

パソコン上のWindowsアプリケーションで作成したデータを変換して本機に転送できます。また、本機のデータをWindowsアプリケーションのデータに取り込むこともできます（インポート）。

SonyPDA Palm Desktopソフトウェアにインポートできるデータ形式

- カンマ／タブ区切りテキスト（*.csv、*.tab、*.tsv）
- テキスト（*.txt）
- Palm Desktopソフトウェアの予定表アーカイブ（*.dba）
- Palm Desktopソフトウェアのアドレスアーカイブ（*.aba）
- Palm DesktopソフトウェアのTo Doリストアーカイブ（*.tda）
- Palm Desktopソフトウェアのメモ帳アーカイブ（*.mpa）
- Palm Desktopソフトウェアの支払いメモアーカイブ（*.exa）

データのインポートについて詳しくは、SonyPDA PalmDesktopソフトウェアのオンラインヘルプをご覧ください。

ご注意

Windows 2000 Professionalを搭載しているパソコンとは赤外線HotSyncは行えません。

HotSyncする

本機上のアプリケーションとパソコン上のSony PDA Palm Desktopソフトウェア間でデータを同期させることを、HotSyncと呼びます。
また、HotSyncの対象となるデータを必要なものだけに限定して、HotSyncの時間を短縮することもできます。

はじめてHotSyncするときは

はじめてHotSyncする前に、Sony PDA Palm Desktopソフトウェアでユーザー名を入力する必要があります。
ユーザー名を入力してからHotSyncすると、本機のユーザー名が自動的に認識されるため、何度も同じ情報を入力する必要はありません。

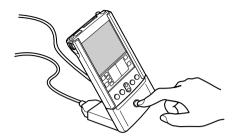
複数のソニーPDAを1台のパソコンで管理したいときは
あらかじめそれぞれのソニーPDA用にユーザープロファイルを作成する必要があります。詳しくは、「ユーザープロファイルを作成する」（193ページ）をご覧ください。

1 **Windowsの画面右下のタスクトレイの アイコンをクリックして、表示されたショートカットメニューから［ローカル］がチェックされていることを確認する。**

タスクトレイに がないときは、［スタート］メニューの［プログラム］-［Sony PDA］［HotSyncマネージャー］をクリックしてHotSyncマネジャーを起動します。

2 **本機の電源を入れて、クレードルにセットする。**
本機背面とクレードルが密着するようにセットします。

3 クレードルがフロントパネルのHotSyncボタンを押す。

「ユーザー」ダイアログボックスが表示されます。

4 ユーザー名がある場合は選択、ない場合は入力してから、[OK]をクリックする。

HotSyncが始まります。

HotSyncが終了すると、HotSyncの完了を示すメッセージが表示されます。

ご注意

- クレードルのUSBコネクタ経由でHotSyncした場合でも接続が「シリアル」と表示されます。
- HotSync中は本機をクレードルからはずしたり、ずらさないでください。パソコンの誤動作の原因となります。
- HotSync中にHotSyncボタンを押さないでください。HotSyncがエラーを起こして終了する場合があります。
- HotSync中は省電力モードに移行しないでください。HotSync中にパソコンが省電力モードになると、HotSyncマネージャーが強制終了します。
- パソコンの起動後に以下のメッセージが出たときは、次のAまたはBを行ってください。
  （画面中のメッセージではCOM3になっていますが、COM1, 2, 4...等の場合もあります。）

A

1 Windowsのタスクトレイのhotsync Managerアイコンをクリックし、［起動／接続設定］をクリックする。

2 ［ローカル］タブを選択する。

3 プルダウンメニューの［シリアルポート］から［COM x］（xは任意のポート）をクリックする。

4 ［OK］をクリックする。

B

Sony PDA Palm Desktopソフトウェアをアンインストールし、再インストールする。

クレードルを使ってHotSyncする（ローカルHotSync）

1度HotSyncしてしまえば、次回からはより手軽にHotSyncできるようになります。

1 **本機をクレードルにセットする。**

2 **クレードルのフロントパネルの ボタンを押す。**

HotSyncが始まります。

HotSyncが終了すると、HotSyncの完了を示すメッセージが表示されます。

ご注意

HotSyncが完了するまで、ソニーPDAをクレードルから取りはずさないでください。Sony PDA Palm Desktopソフトウェアが正常に終了できない場合があります。

ボタンを押してもHotSyncが始まらないときは

- タスクトレイに アイコンが表示されているかどうか確認します。
  表示されていないときは、［スタート］をクリックしてから［プログラム］-［SonyPDA］-［HotSyncマネージャー］をクリックしてから、もう1度クレードルの ボタンを押してください。
- Sony PDA Palm Desktopソフトウェアに表示されたユーザー名が正しいかどうか確認してください。

HotSyncの設定を変更する

HotSyncマネージャーの起動方法や、ローカルHotSyncやモデムHotSyncの設定を変更できます。

1 **タスクトレイの アイコンをクリックして、表示されたショートカットメニューから［起動／接続設定］を選ぶ。**

「起動／接続設定」ダイアログボックスが表示されます。

2 **［起動］タブをクリックして、必要に応じて設定を変更する。**

適当な設定がわからない場合は、［常に有効］を選びます。

- **常に有効：**Windowsの起動と同時にHotSyncマネージャーを起動し、常にクレードルの動作をモニターします。Sony PDA Palm Desktopソフトウェアを起動せずにHotSyncできるので、便利です。
- **Palm Desktopを実行しているときのみ有効：**Sony PDA Palm Desktopソフトウェアの起動と同時に、HotSyncマネージャーを起動します。
- **手動：**Windowsの［スタート］メニューから［HotSyncマネージャー］を起動した場合にのみ、HotSyncマネージャーを起動します。

3 ［ローカル］タブをクリックして、必要に応じてパソコンとクレードル間の接続設定を変更する。

- **シリアルポート：**シリアルポートを使ってHotSyncする場合に使う、パソコンのポートを指定します。［モデム］タブのシリアルポートと共有することはできませんので、ご注意ください。
- **速度：**ソニーPDAとパソコン間の、データの転送速度を指定します。まず［最速］に設定して、問題があった場合のみ低速の設定に変更することをおすすめします。

4 ［モデム］タブをクリックして、好みに合わせてパソコンとクレードル間のモデム設定を変更する。

それぞれの設定について詳しくは、「モデム経由でHotSyncする」（186ページ）をご覧ください。

- **シリアルポート：**モデムの接続先ポートを指定します。接続先ポートが不明な場合は、パソコンのコントロールパネルの「モデム」で確認してください。
- **速度：**データの転送速度を指定します。まず［最速］に設定して、問題があった場合のみ低速の設定に変更することをおすすめします。
- **モデム：**モデムの機種または製造元を指定します。モデムの機種を確認するには、モデム本体の記載やモデムに付属する取扱説明書で確認してください。機種または製造元がわからない場合、または一覧に表示されていない場合は、「Hayes Basic」を選んでください。
- **初期化コマンド：**モデムの初期化コマンドを指定します。モデムの初期化コマンドについて詳しくは、モデムの取扱説明書をご覧ください。

5 設定が終わったら、［OK］をクリックする。

アプリケーションごとのHotSyncの動作を設定する

アプリケーションごとに、HotSync時のデータ処理方法を選べます。
これらの設定を指定するプログラムを「コンジット」と呼び、標準設定では本機のアプリケーションとSony PDA Palm Desktopソフトウェア間ですべてのデータが同期されるようになっています。
通常は標準設定のままHotSyncを行いますが、本機のデータまたはSony PDA Palm Desktopソフトウェアのデータのいずれかを上書きする場合や、HotSyncする必要のないデータを指定したいような場合には、コンジットの設定を変更する必要があります。

Sony PDA Palm Desktopソフトウェアには、予定表やアドレス、To Do、メモ帳、支払メモといった、それぞれのアプリケーション用のコンジットに加えて、バックアップ用とインストール用のコンジットも用意されています。本機に記録されているデータをすべてバックアップしたいときはバックアップコンジット、本機にアドオンアプリケーションをインストールしたいときはインストールコンジットを選んでください。

1 タスクトレイの アイコンをクリックして、表示されたショートカットメニューから［動作設定］を選ぶ。
または、Sony PDA Palm Desktopソフトウェアの［HotSync］メニューから［動作設定］を選びます。
「HotSync機能の動作設定」ダイアログボックスが表示されます。

2 一番上のリストから、本機で使用しているユーザー名を選ぶ。

3 **コンジットの一覧から、変更したいコンジットを選ぶ。**

4 **［変更］をクリックする。**

「HotSync機能の動作設定」ダイアログボックスが表示されます。

5 **［ファイルの同期］、［Palm Desktopが本体を上書き］「本体がPalm Desktopを上書き」または［何もしない］のいずれかを選ぶ。**

6 **手順2から5を繰り返して、その他のアプリケーション（またはユーザー）のコンジットを変更する。**

7 **［OK］をクリックする。**

8 **［終了］をクリックする。**

変更したコンジットの設定が有効になります。

ご注意

変更した設定が適用されるのは、設定を変更した直後のHotSync時だけです（HotSync後は、標準設定に戻ります）。選んだ設定を標準設定として登録したいときは、上記の手順5で［標準として保存］をクリックして、チェックをつけます。

標準設定をお買い上げ時の設定に戻したいときは

「HotSync機能の動作設定」ダイアログボックスで［標準］をクリックします。

モデム経由でHotSyncする（モデムHotSync）

外出先からモデム経由でHotSyncすることもできます。長期の出張中などに、外出先から本機のデータをパソコンにバックアップしておきたいときなどに便利です。

ご注意

- はじめてHotSyncするときは、179ページの手順に従ってクレードルを使ってHotSyncする必要があります。
- コンジットの設定によっては、数十分間HotSyncをすることがあります。コンジットを設定して、通信するデータを選択しておいてください。コンジットについては「モデム経由HotSync用のコンジットを編集する」（191ページ）をご覧ください。

モデムHotSync機能を実行する前に

以下の項目を確認してください。

- パソコンにモデムが接続されている。
- ソニーPDA本体とモバイルコミュニケーションアダプター（モデム）が正しく接続されている。
- Sony PDA Palm Desktopソフトウェアでモデムの設定が完了している。「HotSyncの設定を変更する」（182ページ）をご覧ください。

パソコン側で準備する

モデム経由でHotSyncするには、外部電話回線からの呼び出しをパソコンで受信できるように、以下の準備が必要となります。

1 以下の項目を確認する。

- パソコンにモデムが接続され、パソコンとモデムの電源が入っている。
- 通信ポートを使用する通信アプリケーション（電話、ファックス送受信ソフトウェアなど）をすべて終了させている。
- インターネットやパソコン通信などへの接続は、すべて切断している。

2 Windows**の画面右下のタスクトレイの** **アイコンをクリックして、表示されたショートカットメニューから［モデム］を選ぶ。**

3 **タスクトレイの** **アイコンをクリックして、表示されたショートカットメニューから［起動／接続設定］を選ぶ。**

「起動／接続設定」ダイアログボックスが表示されます。

4 **［モデム］タブをクリックする。**

5 **必要に応じて、以下の設定を変更する。**

- **シリアルポート：**パソコンのモデムの接続先ポートを指定します。接続先ポートが不明な場合は、パソコンのコントロールパネルの「モデム」で確認します。
- **速度：**データの転送速度を指定します。まず［最速］に設定して、問題があった場合のみ低速の設定に変更することをおすすめします。
- **モデム：**モデムの機種または製造元を指定します。モデムの機種や設定は、モデムに付属する取扱説明書で確認します。
- **初期化コマンド：**使用するモデムの初期化コマンドを指定します。初期化コマンドが不要のモデムもあります。お使いのモデムで使用する初期化コマンドについて詳しくは、モデムに付属する取扱説明書をご覧ください。

6 ［OK］**をクリックする。**

ソニーPDA側で準備する

モデム経由でHotSyncするには、ソニーPDA側で以下の準備が必要となります。

1 **ソニーPDAの電源を入れる。**

2 **(ホーム) をタップする。**

ホーム画面が表示されます。

3 **ジョグダイヤルを回して［HotSync］を選び、ジョグダイヤルを押す。**

「HotSync」画面が表示されます。

4 **［モデム］をタップする。**

モデムの選択リストが表示されます。

5 **アイコンの下の ▼ をタップして、ドロップダウンリストからモデムの設定を選ぶ。**

ここでは、［SONYモバイルアダプタ］を選びます。

6 **モデム名の下に表示されている［電話番号の入力］をタップする。**

「ダイヤルの設定」画面が表示されます。

7 **パソコンを接続しているモデムの電話番号を入力する。**

必要に応じて「0」などの外線用発信番号を入力し、［外線発信番号］チェックボックスをタップしてチェックをつけます。

また、フィールドにカンマ記号を入力して、無音時間を設定することもできます。例えば、外線を使用して電話をかける場合は、通常は外線に接続するまでに数秒の無音時間があります。外線発信番号の後にカンマを挿入することにより、この時間を補正できます。1つのカンマで、2秒間の無音時間を設定できます。

8 **ソニーPDA側で使用する電話回線にキャッチホン機能がある場合は、HotSyncが中断されないように［キャッチホン機能解除］チェックボックスをタップしてチェックをつける。**

キャッチホン機能の解除のしかたについて詳しくは、モデムの取扱説明書をご覧ください。

9 アメリカ合衆国でコーリングカードを使って電話する場合は、［コーリングカードの使用］チェックボックスをタップしてチェックをつけ、コーリングカード番号を入力する。

日本では、コーリングカードは使用できません。また、「ダイヤルの設定」画面の設定は、AT&TとSprintの長距離サービスでのみ正しく機能します。MCIは機能が異なるので、MCIを利用する場合は、「電話番号」フィールドにコーリングカード番号、「コーリングカード」フィールドに電話番号を入力する必要があります。

10 ［OK］をタップする。

「HotSync」画面に戻ります。

モデム経由HotSync用のコンジットを編集する

本機では、HotSync時に同期させるデータの単位を「コンジット」と呼びます。

「コンジットの設定」画面で、モデム経由でHotSyncしたときに同期させるデータをあらかじめ選んでおくと、HotSyncの所要時間を短縮できます。

1 **ホーム をタップする。**

ホーム画面が表示されます。

2 **ジョグダイヤルを回して［HotSync］を選び、ジョグダイヤルを押す。**

「HotSync」画面が表示されます。

3 **メニュー アイコンをタップする。**

メニューが表示されます。

4 **［オプション］-［コンジットの設定］をタップする。**

「コンジットの設定」画面が表示されます。

5 **モデム経由のHotSyncで同期させる必要のないデータのチェックボックスをタップして、チェックをはずす。**

標準設定では、すべてのファイルが同期するように設定されています（すべてのチェックボックスがチェックされています）。

なお、ゲームのようにデータベースを使用しないアプリケーションのデータは同期されません。

6 **［OK］をタップする。**

変更したコンジットの設定が有効になります。

モデムHotSyncする

パソコンと本機の準備、コンジットの編集が終わったら、モデムHotSyncを実行できます。

1 **本機の電源を入れる。**

2 ホーム **をタップする。**

ホーム画面が表示されます。

3 **ジョグダイヤルを回して［HotSync］を選び、ジョグダイヤルを押す。**

「HotSync」画面が表示されます。

4 **アイコンをタップする。**

HotSyncが始まります。

HotSyncが終了すると、HotSyncの完了を示すメッセージが表示されます。

ユーザープロファイルを作成する

会社などでソニーPDAをまとめて導入するような場合は、ソニーPDAをユーザーに配付する前に、会社の電話番号リストなどのプロファイルをあらかじめ作成しておき、ソニーPDAに転送しておくことができます。

ご注意

作成したプロファイルは、ユーザー名を設定していない状態のソニーPDAにのみ転送できます。したがって、ユーザーがはじめてHotSyncを実行するまえに転送する必要があります。
ユーザー名を設定してしまったあとでプロファイルを転送する方法については、「パソコンで作成した外部データと同期させる（ファイルリンク）」をご覧ください。

プロファイルを作成する

1 Windows**のデスクトップ画面で、**［SonyPDA Palm Desktop］**アイコンをダブルクリックするか、［スタート］をクリックしてから［プログラム］**-［SonyPDA］-［Sony PDA Palm Desktop］**をクリックする。**

Sony PDA Palm Desktopソフトウェアが起動します。

2 ［ツール］メニューから［ユーザー］を選ぶ。

「ユーザー」ダイアログボックスが表示されます。

3 ［プロファイル］をクリックする。

「プロファイル」ダイアログボックスが表示されます。

4 ［新規］をクリックする。

「新規プロファイル」ダイアログボックスが表示されます。

5 プロファイル名を入力してから、［OK］をクリックする。

6 作成するプロファイルごとに、手順4と5を繰り返す。

7 ［OK］をクリックする。

8 ［ユーザー］の一覧から内容を編集したいプロファイルを選び、会社の電話番号リストなどのデータを作成する。

作成したプロファイルを本機に転送する

1 クレードルにユーザー名が設定されていないソニーPDAをセットする。

2 クレードルの ボタンを押す。

「ユーザー」ダイアログボックスが表示されます。

3 ［プロファイル］をクリックする。

「プロファイル」ダイアログボックスが表示されます。

4 本機に転送したいプロファイルを選んでから、［OK］をクリックする。

5 ［はい］をクリックする。

選んだプロファイルが本機に転送されます。

次回のHotSync時には、Sony PDA Palm Desktopソフトウェアに本機のユーザー名を指定するためのダイアログボックスが表示されます。

パソコンで作成した外部データと同期させる（ファイルリンク）

HotSync時にソニーPDAのアドレスやメモ帳のデータと、パソコンで作成した住所録などのデータ（外部ファイル）とを同期させることができます（ファイルリンク）。
ファイルリンクで指定したパソコン上のファイルのデータは、Sony PDA Palm Desktopソフトウェアとソニー PDA上で単独のカテゴリーとして保存されています。外部ファイルの変更を自動的に検出して、パソコン上の外部ファイルに変更があったときだけファイルリンクするように設定することもできます。

ファイルリンクで同期できるファイル形式

ファイルリンク機能を利用することで、以下のファイル形式のデータをHotSync時に同期させられます。

- カンマ区切り（*.csv）
- Palm Desktopソフトウェアのメモ帳アーカイブ（*.mpa）
- Palm Desktopソフトウェアのアドレスアーカイブ（*.aba）
- テキスト（*.txt）

ファイルリンクの設定方法について詳しくは、Sony PDA Palm Desktopソフトウェアのオンラインヘルプをご覧ください。

環境設定でできること

環境設定画面で、以下のような操作設定や初期設定を変更できます。

- インターネット：URL（http, ftp, res, mailto）を取り扱うアプリケーションを設定する。
- ショートカット：Graffiti文字ですぐに入力できる文字列（日付や時刻など）を登録する。
- デジタイザー：画面の表示とスタイラスをタップする位置のずれを調整する。
- ネットワーク：インターネット接続設定を編集する。
- ボタン：フロントパネルに割り当てられているアプリケーションを変更する。
- ユーザー辞書：本機でユーザー辞書として使用する辞書を登録する。
- 一般：時刻や日付、各種のシステム音、本機の電源が自動的に「切」になるまでの時間などを設定する。
- 所有者：本体の所有者の名前や電話番号を設定する。
- 書式：時刻や日付などの書式を設定する。
- 接続：付属のモバイルコミュニケーションアダプターや、モデムなどの設定を変更する。

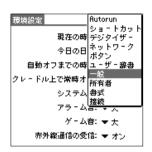
環境設定の各画面を表示するには

1 ホーム をタップする。

ホーム画面が表示されます。

2 ジョグダイヤルを回して［環境設定］を選び、ジョグダイヤルを押す。

環境設定画面が表示されます。

3 **右上の▼をタップして、表示されたドロップダウンリストから変更したい環境設定画面をタップする。**

通信モデムの設定を変更する

本機に接続する通信モデムの設定を変更できます。通信モデムを使用するアプリケーションは、この設定に従います。
［インターネット］アイコンからの設定を手動で行うものです。
モバイルコミュニケーションアダプターを使う場合は、設定内容の変更は不要です。

1 **環境設定画面で右上の▼をタップして、表示されたドロップダウンリストの［接続］をタップする。**

使用できる設定の一覧が表示されます。

2 **変更したい設定の項目をタップしてから、［編集］をタップする。**

編集画面が表示されます。

3 **［接続方法］ドロップダウンリストをタップして、使用する接続方法をタップする。**

4 **［回線種別］ドロップダウンリストをタップして、使用する回線の種類をタップする。**

通常は［プッシュ回線］を選びます。

［ダイヤル回線］は使用する電話サービスがプッシュ回線でないことが明らかなとき以外は選ばないでください。

5 **［音量］ドロップダウンリストをタップして、接続時のモデムスピーカーの音量をタップする。**

6 **［詳細］をタップする。**

詳細画面が表示されます。

7 **［速度］ドロップダウンリストをタップして、モデムの最高速度を選ぶ。**

8 **［フロー制御］ドロップダウンリストをタップして、モデム接続のフロー制御を選ぶ。**

通常は［自動］を選びます。

9 **［コマンド］欄に、モデム初期化コマンドを入力する。**

通常は、表示されているモデム初期化コマンドを変更する必要はありません。

10 **［OK］をタップする。**

編集画面に戻ります。

11 **［OK］をタップする。**

通信モデムの設定が変更され、使用できる設定の一覧画面に戻ります。

ネットワーク接続設定を編集する

［インターネット］で設定したネットワーク接続の設定（166ページ）を、手動で編集できます。［インターネット］を使わずにすべて手動で設定することもできます。

編集したいサービステンプレートを選ぶ

インターネットなどに接続するために使用する設定リストの元となる、インターネットサービスプロバイダまたはダイヤルインサーバーのサービステンプレートを選びます。

1 環境設定画面で右上の▼をタップして、表示されたドロップダウンリストの［ネットワーク］をタップする。

ネットワークの環境設定画面が表示されます。

2 **［サービス］ドロップダウンリストをタップして、使用するサービス（プロバイダ名）をタップする。**

リストの中に契約しているプロバイダ名が表示されないときは、サービスが表示されている場所をタップして、サービス名を直接入力することもできます。

一つのサービスの名前を変更して、複数登録することもできます

例えばSo-net1とSo-net2というように、一つのサービスの名前を変更して複数のサービスとして登録できます。アクセスポイントや設定によって使い分けたいときに便利です。

ユーザー名を入力する

インターネットサービスプロバイダまたはダイヤルインサーバーで使用する、プロバイダから指定されたユーザー名を入力します。

1 **ネットワークの環境設定画面で、［ユーザー名］をタップする。**

2 **ユーザー名を入力する。**

ご注意

- ユーザー名として複数行の文字列を入力しても、画面には2行までしか表示されません。
- ほとんどのダイヤルインサーバーでは、ユーザー名としてスペース（空白）を使用することはできません。
- ハイフン（–）を入力するときは、半角であることを確認してください。

パスワードを登録する

インターネットサービスプロバイダまたはダイヤルインサーバーで使用する、プロバイダから指定されたパスワードを入力します。パスワードを登録しておくと、インターネットへ接続するごとにパスワードを入力する必要がなくなります。
パスワードを登録しない場合は、接続するごとに手動でパスワードを入力する必要があります。

1 **ネットワークの環境設定画面で、[パスワード] をタップする。**
「パスワード」画面が表示されます。

2 **パスワードを入力する。**

3 **[OK] をタップする。**

ダイヤルアップ電話番号を入力する

使用する携帯電話／PHSに対応したインターネットサービスプロバイダのアクセスポイントまたはダイヤルインサーバーの電話番号を入力します。

1 **ネットワークの環境設定画面で、［電話番号］をタップする。**

「ダイヤルの設定」画面が表示されます。

2 **ダイヤルアップ電話番号を入力する。**

ご注意

PHSをお使いの場合は、プロバイダに電話番号をお問い合わせください。

3 **外線発信番号やキャッチホン機能解除を設定する必要があるときは、204ページの手順に従って設定を行う。**

電話番号の設定を終了する場合は、［OK］をタップする。

ネットワークの環境設定の画面に戻ります。

ご注意

日本国内では、「コーリングカードを使用」オプションは利用できません。コーリングカードを利用できる地域では、205ページの手順で設定してください。

外線発信番号を入力する

外線発信番号を指定しなければならない環境でお使いの場合は、外線発信番号を入力します。

1 **［外線発信番号］チェックボックスをタップして、チェックをつける。**

2 **［外線発信番号］フィールドに、外線発信番号を入力する。**

3 ［OK］**をタップする。**

キャッチホンを解除する

あらかじめキャッチホン機能解除サービス（例：NTTキャッチホンII）を通信会社と契約している場合には、インターネットへの接続時にキャッチホン機能を解除するように設定できます。
キャッチホン機能解除サービスについて詳しくは、ご契約されている通信会社にお問い合わせください。

1 **［キャッチホン機能解除］チェックボックスをタップして、チェックをつける。**

2 **キャッチホン機能を解除するための番号を入力する。**

3 ［OK］**をタップする。**

コーリングカードを使用する

本機をアメリカ合衆国でお使いの場合は、コーリングカード番号を指定することで、コーリングカードを使ってネットワークに接続することもできます。

ご注意

日本では、画面に表示されている［コーリングカードの使用］オプションは使用できません。また、アメリカで使用する場合、［ダイアルの設定］ダイアログボックスの設定は、AT&TとSprintの長距離サービスでのみ正しく動作します。MCIでは動作が異なるので、MCIを利用する場合は、［電話番号］フィールドにコーリングカード番号、［コーリングカード］フィールドに電話番号を入力する必要があります。

1 **［コーリングカードの使用］チェックボックスをタップして、チェックをつける。**

2 **［コーリングカードの使用］フィールドにコーリングカード番号を入力する。**

通常は、コーリングカード番号を入力する前に待ち時間があります。そのためコーリングカード番号を指定する場合は、先頭に3つ以上のカンマを挿入して待ち時間を補正するようにしてください(1つのカンマでコーリングカード番号の送信が2秒遅れます)。

3 **［OK］をタップする。**

詳細な接続情報を追加設定する

プロバイダをリストから選んだときは、ユーザー名と電話番号を入力するだけでネットワークに接続できます。しかし、プロバイダやダイヤルアップサーバーによっては、詳細な接続情報を追加設定しなければならない場合があります。
この場合は、以下の手順で詳細な接続情報を設定します。

1 **ネットワークの環境設定画面で、［詳細］をタップする。**

「詳細」画面が表示されます。

2 **［接続タイプ］ドロップダウンリストをタップして、接続方法を選ぶ。**

- PPP：ポイントツーポイントプロトコル
- SLIP：シリアル回線インターネットプロトコル
- CSLIP：圧縮シリアル回線インターネットプロトコル

適切な接続方法がわからない場合は、まず［PPP］を試します。
詳しくはプロバイダのお問い合わせ窓口、またはダイヤルアップサーバーの管理者にお問い合わせください。

3 ［切断までの時間］ドロップダウンリストをタップして、ネットワークを使用するアプリケーションが終了してからネットワークとの接続を切断するまでの時間を選ぶ。

- **即時：**ネットワークを使用しないアプリケーションに切り替えると、すぐにネットワークとの接続を切断します。
  もっとも通信料金がかからない設定ですが、例えば、メールを送受信するときにメモ帳のメモを確認する操作を行っただけで、ネットワークとの接続が切断されてしまいます。
  PalmscapeやMultiMailなどネットワークを使用するアプリケーションとそれ以外のアプリケーションを切り替えながら使いたいときは、別の設定を選ぶと便利です。
- **1分、2分、3分：**ネットワークを使用しないアプリケーションに切り替えると、それぞれ1分後、2分後、3分後にネットワークとの接続を切断します。
- **電源オフ：**本体の電源が切れるまで、ネットワークと接続し続けます。もっとも通信料金がかかる設定ですので、十分にご注意ください。

4 DNS（ドメインネームサーバー）のIPアドレスを指定する必要のある場合は、［クエリーDNS］をタップしてチェックをはずす。

通常はDNSのIPアドレスを入力する必要はありません。不明な場合は、DNSフィールドを空白のままにして手順６に進んでください。

5 DNS（ドメインネームサーバー）のIPアドレスを入力する。

プライマリDNSまたはセカンダリDNSのIPアドレスについては、インターネットサービスプロバイダのお問い合わせ窓口、またはダイヤルアップサーバーの管理者にお問い合わせください。

6 本機のIPアドレスを指定する必要のある場合は、［自動］をタップしてチェックをはずす。

通常は入力する必要はありません。不明な場合は、［自動］にチェックがついた状態にして手順８に進んでください。

7 本機のIPアドレスを入力する。

入力するIPアドレスについては、インターネットサービスプロバイダのお問い合わせ窓口、またはダイヤルアップサーバーの管理者にお問い合わせください。

8 ［OK］をタップする。

ネットワークに接続する

モデムとネットワークの設定が終わったら、インターネットサービスプロバイダまたはダイヤルインサーバーに接続できます。
この接続を利用するには、本機に付属のWebブラウザやメールソフトなどのアプリケーションが必要です。

接続する

ネットワークの環境設定の画面で［接続］をタップする。
自動的に登録してあるサービスにダイヤルをはじめます。
接続中は、［接続］が［回線切断］に変わり、接続状況が常に表示されています。

ちょっと一言
スクロールボタンの下部を押すと、接続状況の詳細情報を表示できます。

エラー画面が表示されたときは

下図のような画面が表示されたときは、ネットワークの設定に問題があります。198〜207ページの設定内容を、もう1度確認してください。

接続を終了する

ネットワークの環境設定の画面で、［回線切断］をタップする。
ネットワークとの接続が切断されます。

サービステンプレートを編集する

ネットワークに接続するためのサービステンプレートを新規作成したり、既存のテンプレートを複製して設定を変更したりすることもできます。

新規のサービステンプレートを作成する

1 環境設定画面で右上の▼をタップして、表示されたドロップダウンリストの［ネットワーク］をタップする。

ネットワークの環境設定画面が表示されます。

2 メニュー をタップする。

メニューが表示されます。

3 ［サービス］-［新規］をタップする。

［サービス］ドロップダウンリストに「なし」という新規サービステンプレートが作成され、この新規サービステンプレートが表示されます。

設定を変更する（環境設定）

既存のサービステンプレートを複製する

サービステンプレートをすべて新規で作成するよりも、既存のサービステンプレートの内容を編集した方が早いときなどに、既存のサービステンプレートを複製することができます。
複製したサービステンプレートの必要な部分だけを編集して、保存できるので便利です。

1 環境設定画面で右上の▼をタップして、表示されたドロップダウンリストの［ネットワーク］をタップする。

ネットワークの環境設定画面が表示されます。

2 ［サービス］ドロップダウンリストをタップして、複製したいサービスをタップする。

3 メニュー をタップする。

メニューが表示されます。

4 ［サービス］-［コピー］をタップする。

［サービス］ドロップダウンリストに「（コピー元のサービス名）＋コピー」という新規サービステンプレートが作成され、この新規サービステンプレートが表示されます。

サービステンプレートを削除する

登録されているサービステンプレートを削除することもできます。

1 **環境設定画面で右上の▼をタップして、表示されたドロップダウンリストの［ネットワーク］をタップする。**

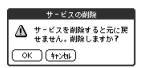
ネットワークの環境設定画面が表示されます。

2 **［サービス］ドロップダウンリストをタップして、削除したいサービスをタップする。**

3 **メニュー をタップする。**

メニューが表示されます。

4 **［サービス］-［削除］をタップする。**

「サービスの削除」画面が表示されます。

5 **［OK］をタップする。**

手順2で選んだサービステンプレートが削除されます。

削除をやめたいときは、［OK］の代わりに［キャンセル］をタップします。

ログインスクリプトを作成する

ログインスクリプトとは、インターネットサービスプロバイダへのログインを自動化するための、一連のコマンドのことです。
ログインスクリプトには、ASCII以外の文字やリテラル文字も使用できます。詳しくは、「ログインスクリプトで使用できるASCII文字以外の文字」（214ページ）をご覧ください。

モバイルコミュニケーションアダプターをご使用の場合は作成する必要はありません。

1 環境設定画面で右上の▼をタップして、表示されたドロップダウンリストの［ネットワーク］をタップする。

ネットワークの環境設定画面が表示されます。

4 使用するサービスをタップする。

5 ［詳細］をタップする。

「詳細」画面が表示されます。

6 ［スクリプト］をタップする。

「ログインスクリプト」画面が表示されます。

7 ［終了］ドロップダウンリストをタップして、目的のコマンドを選ぶ。

コマンドに追加情報が必要な場合は、右側に入力フィールドが表示されます。ログインスクリプトは、以下のコマンドから選べます。

- **データ待ち：**サーバーからの特定の文字を受信してから、次のコマンドを実行します。
- **プロンプト待ち：**サーバーからのチャレンジプロンプトおよびレスポンスプロンプトを検索し、動的に生成したチャレンジ値を表示します。その後、トークンカードにチャレンジ値を入力して下さい。これにより、本体に入力するレスポンス値が生成されます。このコマンドは2つの引数を取ります。入力行に、バー（｜）で区切って入力してください。
- **送信：**サーバーに特定の文字を送信します。
- **改行を送信：**サーバーにキャリッジリターン（CR）またはラインフィード（LF）を送信します。
- **ユーザーIDを送信：**ネットワーク接続のためのユーザー名をサーバーに送信します。
- **パスワードを送信：**ネットワーク接続のためのパスワードをサーバーに送信します。パスワードが未登録の場合は、このコマンドの実行時にパスワード入力画面が表示されます。
  通常はこのコマンドの後に、「改行を送信」コマンドが続きます。
- **時間待ち：**次のコマンドの実行まで、一定の時間（秒）の待機時間を設定します。
- **IP取得：**SLIP接続時に、あらかじめ登録したIPアドレスを取得して、本機のIPアドレスとして使用します。
- **プロンプト表示：**パスワードやデータ保護コードなどの文字列を入力するための画面を表示します。
- **終了：**ログインスクリプトの最後の行に挿入します。

8 手順7を繰り返して、ログインスクリプトを完成します。

9 ［OK］をタップする。

「詳細」画面に戻ります。

10 ［OK］をタップする。

ログインスクリプトで使用できるASCII文字以外の文字

ASCII文字以外の文字を使用するカスタムログインスクリプトの作成のしかたについて説明します。この説明はカスタムログインスクリプトでこれらの文字の必要性と使いかたを理解している、上級ユーザー向けの情報です。

^char（文字）の使用

キャレット（^）を使って、ASCIIコマンド文字を送信できます。
^charを送信する場合は、文字のASCIIコードが@と_の間であれば、自動的に0から31の1バイト値に変換されます。たとえば、^Mは、キャリッジリターンに変換されます。
文字がAからZの間の場合、文字列が1から26までの1バイト値に変換されます。文字がその他の場合、文字列は特殊な処理の対象となりません。

キャリッジリターンとラインフィード

キャリッジリターンとラインフィードの各コマンドは、以下の書式で入力できます。

- <cr>：キャリッジリターンを送受信します。
- <lf>：ラインフィードを送受信します。

例えば、文字列「waitfor joe<cr><lf>」は、リモートパソコンからjoe、続いてキャリッジリターンとラインフィードを受信するのをまってから、次のコマンドを実行します。

リテラル文字

\マークは、次の文字がリテラル文字として送信されることを定義します。また、通常は文字に関連した特殊な処理の対象となりません。

例：

- \^：キャレットを文字列に含める。
- \<：<を文字列に含める。
- \\：\を文字列に含める。

「ネットワークの環境設定画面」のメニューコマンド

ネットワークの環境設定画面には、サービステンプレートの作成や編集を効率化するためのメニューコマンドが用意されています。ここでは、ネットワークの環境設定画面に固有のメニューコマンドだけを説明します。
本機のアプリケーションに共通のメニューコマンドについては、「便利な機能」の「共通メニュー項目」をご覧ください。

「サービス」メニュー

新規

空白のテンプレートを新規作成し、[サービス] ドロップダウンリストに追加します。

削除

[サービス] ドロップダウンリストから、現在選んでいるサービステンプレートを削除します。

コピー

現在選んでいるサービステンプレートを複製して、[サービス] ドロップダウンリストに追加します。

「オプション」メニュー

ログ表示

これまでのネットワーク接続の履歴を表示する、「ネットワークログ」画面を表示します。
接続の履歴を確認したら、[終了] をタップして「ネットワークログ」画面を閉じます。

アプリケーションボタンの割り当てを変更する

本機前面のアプリケーションボタンに割り当てられているアプリケーションを、好みに合わせて変更できます。

例：To Doリストボタンを押したときに、支払いメモを起動するように設定する。

1 **環境設定画面で右上の▼をタップして、表示されたドロップダウンリストの［ボタン］をタップする。**

ボタンの登録画面が表示されます。

2 **変更したいアプリケーションボタンのドロップダウンリストをタップして、ボタンに割り当てたいアプリケーションをタップする。**

アプリケーションボタンの割り当てが変更されます。

元のアプリケーションを起動するときは

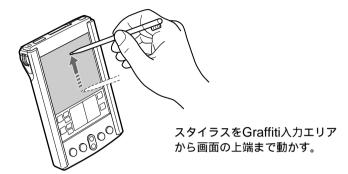
ボタンに別のアプリケーションを割り当てた場合は、ホーム画面から元のアプリケーションを起動できます。

アプリケーションボタンの割り当てを初期設定に戻したいときは

上記の手順2で、［標準設定］をタップします。
すべてのアプリケーションボタンが出荷時の設定に戻ります。

スタイラスによる起動設定を変更する

スタイラスをGraffiti入力エリアから画面の上端まで動かして、本機を起動する機能の設定を変更できます。

スタイラスをGraffiti入力エリアから画面の上端まで動かす。

標準設定では、この操作を行ったときに「Graffitiヘルプ」画面が表示されるようになっています。

1 **環境設定画面で右上の▼をタップして、表示されたドロップダウンリストの［ボタン］をタップする。**

ボタンの登録画面が表示されます。

2 **［スタイラス］をタップする。**

「スタイラス」画面が表示されます。

3 ドロップダウンリストをタップして、画面全体にペンを動かしたときに起動したい機能をタップする。

- バックライト：本体のバックライトを点灯させます。電源ボタンを使わずに、バックライトの入／切を切り替えたいときに便利です。
- キーボード：スクリーンキーボードを表示します。はじめて表示させたときはひらがなのキーボードを表示しますが、次回からは最後に使ったキーボードが表示されます。
- Graffitiヘルプ：すべてのGraffiti文字の書きかたを示す画面を表示します。
- 電源オフ＆ロック：本体の電源を切って、ロック状態に設定します。ロックされている本体を起動するには、パスワードを入力する必要があります（ロック機能を利用するには、あらかじめパスワードを登録しておく必要があります）。
- 赤外線通信：現在表示しているデータを、別のソニーPDAに赤外線送信します。

4 [OK] をタップする。

ボタンの環境設定の画面に戻ります。

HotSyncボタンに割り当てるアプリケーションを変更する

本機に付属するクレードルのHotSyncボタンと、モデムのHotSyncボタンにそれぞれ別のアプリケーションを割り当てられます。

1 環境設定画面で右上の▼をタップして、表示されたドロップダウンリストの［ボタン］をタップする。

ボタンの登録画面が表示されます。

2 ［HotSync］をタップする。

「HotSyncボタン」画面が表示されます。

3 変更するボタンのドロップダウンリストをタップして、ボタンに割り当てたいアプリケーションをタップする。

HotSyncボタンのアプリケーション割り当てが変更されます。

4 ［OK］をタップする。

ボタンの環境設定の画面に戻ります。

HotSyncボタンを押すと、割り当てられたアプリケーションが起動します。

デジタイザーの設定を変更する

ハードリセット後やデジタイザーが正しく反応しないときに、デジタイザーの設定を調整できます。

環境設定画面で右上の▼をタップして、表示されたドロップダウンリストの［デジタイザー］をタップする。

デジタイザーの表示調整画面が表示されます。

この画面は、本体の初回の起動時に表示される画面と同じものです。以後、画面の指示に従って調整を進めてください。

日時／数値などの表示書式を設定する

国ごとの標準設定で表示する

本機を使用する国を選ぶと、日時や週の開始日、数値の単位などをその国ごとの一般的な書式に切り替えられます。例えば、「イギリス」を選ぶと時刻を24時間で表示し、「アメリカ」を選ぶと12時間単位でAMまたはPMをつけて表示します。
国ごとの設定は、すべてのアプリケーションに適用されます。ただし日時などの各単位を、それぞれ好みに合わせてあとから調整することもできます。

1 **環境設定画面で右上の▼をタップして、表示されたドロップダウンリストの［書式］をタップする。**
書式の設定画面が表示されます。

2 **［国］ドロップダウンリストをタップして、標準設定にしたい国名をタップする。**

単位ごとに好みの書式を選ぶ

時刻や日付、週の開始日、数値の各単位の書式を、好みに合わせて選べます。これらの設定は、すべてのアプリケーションに適用されます。

1 **環境設定画面で右上の▼をタップして、表示されたドロップダウンリストの［書式］をタップする。**

書式の設定画面が表示されます。

2 **［時刻］ドロップダウンリストをタップして、書式を選ぶ。**

3 **［日付］ドロップダウンリストをタップして、書式を選ぶ。**

4 **［週の開始］ドロップダウンリストをタップして、日曜日または月曜日のいずれかを選ぶ。**

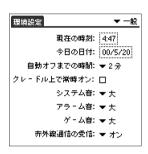
この設定は、予定表の日表示、週表示、月表示など、カレンダーが表示されるすべての画面に適用されます。

5 **［数値］ドロップダウンリストをタップして、書式を選ぶ。**

時計／日付を合わせる

時計を合わせる

1 **環境設定画面で右上の▼をタップして、表示されたドロップダウンリストの［一般］をタップする。**

一般の設定画面が表示されます。

2 **現在の時刻をタップする。**

「時刻の設定」画面が表示されます。

3 **▲または▼をタップして、時間表示を合わせる。**

4 **分のボックスをタップしてから▲または▼をタップして、分表示を合わせる。**

5 ［OK］**をタップする。**

日付を合わせる

1 **環境設定画面で右上の▼をタップして、表示されたドロップダウンリストの［一般］をタップする。**

2 **「今日の日付」をタップする。**

「日付の設定」画面が表示されます。

3 **一番上の年の横の◀または▶をタップして、年を合わせる。**

4 **現在の月をタップする。**

5 **現在の日付をタップする。**

自動電源オフまでの時間を設定する

本機は使用しない状態で一定の時間が経過すると、内蔵バッテリーを節約するために、電源とバックライトが自動的に切れるようになっています。この自動的に電源が切れるまでの時間を、お使いのスタイルに合わせて変更できます。

1 **環境設定画面で右上の▼をタップして、表示されたドロップダウンリストの［一般］をタップする。**

2 **［自動オフまでの時間］をタップして、ドロップダウンリストから設定したい時間をタップする。**

30秒、1分、2分、または3分から選べます。

3 **本機をクレードルに載せている間は自動的に電源が切れないようにしたいときは、［クレードル上で常時オン］チェックボックスをタップして、チェックを付ける。**

各種の操作音の設定を変更する

システム音やアラーム音、ゲーム音などの、本機を使用中に鳴る音の音量と音の入／切を変更できます。

1 **環境設定画面で右上の▼をタップして、表示されたドロップダウンリストの［一般］をタップする。**

2 **［システム音］ドロップダウンリストをタップして、好みの音量または［オフ］を選ぶ。**

［オフ］を選ぶと、HotSync実行時のチャイム音も切になります。

3 **［アラーム音］ドロップダウンリストをタップして、好みの音量または［オフ］を選ぶ。**

4 **［ゲーム音］ドロップダウンリストをタップして、好みの音量または［オフ］を選ぶ。**

ゲーム音の設定は、この機能を利用しているゲームのみに適用されます。

赤外線通信の受信を入／切する

赤外線通信の受信機能の入／切を切り替えられます。

赤外線通信の受信機能を「切」にすると、赤外線を使ったデータの受信ができなくなりますが、本機のバッテリの消耗を節約できます。

1 **環境設定画面で右上の▼をタップして、表示されたドロップダウンリストの［一般］をタップする。**

2 **［赤外線通信の受信］ドロップダウンリストをタップして、［オン］または［オフ］を選ぶ。**

- **オン**：赤外線通信の受信機能を「入」にします。
- **オフ**：赤外線通信の受信機能を「切」にします。

トラブルを解決するには

トラブルが発生したら、あわてずに下記の流れに従ってください。
また、メッセージなどが表示されている場合は、書きとめておくことをおすすめします。

「主なトラブルとその解決方法」（228ページ）をチェックする

お使いのソニーPDAの症状に合うものがないか確認してください。また、アプリケーションについてのトラブルは、各アプリケーションに付属の取扱説明書も合わせてご覧ください。

「カスタマーサポート」を使う

ソニーPDAのホームページでは、お客様からのお問い合わせが多い質問と回答やQ&A集を掲載しています。パソコンのデスクトップ上の［ソニーPDAカスタマーサポート］アイコンをクリックしてください。

それでもトラブルが解決しないときは

ネットコミュニケーション カスタマーリンク（ソニーPDA専用サポートセンター）またはお買い上げ店にご相談ください。

ご注意

Palm OS用に開発されたアプリケーションは、何千種類もあります。弊社ではそれらサードパーティー製のアプリケーション（HACKソフト、DAソフト含む）について動作保証をしていないため、サポートは行っておりません。
サードパーティー製のアプリケーションで問題が生じた場合は、そのアプリケーションの開発元または発売元にお問い合わせください。

主なトラブルとその解決方法

操作上の問題

画面に何も表示されない。

→ 画面のコントラスト設定を確認してください。シルクスクリーンエリアのコントラストアイコンをタップして、コントラストを調整します。

→ 本機を充電します。それでも動作しない場合は、ソフトリセットを行ってください。ソフトリセットの方法について詳しくは、「本機をリセットする」（236ページ）をご覧ください。

メモリ不足の警告メッセージが表示される。

→ 予定表とTo Doの古いデータを削除します。
予定表の場合は［予定表］メニューから［古い予定の破棄］を選び、To Doの場合は［To Do］メニューから［完了した項目の破棄］を選びます。

→ 不要なメモやデータを削除します。
詳しくは各アプリケーションの説明をご覧ください。

→ 本体にアプリケーションを追加インストールしている場合は、それらのアプリケーションを削除します。詳しくは「インストールしたアドオンアプリケーションを削除する」（175ページ）をご覧ください。

→ 本機のメモリが不足しているとアプリケーションによっては正しく動作しない場合があります。

電源が自動的に切れてしまう。

→ 本機は一定時間何も操作しないと、自動的に電源が切れるように設計されています（自動電源オフ）。自動電源オフまでの時間は、好みに合わせて選ぶことができます。詳しくは「自動電源オフまでの時間を設定する」（225ページ）をご覧ください。

音が出ない。

→ システム音の設定を確認してください。詳しくは「各種の操作音の設定を変更する」（226ページ）をご覧ください。

操作に反応しなくなった。

→ ソフトリセットを実行してください。詳しくは、「本機をリセットする」（236ページ）をご覧ください。

同じエラーメッセージが重なって繰り返し表示される。

→ エラーメッセージの指示に従って操作してください。

タップと入力に関する問題

ボタンやアイコンをタップしても、タップ先と異なる機能が有効になる。

→ デジタイザーの設定をおこなってください。詳しくは「デジタイザーの設定を変更する」（220ページ）をご覧ください。

メニュー アイコンをタップしてもメニューが表示されない。

→ アプリケーションや画面によっては、メニューがないものもあります。別のアプリケーションに切り替えてみてください。

手書き文字が認識されない。

→ 本機で手書き文字を認識させるには、Graffiti文字を使用する必要があります。詳しくは「手書き入力で文字を入力する（Graffiti）」（33ページ）をご覧ください。

→ Graffiti文字は、表示画面ではなくGraffiti入力エリアに書きます。

→ 文字はGraffiti入力エリアの左側、数字はGraffiti入力エリアの右側に書きます。

→ Graffiti文字が特殊文字モードまたは記号モードになっていないかどうか確認します。詳しくは「手書き入力で文字を入力する（Graffiti）」（33ページ）をご覧ください。

→ より早く正確にGraffiti文字を入力するためのヒントについては、「手書き入力で文字を入力する（Graffiti）」（33ページ）をご覧ください。

困ったときは

アプリケーションに関する問題

［今日］をタップしても、今日の日付が表示されない。

→ 本機の日付が正しく設定されていません。環境設定画面の一般設定の画面で、今日の日付が正しく表示されているかどうか確認してください。
詳しくは「時計／日付を合わせる」（223ページ）をご覧ください。

入力したデータがアプリケーションで表示されない。

→ 画面の右上にある［カテゴリー］ドロップダウンのリストが［すべて］になっているかどうかを確認してください。

→ データ保護で［データを表示］の設定にしているかどうかを確認してください。

→ To Doで［表示］をタップして、［完了した項目を表示］チェックボックスがチェックされているかどうかを確認してください。

メモを並び替えられない。

→ 一覧画面でメモを手動で並び替えられない場合は、「メモ帳の設定」画面で［並び替え］が［手動］に設定されているかどうかを確認してください。

→ Sony PDA Palm Desktopソフトウェアの表示順序の設定は同期されません。
Sony PDA Palm Desktopソフトウェアでメモを五十音順に並び替えてからHotSyncを実行しても、本機のメモ帳のメモは「メモ帳の設定」画面の設定に従って表示されます。

予定表で作成した予定が週表示の画面に表示されない。

→ 週表示では、同じ開始時刻を持つ予定が複数あると、それらの予定を選択できません。開始時刻の同じ予定が複数ある場合には、日表示で重なった予定を確認してください。

アドレスの編集で姓、名を入力しても自動的に「よみ」フィールドに読みが追加されない。

→ スクリーンキーボードを使って文字を入力した場合は、読みが追加されない場合があります。直接「よみ」フィールドに入力してください。

アドレスに貼り付けた画像がなくなっていた。

→ Sony PDA Palm Desktop上で、画像を貼り付けたアドレス情報のカテゴリーを変更したためです。カテゴリーを変更するときはソニーPDA上で行ってください。

HotSync機能に関する問題

HotSyncできない。

→ Windowsのタスクトレイで、HotSyncマネージャーが実行中であることを確認してください。HotSyncマネージャーを実行していない場合は、［スタート］メニューの［プログラム］－［SonyPDA］－［Hot Sync マネジャー］をクリックして、Hot Syncマネジャーを起動します。

→ クレードルがパソコンに正しく接続されているかどうかを確認します。

HotSyncでデータが同期されないアプリケーションがある。

→ WindowsのタスクトレイのHotSyncマネージャーアイコンをクリックして、［動作設定］を選びます。同期されないアプリケーションのコンジットが有効になっているかどうか確認してください。

PIMとしてMicrosoft Outlookを使用している場合に、HotSyncできない

→ WindowsのタスクトレイのHotSyncマネージャーアイコンをクリックして、［動作設定］を選びます。同期されないアプリケーションのコンジットが有効になっているかどうか確認してください。

→ 適切なコンジットがインストールされていることを確認してください。HotSyncマネージャーを再インストールして、適切なコンジットが選択されていることを確認します。

HotSyncマネージャーを起動できない

→ 通信ソフトウェアまたはFaxソフトウェアなど、［起動／接続設定］画面で選んだシリアルポートを使用するソフトウェアが実行中でないことを確認します。

→ Sony PDA Palm Desktopソフトウェアを再インストールしてください。

ローカルHotSyncできない。

→ Windowsのタスクトレイで、アイコンが表示されていることを確認してください。表示されていない場合は、［スタート］メニューから［プログラム］－［SonyPDA］－［HotSyncマネージャー］をクリックしてHotSyncマネージャーを起動します。

→ HotSyncマネージャーのメニューで、［ローカル］が選択されているかどうかを確認します。

→ クレードルがパソコンのUSBコネクタに正しく接続されているかどうかを確認します。

→ ポートリプリケーターをご使用の場合、ポートリプリケーターかパソコン本体のUSBコネクタのどちらかが使えない場合があります。

→「起動／接続設定」画面の［ローカル］タブで、通信速度を低く設定します。

シリアルケーブルで接続している場合

→ HotSyncしようとしているユーザーのHotSyncログを、Sony PDA Palm Desktopソフトウェアで確認してみてください。ログを確認することで、問題の原因が明らかになる場合があります。

→ 本体がクレードルに正しくセットされているかどうかを確認します。

→ 本体とクレードルのコネクタ部分が汚れていたり、ごみやホコリがついていないかどうか確認します。

モデムHotSyncできない。

パソコン側で以下の項目を確認します。

→ パソコンの電源が入っていて、省電力モードによって自動的に電源を切る設定になっていないかを確認します。

→ モデムの電源が入っていて、送受信用の電話回線と正しく接続されているかどうかを確認します。

→ HotSyncマネージャーのメニューで、[モデム] が選ばれていることを確認する。

→ ソニーPDAとの通信に使用するモデムで、入／切を切り替えられることを確認します。自動オフの機能があるモデムをソニーPDAから起動することはできません。

→ モデムがパソコンのシリアルポートに正しく接続されていて、送受信用の電話回線と接続されていることを確認します。

→ [起動／接続設定] 画面の「初期化コマンド」が、モデムにあった正しいものであるかどうかを確認します。詳しくはモデムの取扱説明書をご覧ください。

→ [最速] または特定の速度で問題が生じる場合には、速度の設定を低くしてください。

→ [起動／接続設定] 画面での速度の設定が、モデムにあった正しいものであることを確認します。

→ 接続を再試行する前にモデムの電源をいったん切って、しばらくして電源を入れ直してみてください。

→ 電話線がしっかりとモデムに差し込まれているかどうかを確認します。

→ ダイヤル先の電話番号が正しく入力されていることを確認します。

→ 外線発信番号をダイヤルする必要がある場合には、ソニーPDAで [外線発信番号] チェックボックスにチェックを付けて、正しい番号を入力します。

ソニーPDA側で以下の項目を確認します。

→ 電話回線にキャッチホン機能を利用している場合は、環境設定の [ネットワーク] ー [電話番号] をタップして、「ダイヤルの設定」画面で [キャッチホン機能解除] チェックボックスにチェックを付けて、正しい番号を入力します。

→ 電話回線から雑音（ノイズ）が聞こえないかどうか確認してください。雑音が原因で通信が中断されてしまう場合があります。

→ モバイルコミュニケーションアダプター以外のモデムを使用している場合は、モデムの電池を確認して、必要に応じて交換してください。

赤外線HotSyncできない

→ Windowsのタスクトレイで、HotSyncマネージャーが実行中であることを確認してください。HotSyncマネージャーを実行していない場合は、Palm Desktopソフトウェアを起動します。また、実行中にもかかわらず正常に動作しない場合は、一度HotSyncマネージャーを終了してから、再起動してください。

→ 「起動／接続設定」画面の［ローカル］タブをクリックし、［シリアルポート］で赤外線通信用のシミュレーションポートが設定されているかどうかを確認します。

→ ソニーPDAのHotSync設定が［ローカル］に設定されていて、［赤外線とパソコン］が選択されていることを確認します。

→ 本機の赤外線ポートが、パソコンの赤外線ポートの真正面、約10〜20cm以内の位置にあることを確認します。

→ バッテリの電力低下の警告が表示されると、赤外線HotSyncは実行できません。バッテリを充電してから、もう1度赤外線HotSyncを行ってください。

→ 通信速度を下げてください。
環境設定－接続－赤外線をタップして［編集］をタップしてください。［詳細］をタップして表示される詳細ダイアログの速度でえらびます。

パソコンの近くに本機を置くと、本機が反応しなくなる。

→ 本機をパソコンの赤外線通信ポートの側に置かないでください。誤動作の原因となる場合があります。

「受信デバイスを探しています」というメッセージが表示される

→ 本機をパソコンの赤外線通信ポートの側に置かないでください。誤動作の原因となる場合があります。

→ パソコンの赤外線通信ポートが自動的に他の赤外線通信ポートを検出するように設定されている場合があります。以下の手順で自動検出を「切」にします。

1 Windowsの［スタート］ボタンをクリックし、［設定］－［コントロールパネル］をクリックする。

2 ［赤外線モニター］アイコンをダブルクリックする。

3 ［オプション］タブをクリックする。

4 ［範囲内のデバイスの検索と状況の報告を行う］チェックボックスをクリックして、チェックをはずす。

5 ［OK］をクリックする。

HotSyncをキャンセルできない。

→ USB接続でのHotSync開始後の数十秒間は、［キャンセル］をタップしてもキャンセルできないことがあります。しばらく待ってから、再度お試しください。

HotSyncしてもパソコンにバックアップされないデータがある。

→ “ メモリースティック ”から本機にコピーまたは移動されたデータには、HotSyncでパソコンにバックアップされないものがあります。

赤外線通信に関する問題

他のPalm OS搭載機器とデータを赤外線通信できない。

→ 本機ともう1台のPalm OS搭載機器との距離を10cm〜20cmの範囲内にして、2台の間に障害物がないことを確認します。赤外線通信に最適な距離は、Palm OS搭載機器によって異なります。

→ 本機を受信側のPalm OS搭載機器に近づけてみてください。

赤外線通信のデータを受信しようとすると、メモリ不足のエラーメッセージが表示される。

→ 赤外線通信でデータを受信するには、受信データの2倍の空きメモリが本機に必要になります。例えば30KBの容量のデータを受信するには、本機に60KBの空き容量が必要となります。
空き容量が不足しているときは、不要なデータを削除してください。

→ ソフトリセットを実行してください。詳しくは、「本機をリセットする」（236ページ）をご覧ください。

充電に関する問題

本機をクレードルにセットしても、クレードルランプが点灯しない。

→ 本機がクレードルに正しくセットされているかどうか確認します。

→ ACアダプタがクレードルにしっかりと接続されていることを確認します。

パスワードに関する問題

パスワードを忘れてしまった。

本機がロックされている場合

→ 本体をハードリセットする必要があります。詳しくは、「本機をリセットする」（236ページ）をご覧ください。

本機がロックされていない場合

→ データ保護機能を利用して、パスワードを削除します。
この場合、本機でプライベートデータに指定しているすべてのデータは削除されます。ただし、パスワードを削除する前にHotSyncすることで、プライベートデータを含むすべてのデータのバックアップを取ることができます。
パスワードを削除してから、パソコンに保存されているプライベートデータを復元するには、以下の手順で操作します。

1 HotSyncを行い、本機のデータをすべてパソコンに保存します。

2「データ保護」画面で［忘れた場合］をタップする。

パスワードとすべてのプライベートデータが削除されます。

3 HotSyncを行い、プライベートデータを復元する。

" メモリースティック "に関する問題

" メモリースティック "のデータを本機にコピー／移動できない。

→ " メモリースティック "のデータを本機にコピー／移動するには、コピー／移動したいデータの2倍の空きメモリーが本機に必要になります。例えば30KBの容量のデータを受信するには、本機に60KBの空き容量が必要となります。
空き容量が不足しているときは、不要なデータを削除してください。

" メモリースティック "を入れても「メモリースティックを入れてください」というメッセージが表示される。

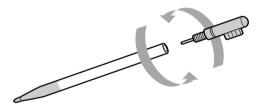
→ 本機で" メモリースティック "が正しく認識されていません。
" メモリースティック "をもう一度抜き差ししてください。

本機をリセットする

通常は本機をリセットする必要はありません。
しかし、まれに本体が異常終了して、ボタンや画面上の操作に反応しなくなってしまうことがあります。また、メモリ不足やその他の不具合で、システムがリセットを要求することがあります。
このような場合には、本機をリセットする必要があります。

リセットする（ソフトリセット）

ソフトリセットを実行しても、本機に記録したデータはそのまま残ります。

1 **スタイラスの上部をねじるように回して、スタイラスピンを取り出す。**

2 **取り出したピンを使って、本体背面のリセットボタンの穴をゆっくりと押す。**

実行中の動作が停止して、本機が再起動します。
再起動後は、「Palm Computing Platform」画面が表示され、続いて時刻と日付けを設定するための環境設定画面が表示されます。

ソフトリセットで再起動しないときは（ハードリセット）

ソフトリセットで問題が解消されない場合は、ハードリセットを実行して本機を再起動する必要があります。

ご注意

ハードリセットを実行するとこれまで記録したデータはすべて消去されます。
ソフトリセットではどうしても再起動できない場合などを除いては、ハードリセットは絶対に実行しないでください。
ただし、HotSyncでパソコンにバックアップを取っていれば、次にHotSyncしたときにパソコン上に保存してあるデータは復元できます。

1 **電源ボタンを押す。**

2 **電源ボタンを押したまま、スタイラスピンで背面のリセットボタンをゆっくりと押す。**

3 **「Palm Computing Platform」画面が表示されたら、電源ボタンから指を離す。**

本機に記録したデータがすべて消去されることを示すメッセージが表示されます。

4 **フロントパネルのスクロールボタンの上部を押す。**

本機がハードリセットされます。
ハードリセット実行後も、現在の日付と時刻はそのまま残ります。書式の環境設定などの設定は、出荷時の設定に戻ります。

ご注意

スクロールボタンを押す時間が短いと、ハードリセットが実行されない場合があります。

使用上のご注意

取り扱いについて

本機の取り扱いについては、以下の点にご注意ください。

- 本機の画面およびGraffiti入力エリアに傷をつけないようにしてください。画面をタップするときは、付属のスタイラスまたは先端がプラスチックのペンを使用してください。
  故障の原因となりますので、通常のペンや鉛筆、その他の突起物は絶対に使用しないでください。
- 本機を雨または湿気にさらさないでください。フロントパネルボタンの隙間から内部に水が入り込み、故障の原因になります。
- 本機を落としたり、強い衝撃を加えたりしないでください。また、本機をズボンの後ろのポケットに入れないでください。
  画面のガラスが割れることがあります。
- 本機を以下のような場所に放置しないでください。故障の原因となります。
  – 極端な高温または低温の場所
    特に、炎天下で自動車のダッシュボードの上や、ヒーターなどの暖房機器の近くにはご注意ください。
  – 極端にほこりが多い場所
  – 湿度が高い場所や濡れた場所

本機のお手入れ

本機のお手入れの際は、乾いた布を使用して軽くふき取ってください。

バッテリ充電についてのご注意

バッテリの充電時間について

- 初回の充電に要する時間は約3時間です。通常では、フル充電したソニーPDAは約15日間使用できます（使用状況により異なります）。
- ソニーPDAを毎日充電している場合は、一日の充電に要する時間はわずか数分です。
- 充電を実行している間も、本体に入力したデータを見ることができます。

バッテリを節約するには

- バックライト機能をなるべく使用しないようにし、一定の時間放置すると自動的に電源が切れる「自動オフまでの時間」の設定時間を短くすると、電池を節約することができます。「自動電源オフまでの時間を設定する」（225ページ）をご覧ください。

バッテリ残量が少なくなると

- バッテリの残量が少なくなると、画面に警告メッセージが表示されます。HotSyncを実行して本機内のデータをパソコンにバックアップしてください。同時に本機を充電することによって、誤ってデータが消去されることを防止できます。
- バッテリが消耗して本機が起動しなくなった場合でも、ソニーPDA内のデータは数日間は保存されています。電源ボタンを押しても電源が入らないときには、すぐにソニーPDAの充電を開始してください。
- バッテリ残量が0の状態が続くと、本機内のデータが消えてしまう場合があります。充電は早めに行ってください。
- バッテリは交換する必要はありません。バッテリ残量が0になった場合は、速やかにクレードル上で充電を開始してください。絶対に本機を分解してバッテリを取り出したりしないでください。

バッテリを廃棄するときは

本機で使用している電池はリチウムイオン電池です。本体を廃棄する場合は、地方自治体の条例に定められた方法に従って処理してください。

Sony PDA Palm Desktopソフトウェアをアンインストールする

パソコンにインストールしたSony PDA Palm Desktopソフトウェアを削除（アンインストール）するには、以下の手順で操作します。

1 **Windowsの［スタート］をクリックし、［設定］-［コントロールパネル］をクリックする。**
コントロールパネルが表示されます。

2 **［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックする。**
「アプリケーションの追加と削除」画面が表示されます。

3 **［インストールと削除］タブをクリックする。**
Windows 2000の場合は［プログラムの変更と削除］をクリックする。

4 **表示されているソフトウェアの一覧から［Palm Desktop］を選び、［追加と削除］をクリックする。**
Windows 2000の場合は、「現在インストールされているプログラム」から、［Palm Desktop］を選び、［削除］をクリックする。

5 **［はい］をクリックする。**
Sony PDA Palm Desktopソフトウェアがアンインストールされます。

ご注意

アンインストール後にもう1度HotSyncを行いたい場合には、Sony PDA PalmDeskTopソフトウェアを再インストールしてください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より3か月間です。カスタマー登録していただいたお客様は1年間になります。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはネットコミュニケーション カスタマーリンク（ソニーPDA専用サポートセンター）へご連絡ください

ネットコミュニケーション カスタマーリンク（ソニーPDA専用サポートセンター）については、添付の「ソニーPDAサービス・サポートのご案内」をご覧ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。ただし、故障の原因が不当な分解や改造であると判明した場合は、保証期間内であっても、有償修理とさせていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

修理について

当社ではパーソナルエンタテインメントオーガナイザーの修理は引取修理を行っています。当社指定業者がお客様宅に修理機器をお引き取りにうかがい、修理完了後にお届けします。詳しくは添付の「ソニーPDAサービス・サポートのご案内」をご覧ください。

データのバックアップのお願い

修理に出すまえに、記録媒体のプログラムおよびデータは、HotSyncなどでお客様にてバックアップされますようお願いいたします。弊社の修理により、本体および“メモリースティック”内のプログラムおよびデータが万一消去あるいは変更された場合に関しても、弊社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
なお、記録媒体そのものの故障の場合には、プログラムおよびデータの修復はできません。

部品の交換について

この製品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品はご同意いただいた上で回収させていただきますので、ご協力ください。

部品の保有期間について

当社ではパーソナルエンターテインメントオーガナイザーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。

この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、ネットコミュニケーション カスタマーリンク（ソニーPDA専用サポートセンター）にご相談ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

型名および製造番号は、本体背面または保証書に記載されています。

- **型名：**PEG-S500C・S300・S500C/D・S300/D
- **製造番号：**
- **故障の状態：できるだけ詳しく**
- **購入年月日：**

主な仕様

本体

電源

付属ACパワーアダプタ
DC5.7V（専用コネクタ）
バッテリ
リチウムイオンバッテリ（内蔵）

電池持続時間

15日（1日30分　通常使用時）*

メモリ

8Mバイト（DRAM）

液晶ディスプレイ表示モード

160 × 160 ドット（白黒）
160 × 160 × RGBドット（カラー256色）

外部入出力

インターフェースコネクタ
IrDA（1.2）

メモリースティックスロット

外形寸法

70.9 × 114.7 × 15.2mm（幅/高さ/奥行き）

質量

本体約122g（PEG-S500C・付属スタイラス含む）
本体約121g（PEG-S300・付属スタイラス含む）

推奨動作温度

5℃～35℃
*使用温度、使用状態により電池持続時間は異なります。

仕様および外観は、改良の為予告なく変更することがありますがご了承ください。

索引

五十音順

ア

イ

エ

オ

カ

キ

ク

ケ

アルファベット順

この説明書は再生紙を使用しています。

ATOK Pocket 使用許諾契約書

※本製品は、本製品と共にご購入された機器でのみご使用いただけます。

この使用許諾契約書は、お客様がご購入された機器（以下、「本装置」）と共に株式会社ジャストシステム（以下、「弊社」）から提供されるソフトウェアおよびそれに付随するマニュアル等の関連資料のご使用条件等を定めたものです（以下、ソフトウェアと関連資料をあわせて、「本製品」とします）。お客様は使用許諾契約書の内容にご同意の上、ソフトウェアをご使用いただくものとします。お客様がソフトウェアのご使用を開始した時点で本契約が成立したものと見なされます。ご同意いただけない場合は、ソフトウェアのご使用を開始する前に、本装置と共にご購入先までご返却ください。
本契約書にご同意いただいたお客様は、添付の登録ハガキ・追加登録ハガキを弊社までご返送いただくなどして、ユーザー登録を行ってください。ユーザー登録を行わないと弊社からのサービス・サポートを受けることができません。
また、本書および本製品中のメディアや関連資料は、お客様が本製品の使用者であることを証明する資料となりますので、お客様の責任において本装置とあわせて大切に保管・管理してください。

第１条　定　義

① ソフトウェア
本製品にて提供されるコンピュータプログラム、その他のデジタルコンテンツをいい、特段の記載がない限り、弊社が権利者の許諾のもとに提供する第三者の著作物も含むものとします。

② ソフトウェアの使用
本装置の記憶媒体に複製されたソフトウェアを本装置のメモリにロードして実行することによりソフトウェアを使用することをいいます。

第２条　使用条件

１．ソフトウェアを本装置上でのみ使用することができます。
２．お客様は、お客様が本装置を占有し管理していることを条件として、本装置を第三者に使用させ、もって本装置にインストールされているソフトウェアを当該第三者に使用させることができるものとします。

３．ソフトウェアの使用に関し、本契約書以外に個別に条件が定められている場合は、本契約書とあわせて遵守いただくものとします。個別の条件が本契約書と異なる場合は、個別の条件が優先するものとします。

第３条　禁止事項

お客様は、本契約書で許諾される場合を除き以下の行為を行わないものとします。

① 本装置以外でのソフトウェアの複製および使用ならびにマニュアル等関連資料の複製
② コンピュータプログラムの改変あるいはリバースエンジニアリング
③ コンピュータプログラムの全部または一部の第三者に対する再配布
④ ソフトウェアの再使用許諾、あるいはその複製物の貸与・譲渡
⑤ 本製品の貸与・レンタル・疑似レンタル行為あるいは中古品取引

第４条　譲渡

お客様は、弊社が別途ご案内する所定の手続き・条件に従い、本製品を本装置と共に第三者に譲渡することができます。また、本装置を第三者に譲渡する場合は、弊社の別途ご案内する所定の手続きを行った上で本製品の一切を本装置と併せて譲渡するか、若しくは、本装置内のソフトウェアの複製物及び本製品の一切を消去・破棄しなければならないものとします。その際、お客様は、ソフトウェアの複製物を手元に残しておくことはできません。ただし、本製品に対するサービスを通じて弊社の新製品を既にご購入されている場合は、弊社は、本製品の譲渡の申し出には応じられないものとします。

第５条　保証範囲　弊社は、

１．本製品の品質および機能がお客様の使用目的に適合することを保証するものではなく、また本契約書に明示的に記載された以外、一切本製品についての瑕疵担保責任および保証責任を負いません。本製品の選択導入はお客様の責任で行っていただき、本製品の使用およびその結果についても同様とします。

２．本製品の使用または使用不能から生ずる直接的または間接的損害については一切責任を負いません。

３．お客様がユーザー登録された場合において、お客様が本製品を購入された日から１年以内に弊社がソフトウェアの誤り（バグ）を修正したと

その他

きは、かかる誤りを修正したソフトウェアまたはそれに関する情報をお客様に提供します。ただし、修正したソフトウェアまたはそれに関する情報の提供の必要性、提供時期等については弊社の判断に基づき決定させていただきます。修正したソフトウェアのご使用にあたっては本契約書が適用されるものとします。

４．ユーザー登録されたお客様に対して、別記の「サポートご利用規定」に基づくサポートを提供いたします。

第６条　有効期間

１．本契約の有効期間は、本契約成立の時からお客様が本製品の使用を停止するまでとします。

２．お客様が本契約のいずれかの条項に違反したとき、または弊社の著作権を侵害したときは、弊社は本契約を解除しお客様のご使用を終了させることができます。

３．本契約が終了した場合、お客様は速やかにお客様のご負担で本製品を弊社に返却あるいは破棄していただくものとします。

第７条　一般条項

お客様および弊社は、本契約に関連して発生した紛争については、徳島地方裁判所を第一審の管轄裁判所とすることに合意します。

Sony online　http://www.world.sony.com/

「Sony online」は、インターネット上のソニーのエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。

CLIE ホームページ
CLIE を楽しく使っていただくための情報をご案内します。
● http://www.sony.co.jp/CLIE/

ネットコミュニケーション カスタマーリンク ホームページ
CLIE の最新サポート情報をご案内します。
● http://www.sony.co.jp/CLIE/support/

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川6-7-35

使い方のご相談、技術的なお問い合わせは
ネットコミュニケーション カスタマーリンクへ
● 0466-30-3080

カスタマー登録、一般的なお問い合わせは
ソニーカスタマー専用デスクへ
● 03-3584-6651

お電話の前に、必ず付属の「ソニー PDA サービス・サポートのご案内」をご覧ください。

Printed in Japan